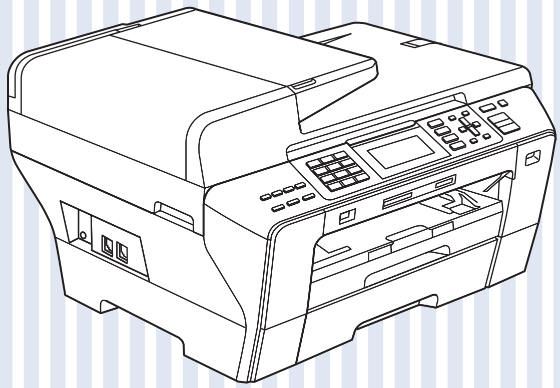
ユーザーズガイド
～パソコン活用編～



やりたいこと目次

やりたいこと別の一覧があります。
5ページをご覧ください。

5ページ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド「こんなときは」で調べる → ユーザーズガイド

2 サポート ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイト
にアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version B

ユーザーズガイドの構成

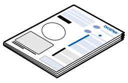
本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド

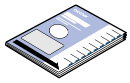
・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバ、ソフトウェアのインストール



ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

■ユーザーズガイド

・ファクスを送る
・コピーする
・デジタルカメラからプリントする
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換



※本書の内容は、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」(HTML形式) からも閲覧できます。

使いたい機能をすばやく探せます

HTML (CD-ROM)

「画面で見るマニュアル」(HTML形式)

以下の内容が含まれています

■ユーザーズガイド

・ファクス/プリンタ/コピーの使用方法
・デジタルカメラからプリント
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

■パソコン活用ガイド

・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・パソコンからファクスを送受信する
・Control Centerで便利に使う

■ネットワーク設定ガイド

・LANにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

Windows®をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。[スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] − [Brother] − [XXX-XXXX]*− [画面で見るマニュアル (HTML 形式)] を選んでください。

Macintoshの場合

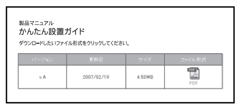
1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「top.html」をダブルクリックする
◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

*「XXX-XXXX」はモデル名です。

最新版のマニュアルが、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (http://solutions.brother.co.jp/) からダウンロードできます。

PDF

■パソコン活用ガイド
■かんたん設置ガイド
■ネットワーク設定ガイド
■ユーザーズガイド



最新のドライバや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

最新のドライバをお使いいただくことで、新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルがあるときも、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

目次

本書の見かた

● 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(ヒントアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
(矢印アイコン)	参照先などを記載しています。

● 液晶ディスプレイモデル／タッチパネルモデルについて

本書では、DCP-165C/385C/535CN、MFC-490CN/5890CN/6490CN を液晶ディスプレイモデル、MFC-670CD/670CDW/930CDN/930CDWN/6890CN をタッチパネルモデルと記載しています。

● 本書で使用されているイラスト

外観イラストは MFC-6490CN を代表で使用しています。

操作パネルのボタンのイラストは、液晶ディスプレイモデルでは MFC-6490CN を、タッチパネルモデルでは MFC-930CDN を使用しています。モデル特有の機能の場合は、該当モデルのボタンのイラストを使用しています。

お使いのモデルによっては本書で使用している操作パネルのボタンとデザインが異なる場合があります。該当するボタンに読み替えてください

必要なソフトウェア

本製品をプリンタやスキャナとして使うには、付属の CD-ROM に収録されているドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。

パソコンとの接続やドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。

注意

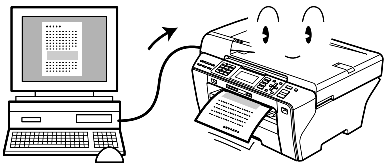
- 本書に掲載されている画面は、お使いの OS や環境によって、実際の画面と異なることがあります。

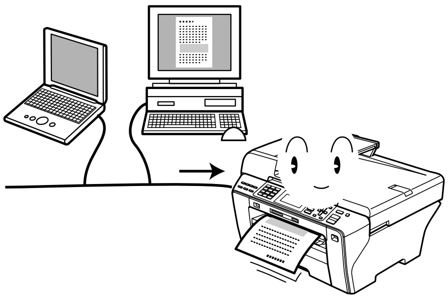
やりたいこと目次

● プリンタ

● プリンタとして使う

本製品とパソコンを接続して、プリンタとして利用できます。
ネットワーク対応モデルの場合は、ネットワーク上の複数のパソコンから印刷することもできます。





[Windows® の場合]

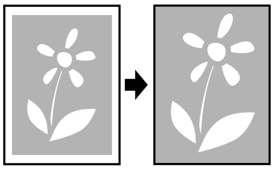
11 ページ

[Macintosh の場合]

106 ページ

● 記録紙いっぱいに印刷する
[ふちなし印刷]

余白が出ないように、写真やハガキなどにいっぱいに印刷できます。Windows® では付属ソフト FaceFilter Studio を利用すると、より簡単に設定できます。



[Windows® の場合]

26 ページ

[Macintosh の場合]

106 ページ

● 設定を選んで印刷する
[おまかせ印刷]

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、印刷できます。
(Windows® のみ)

[Windows® の場合]

24 ページ

● 写真を印刷／加工する
[FaceFilter Studio]

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情の変化などができます。
(Windows® のみ)

[Windows® の場合]

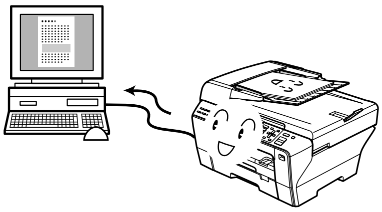
26 ページ

● スキャナ

ネットワーク対応モデルの場合は、ネットワーク環境で本製品をスキャナとして利用できます。

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する
[スキャン TO ファイル]

スキャンした原稿を、パソコンの指定したフォルダに保存します。



[Windows® の場合]

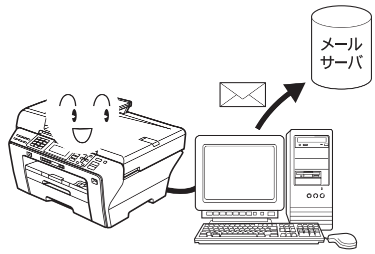
35 ページ

[Macintosh の場合]

119 ページ

● 原稿をスキャンして E メールで送る
[スキャン TO E メール添付]

スキャンした原稿を E メールに添付して送信します。



[Windows® の場合]

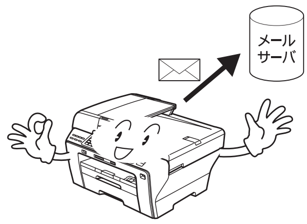
31 ページ

[Macintosh の場合]

115 ページ

● 本製品から直接 E メールで送る
[スキャン TO E メール送信]

スキャンした原稿をパソコンに送らず、本製品から直接 E メールで送信します。
(MFC-6490CN/6890CN)



[Windows® の場合]

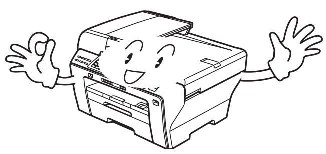
39 ページ

[Macintosh の場合]

123 ページ

● 原稿をスキャンして FTP サーバーに送る
[スキャン TO FTP]

スキャンした原稿を、ネットワーク上またはインターネット上の FTP サーバーに保存できます。
(MFC-5890CN/6490CN/6890CN)



[Windows® の場合]

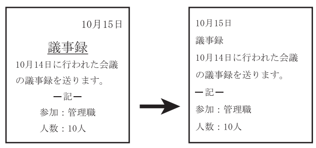
41 ページ

[Macintosh の場合]

125 ページ

● 文字を修正できるようにスキャンする
[スキャン TO OCR]

スキャンした画像データを解析して、文書（テキスト）データに変換できます。



[Windows® の場合]

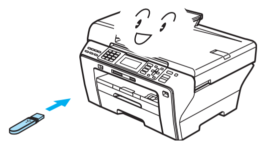
34 ページ

[Macintosh の場合]

118 ページ

● 原稿をスキャンしてメモリーカードや USB メモリーに保存する
[スキャン TO メディア]

スキャンした原稿を本製品に接続したメモリーカードや USB メモリーに保存できます。



[Windows® の場合]

37 ページ

[Macintosh の場合]

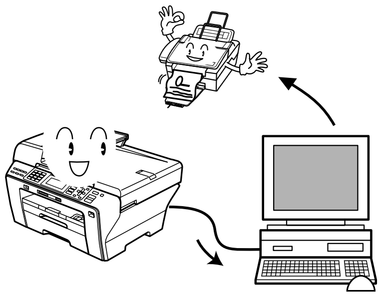
121 ページ

● PC-FAX

<table>
<tr>
<td>

● パソコンからファクスを送る
［PC-FAX 送信］

パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。
※ネットワーク環境にも対応しています。



[Windows® の場合]

56 ページ

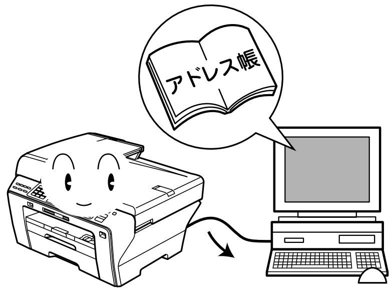
[Macintosh の場合]

132 ページ

</td>
<td>

● アドレス帳を利用する
［PC-FAX アドレス帳］

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook Express、Outlookのアドレス帳データを使用することもできます。
（Windows ® のみ）



[Windows® の場合]

58 ページ

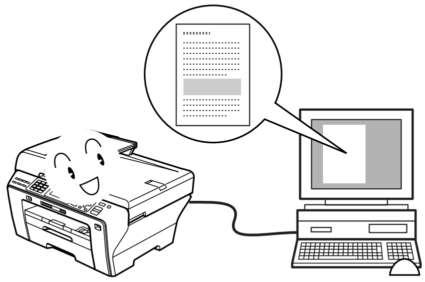
[Macintosh の場合]

133 ページ

</td>
<td>

● 受信したファクスをパソコンで確認する
［PC-FAX 受信］

受信したファクスを本製品と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）
※ネットワーク環境にも対応しています。



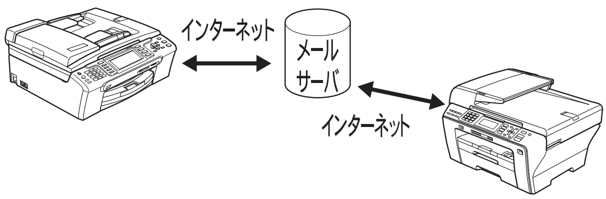
[Windows® の場合]

65 ページ

</td>
</tr>
</table>

● インターネットファクス（MFC-6490CN/6890CN）

● インターネット経由でファクスを送信／受信する
［インターネットファクス］



[Windows® の場合]

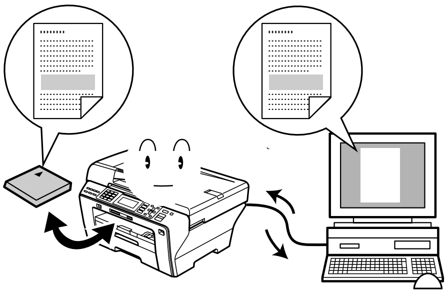
69 ページ

※Macintosh には対応しておりません。

● フォトメディアキャプチャ

● メディアをリムーバブルディスクとして利用する

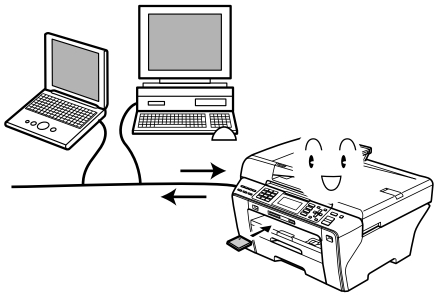
本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。



[Windows® の場合]
81 ページ
[Macintosh の場合]
136 ページ

● ネットワークでメディアを利用する
[ネットワークメディアアクセス]

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスします。



[Windows® の場合]
82 ページ
[Macintosh の場合]
136 ページ

● その他

● パソコンからインク残量を確認する
[ステータスモニタ]

現在のインク残量を確認できます。

[Windows® の場合]
12 ページ
[Macintosh の場合]
151 ページ

● スキャナ、PC-FAX などをかんたんに起動する
[ControlCenter]

スキャナや PC-FAX、リモートセットアップ機能などをかんたんに起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

[Windows® の場合]
89 ページ
[Macintosh の場合]
144 ページ

Windows®

第 1 章 プリンタ

プリンタとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をプリンタとして使用する場合、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。
パソコンとの接続や、ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

記録紙について

本製品をプリンタとして使う場合の記録紙については、ユーザーズガイドをご覧ください。
⇒ユーザーズガイド「記録紙のセット」

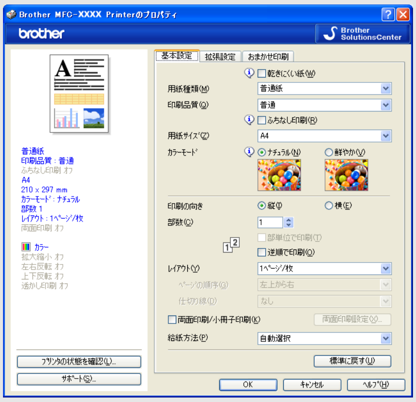
印刷する

本製品をプリンタとして使うときは、「通常使うプリンタ」として設定し、各種の印刷設定を行います。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ**

2 **［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする**

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。



3 **必要に応じて各項目を設定する**

設定内容の詳細について

⇒ 14 ページ「印刷の設定を変更する」

4 **［OK］をクリックする**

設定した内容が有効になり、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 **［OK］をクリックする**

ファイルが印刷されます。

次回の印刷から本製品が選ばれ、設定した内容で印刷されます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。画面に「データが残っています」または「データガノコッテイマス」と表示されている場合、残っているデータを消します。

1 **停止/終了 を押す**

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド「印刷テストを行う」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

1 **停止/終了 を押す**

印刷がキャンセルされます。

ファクスを送受信中に印刷する

ファクスを送受信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

ただし、受信したファクスを印刷している間は、印刷が一時的に停止します。ファクスの出力が完了したあとで、印刷が再開されます。

印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）

使用しているパソコンから、本製品の印刷状況やインクの残量、記録紙の有無などを確認できます。
ブラザー純正のインクや記録紙など、消耗品をご購入いただくためのサイトにジャンプすることもできます。

本製品の状態を確認する

パソコンを起動すると、タスクトレイに本製品の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

● 緑色のアイコン	本製品は正常に動作しています。
● 黄色のアイコン	本製品は警告状態です。
● 赤色のアイコン	本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題が解決しないときは、ユーザーズガイドをご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド「困ったときは」

お買い上げ時の設定ではタスクトレイにアイコンが表示されますが、デスクトップに表示させることもできます。表示させる内容や場所を変更するときは、タスクトレイのアイコンを右クリックして、[表示場所] を選択して、設定します。

ステータスモニタのウインドウを表示する

1 タスクトレイのアイコン をダブルクリックする

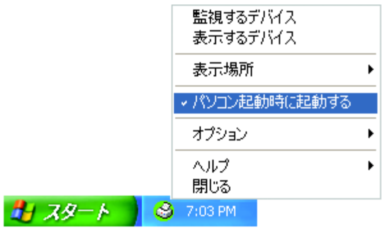
ステータスモニタのウィンドウが表示されます。

タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム（プログラム）] － [Brother] － [(モデル名)] － [ステータスモニタ] を選びます。

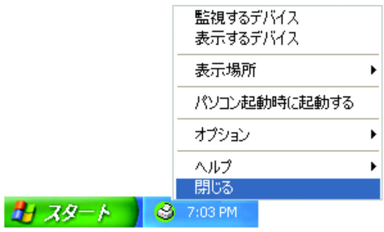
ステータスモニタを表示しない

ステータスモニタを常に表示しないときは、以下の手順で操作します。

1 タスクトレイのアイコンを右クリックし、[パソコン起動時に起動する]を選んでチェックをはずす



2 タスクトレイのアイコンを右クリックし、[閉じる]を選ぶ



ステータスモニタのアイコンがタスクトレイから消えます。

> タスクトレイにアイコンがない状態でステータスモニタを表示する場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム(プログラム)]－[Brother]－[(モデル名)]－[ステータスモニタ]を選びます。

純正消耗品のご案内サイトにジャンプする

ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページを表示することができます。

1 [ブラザー純正消耗品サイトのご案内]をクリックする

Internet Explorer® などの Web ブラウザが起動し、ブラザー純正消耗品のご案内ページが表示されます。

印刷の設定を変更する

パソコンから印刷するときは、印刷する内容に合わせてプリンタドライバで設定を行います。プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

> 最新のプリンタドライバは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

注意

- お使いの OS によっては利用できない項目があります。
- お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

「基本設定」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① 現在の設定

用紙種類、印刷品質など現在の設定が表示されています。

② [プリンタの状態を確認]

ステータスモニターが起動し、本製品の状態を表示します。

③ [サポート]

クリックすると、本製品にインストールされているドライバのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。⇒ 23 ページ「サポート情報の表示」

④ 乾きにくい紙

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

⑤ 用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー BP71 写真光沢紙
ブラザー BP61 写真光沢紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面（通信面）

⑥ 印刷品質

印刷する文書に必要な（最適な）印刷解像度を選びます。選べる解像度は、⑤で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	解像度 (dpi)	内容	印刷速度
最高速	600 × 150（カラー） 450 × 150（モノクロ）＊1	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く（「普通」の 2 ～ 3 倍の速度）、インクの消費量も少なくなります。	速い
高速	600 × 300	印刷速度を優先するとき ※「普通」の約 2 倍早く印刷できます。	
普通	600 × 600	通常の印刷のとき（品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
きれい	1200×1200＊2	「普通」より高画質で印刷するとき	
写真	1200 × 2400	写真のような精密なイメージを印刷するとき	
写真（最高画質）	1200 × 6000	最高画質で印刷するとき（高解像度で印刷するので、印刷にかかる時間は長くなります。）	遅い

＊ 1 MFC-5890CN/6490CN/6890CN の場合は、450 × 300。

＊ 2 光沢紙の場合は、600 × 1200。

印刷速度は印刷品質（解像度）と関係があり、品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は以下のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙	最高速 / 高速 / **普通** / きれい
インクジェット紙	きれい / **写真**
ブラザー BP71 写真光沢紙 / ブラザー BP61 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**普通** / きれい
写真用はがき 宛名面	最高速 / 高速 / 普通 / **きれい**

⑦ ふちなし印刷

⑧の「用紙サイズ」で「（フチナシ）」表示のある用紙が選択されると自動的にチェックされます。

ふちなし印刷ができる用紙の条件は以下のとおりです。

用紙サイズ	A3/JIS B4/ レジャー /A4/ レター /A6/ ハガキ /L 判 /2L 判 / ポストカード / インデックスカード
用紙種類	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP71 写真光沢紙 / ブラザー BP61 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 宛名面 / 写真用はがき 裏面（通信面）
印刷品質	高速/普通/きれい/写真/写真（最高画質）＊1

＊ 1 DCP-165C では、「写真（最高画質）」でふちなし印刷はできません。

アプリケーションによってはふちなし印刷が有効にならない場合があります。

FaceFilter Studio を使うと、簡単にふちなし印刷ができます。
⇒ 26 ページ「FaceFilter Studio で写真を印刷する」

⑧ 用紙サイズ

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選びます。選択肢にないサイズの記録紙に印刷したいときは、「ユーザー定義サイズ」を選んで、任意の用紙サイズを登録します。

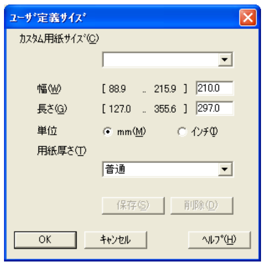
設定	サイズ
A3 ＊1、＊2	297 × 420mm
A3（横目紙あんしん給紙）＊1	297 × 420mm
JIS B4 ＊1、＊2	257 × 364mm
JIS B4（横目紙あんしん給紙）＊1	257 × 364mm
レジャー＊1、＊2	279.4 × 431.8mm
レジャー（横目紙あんしん給紙）＊1	279.4 × 431.8mm
A4	210 × 297mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル	215.9 × 355.6mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
JIS B5	182 × 257mm
A5	148 × 210mm
A6	105 × 148mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
C5 封筒	162 × 229mm
Com-10 封筒	104.7 × 241.3mm
DL 封筒	110 × 220mm
モナーク	98.4 × 190.5mm
洋形 4 号封筒	105 × 235mm
ユーザ定義サイズ（＊）	88.9 × 127.0mm （最小）＊3 287.0 × 431.8mm（最大）

＊1 MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ。
＊2 A3 および B4 サイズの用紙に対応していないモデル（MFC-5890CN/6490CN/6890CN 以外）で［A3］または［B4］を選択すると、印刷可能な用紙サイズに自動的に縮小して印刷します。
＊3 モデルによって、設定できる数値が異なります。

> ふちなし印刷ができる用紙には（フチナシ）がついています。ふちなし印刷を行う場合は（フチナシ）の用紙を選んでください。
>
> (MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ)
> A3、B4、レジャーサイズの記録紙を使って印刷するとき、にじみやインク汚れが付く場合があります。このようなときは、「横目紙あんしん給紙」と書かれた用紙を選んで印刷をお試しください。「横目紙あんしん給紙」を選んだ場合、通常よりも印刷に時間がかかります。

●（＊）ユーザ定義サイズ

ユーザ定義サイズは、以下の手順で設定します。



(1) **使用する用紙のサイズをはかる**

(2) **「ユーザ定義サイズ」を選ぶ**

(3) **用紙サイズに名前を付ける**

(4) **用紙サイズの単位（ミリまたはインチ）を選ぶ**

(5) **長さと幅を入力する**

(6) **用紙の厚み（普通 / 厚紙 / 封筒）を選ぶ**

普通紙を使う場合は「普通」を、厚い用紙を使う場合は「厚い」を、封筒を使う場合は「封筒」を選びます。

(7) **［保存］をクリックする**

入力した名前で、用紙サイズが登録されます。

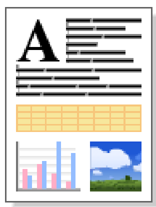
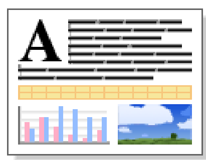
> アプリケーションによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。お使いのアプリケーションに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。
>
> 最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

⑨ カラーモード

「ナチュラル」または「鮮やか」を選びます。「ナチュラル」を選ぶと自然な色合いに、「鮮やか」を選ぶとよりはっきりした色合いになります。

⑩ 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を設定します。

縦	横
	

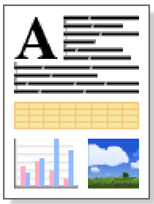
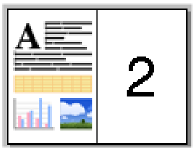
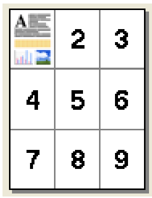
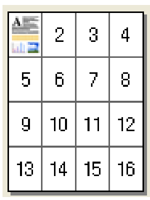
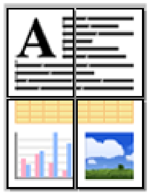
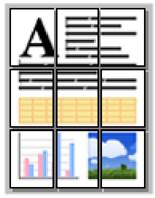
⑪ 部数

印刷する部数と印刷順序を設定します。

設定	内容
部数	印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。
部単位で印刷	チェックすると、文書一式が一部印刷されてから、設定した部数だけ印刷が繰り返されます。チェックを外すと、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
逆順で印刷	チェックすると、文書が最後のページから印刷されます。

⑫ **レイアウト**

1 ページのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷できます。

設定	内容
1 ページ／枚	そのままのサイズで印刷します。 
2 ページ／枚	1 枚の記録紙に 2 ページを縮小して印刷します。 
4 ページ／枚	1 枚の記録紙に 4 ページを縮小して印刷します。
9 ページ／枚	1 枚の記録紙に 9 ページを縮小して印刷します。 
16 ページ／枚	1 枚の記録紙に 16 ページを縮小して印刷します。 
縦2枚×横2枚	4 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。 
縦3枚×横3枚	9 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。 

⑬ **ページの順序**

ページの配置順序を選択します。

⑭ **仕切り線**

⑫のレイアウトで「1 ページ／枚」以外を選んだ場合は、ページの間に実線または破線の境界線を印刷できます。

⑮ **両面印刷 / 小冊子印刷（MFC-6890CN のみ）**

両面印刷、または小冊子印刷を行う場合に選択します。

⑯ **給紙方法（大容量トレイ対応モデルのみ）**

プリント時に使用する記録紙トレイを設定します。

自動両面印刷をする（MFC-6890CN のみ）

⑮の［両面印刷 / 小冊子印刷］のチェックボックスをチェックすると自動で両面印刷することができます。

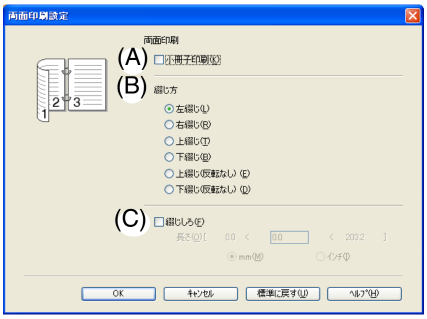
> 両面印刷 / 小冊子印刷は下記の内容で設定してください。
> - 用紙種類：普通紙
> - 用紙サイズ：A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5、A5、A6、ハガキ
> - ふちなし印刷：ハガキ（小冊子印刷はできません。）
> - レイアウト：1 ページ / 枚、2 ページ / 枚、4 ページ / 枚、9 ページ / 枚、16 ページ / 枚（小冊子印刷時には「2 ページ / 枚」になります。）
> - 給紙方法：自動選択、トレイ 1

注意

- ■ **薄い紙を使用するとしわが寄ることがあります。**
- ■ **記録紙がカールしていないことを確認してから記録紙トレイにセットしてください。紙づまりなどの原因となり、うまく両面印刷できないことがあります。**

● 両面印刷設定

［両面印刷設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。



(A) 小冊子印刷

小冊子として印刷したいときに選択します。印刷が終了したあと、用紙の真ん中を折ると小冊子になります。

(B) 綴じ方

印刷の向き、縦または横など 6 種類の綴じ方から選択します。

(C) 綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側の余白をミリメートル（0-203.2mm）またはインチ（0-8 インチ）で設定できます。

> 紙づまりや汚れが目立つような場合は、あんしん設定をお試しください。
> ⇒ 21 ページ「両面印刷あんしん設定（MFC-6890CN のみ）」

「拡張設定」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

① **カラー / モノクロ**

「カラー」か「モノクロ」を選びます。

設定	内容
カラー	カラーで印刷されます。
モノクロ	256 階調のグレースケールで印刷されます。

● **カラー設定**

［カラー設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

(A) 画質強調

チェックすると、下記の各設定を変更できます。この機能は、画像を自動分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、色の濃さを改善するものです。画像データの容量やパソコンの仕様によっても異なりますが、この処理には数分かかります。
画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効です。メガピクセルのデジタルカメラで撮影した画像データは、画質強調しないで印刷してください。

- カラー濃度
  画像中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。画像の色の量を増減し、色あせた画像や弱々しい画像を改善できます。
- ホワイトバランス
  画像中の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いに印刷できます。
- 明るさ
  画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト（濃淡）
  画像のコントラスト（濃淡）を調整します。
- 赤・緑・青
  画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

(B) 双方向印刷

チェックするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックを外すと、片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし	一方向から印刷します。 （印刷品質が良い）
チェックあり	双方向から印刷します。 （印刷速度が速い）

(C)　**パターン印刷を改善する**

パソコンで表示されるパターンと異なる印刷がされる場合に選択します。

② **拡大縮小**

印刷したい内容の拡大縮小を設定します。

設定	内容
オフ	拡大縮小しないとき選びます。 （画面に表示されたとおりに印刷されます。）
印刷用紙サイズに合わせます	印刷に使用する用紙サイズに合わせて、文書のサイズを拡大または縮小するとき選びます。
任意倍率	拡大または縮小したいとき選びます。 （25 ～ 400％の間で、任意の倍率を設定します。）

③ **左右反転**

チェックすると、左右を反転して印刷できます。

> 「用紙種類」で「OHP フィルム」を選んでいるときは設定できません。

④ **上下反転**

チェックすると、上下を反転して印刷できます。

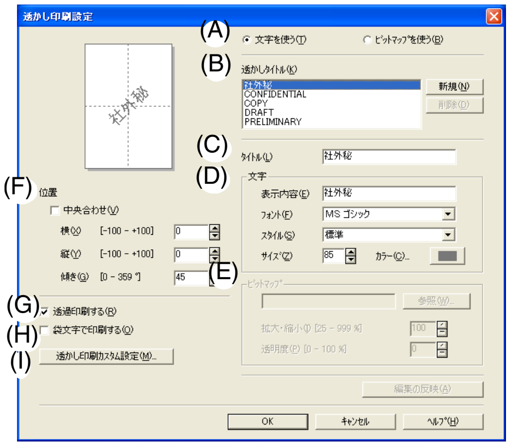
> 「用紙種類」で「OHP フィルム」を選んでいるときは設定できません。

⑤ **透かし印刷**

チェックすると、背景に透かしをいれて印刷できます。

● **透かし印刷設定**

［透かし印刷設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。



(A)　**文字を使う／ビットマップを使う**

透かしを文字にするか、画像（ビットマップ）にするかを選びます。

(B)　**透かしタイトル**

使用する透かしを選びます。新しく透かしを作るときは、［新規作成］をクリックします。

(C)　**タイトル**

透かしのタイトルが表示されます。新しく透かしを作るときは、ここにタイトルを入力します。

(D)　**文字**

透かしが文字の場合、「表示内容」に透かしにする文字を入力し、フォント、スタイル、サイズ、カラーを設定します。

(E)　**ビットマップ**

透かしがビットマップ形式の画像の場合、［参照］をクリックするか、データが保存されている場所のパスを入力して指定します。
また、画像のサイズや画像の濃さ（透明度）を設定できます。

(F)　**位置**

透かしを入れる位置を設定します。

(G)　**透過印刷する**

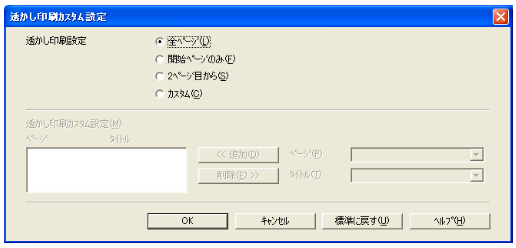
チェックすると、設定した文字や画像が透かしとして印刷されます。

(H)　**袋文字で印刷する**

チェックすると、透かし文字が袋文字で印刷されます。

(I)　**透かし印刷カスタム設定**

クリックすると、下記のダイアログボックスが表示されます。



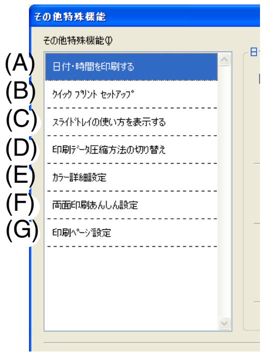
- 透かし印刷設定

透かしの印刷のしかたを選びます。

設定	内容
全ページ	透かしが全ページに印刷されます。
開始ページのみ	透かしが開始ページにのみ印刷されます。
2 ページ目から	透かしが 2 ページ目から印刷されます。
カスタム	透かしを印刷するページと内容をそれぞれ設定します。

⑥ その他特殊機能

クリックすると、下記のように表示されます。

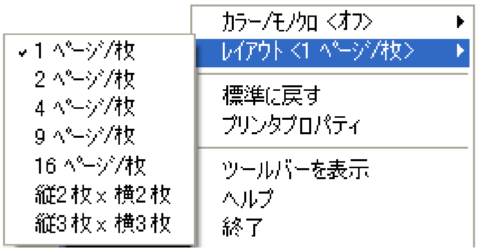


(A)　**日付・時間を印刷する**

［印刷する］をチェックすると、設定した日付と時刻を文書に印刷できます。

(B)　**クイックプリントセットアップ**

クイックプリントセットアップで「オン」を選ぶと、「レイアウト」と「カラー／モノクロ」の設定をすばやく選べます。
タスクトレイのアイコンをクリックするだけで、設定を確認できます。



> この機能を使う場合は Windows® のスタートメニューから［設定］-［プリンタと FAX］を選び、お使いのモデルの印刷設定を選んで設定を行ってください。

(C)　**スライドトレイの使い方を表示する（スライドトレイ対応モデルのみ）**

スライドトレイの使い方を説明したヘルプを表示するかしないかを設定します。

(D)　**印刷データ圧縮方法の切り替え**

画質や速度を優先したい場合に設定します。通常は、「推奨設定」にしてください。

(E)　**カラー詳細設定**

ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。画像にあわせて適切な方法を選んでください。

設定	内容
誤差拡散	点を無作為に配置して、ハーフトーンを表現します。図表や微妙な影を持つ写真を印刷するのに適しています。
ディザ	色をあらかじめ決められたパターンで配置して、ハーフトーンを表現します。色の境界がはっきりしている図や業務用グラフなどを印刷するのに適しています。
モニターに合わせる	印刷する色をパソコンのモニターで見ている色に最も近くなるように調整します。

(F)　**両面印刷あんしん設定（MFC-6890CN のみ）**

両面印刷時に紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときに設定します。

設定	内容
オフ	通常通り印刷します。
あんしん 1	片方向印刷（一方向からの印刷）にして印刷速度を落とします。印刷時間が長くなります。
あんしん 2	あいだに乾燥時間をとるのに加え、インク量を抑えて印刷を行います。印刷時間が長くなり、印刷濃度が薄くなります。

(G)　**印刷ページ設定（MFC-6890CN 以外）**

奇数ページのみ、偶数ページのみを印刷するように設定できます。

> 用紙サイズが A4 またはレターサイズ、用紙種類が普通紙の場合、奇数ページ／偶数ページのみの印刷ができます。
>
> 奇数ページ／偶数ページのみの印刷は、大容量トレイのからの給紙には、対応していません。

記録紙の両面に印刷する（MFC-6890CN 以外）

「印刷ページ設定」の機能を使って、記録紙の両面に印刷することができます。

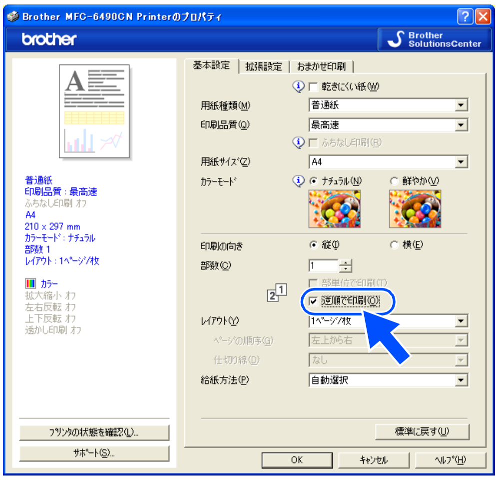
1　両面印刷したいファイルを開き、印刷ダイアログボックスを開く

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］などを選ぶと表示されます。

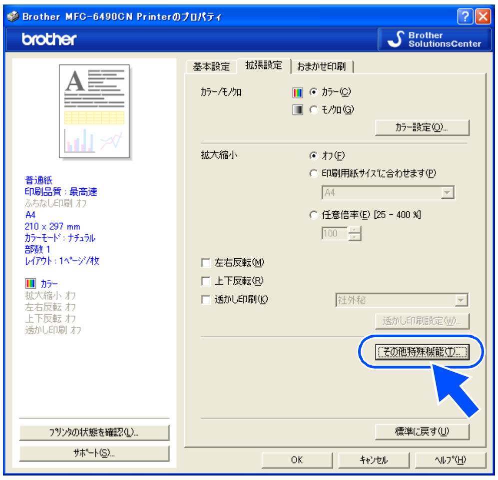
2　印刷ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする

プリンタドライバの画面が表示されます。

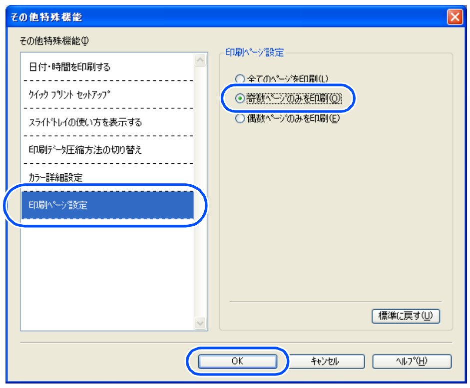
3 「基本設定」タブの「逆順で印刷」をチェックする



4 「拡張設定」タブの［その他特殊機能］をクリックする



5 「印刷ページ設定」をクリックし、「奇数ページのみを印刷」を選び、［OK］をクリックする



6 ［OK］をクリックしてプリンタドライバの画面を閉じ、印刷を行う

ファイルの奇数ページのみが印刷されます。

7 奇数ページのみ印刷された記録紙を取り出し、インクを乾かす

8 インクが乾いたら、紙がカールしていないことを確認して、空の記録紙トレイに 7 の記録紙をセットする

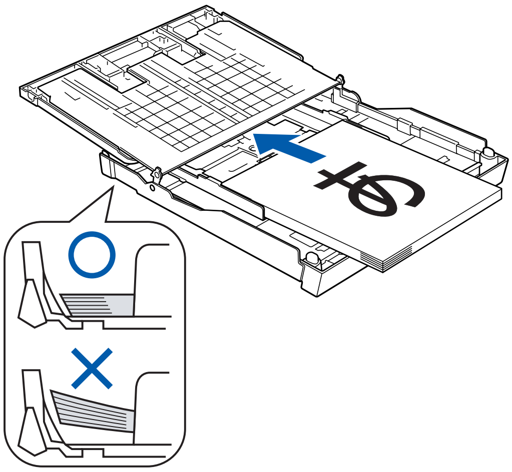
印刷された面を上にしてセットします。

他の記録紙（白紙のもの）は、セットしないでください。

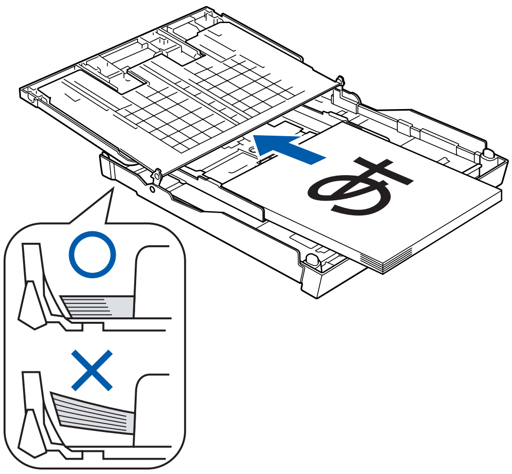
注意

■ インクが乾いていること、記録紙がカールしていないことを確認してからセットしてください。紙づまりなどの原因となり、うまく両面印刷できないことがあります。

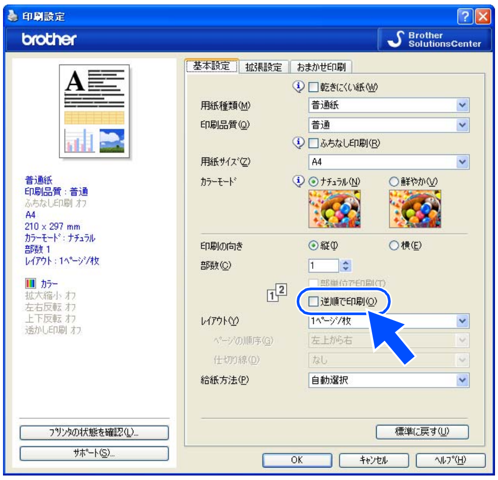
● 縦向きの場合



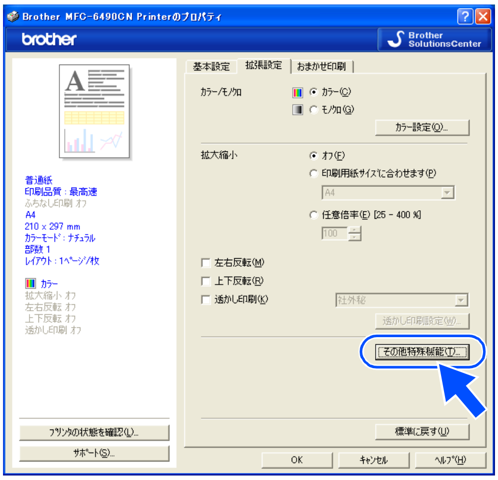
● 横向きの場合



9 プリンタドライバの「基本設定」タブで、「逆順で印刷」のチェックを外す



10 「拡張設定」タブの［その他特殊機能］をクリックする



11 「印刷ページ設定」をクリックし、「偶数ページのみを印刷」を選び、［OK］をクリックする

12 ［OK］をクリックしてプリンタドライバの画面を閉じ、印刷を行う

ファイルの偶数ページのみが印刷されます。

サポート情報の表示

プリンタドライバダイアログの［サポート］をクリックすると、本製品にインストールされているドライバのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。

① Brother Solutions Center
（ブラザーソリューションセンター）

クリックすると、よくある質問（Q&A）、最新のドライバやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

② ブラザー純正消耗品のご案内

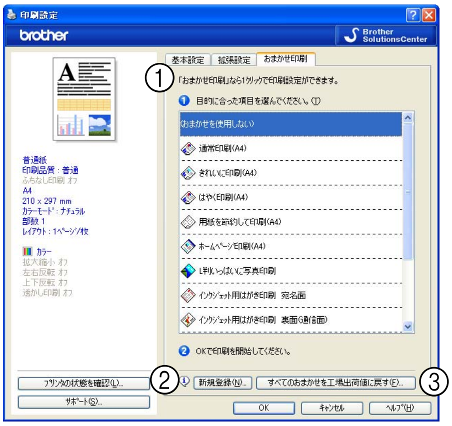
クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

③ 設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

「おまかせ印刷」タブの設定

本製品のプリンタドライバには、あらかじめ「通常印刷（A4)」「L 判いっぱいに写真印刷」など 11 種類の印刷設定が登録されています。登録されている設定を使うと、目的に応じた印刷が簡単に行えます。



① **項目**

目的に応じた印刷設定を選び、[適用] をクリックすると、設定内容が読み込まれます。

> 設定項目について詳しくは、以下をご覧ください。
> 印刷部数、印刷方向、部単位で印刷
> ⇒ 14 ページ「「基本設定」タブの設定」
> 透かし印刷
> ⇒ 19 ページ「「拡張設定」タブの設定」

② **[新規登録]**

クリックすると、新しい設定を登録できます。
⇒ 25 ページ「「おまかせ印刷」の設定を登録する」

③ **[すべてのおまかせを工場出荷値に戻す]**

クリックすると、おまかせ設定がすべて初期値に戻ります。

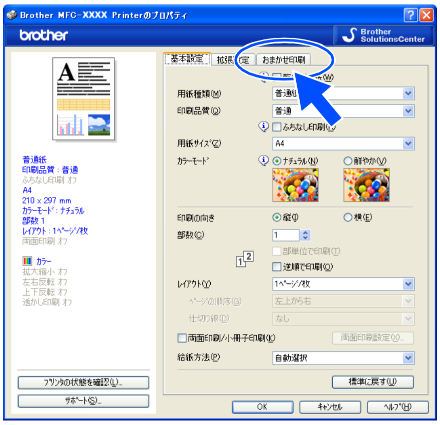
「おまかせ印刷」の設定を登録する

「おまかせ印刷」の設定を変更して、よく使う印刷設定として登録できます。

1 プリンタドライバで、登録したい印刷設定に変更する

⇒ 14 ページ「印刷の設定を変更する」

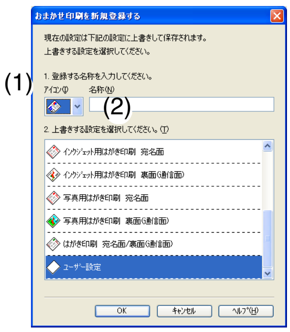
2 「おまかせ印刷」タブをクリックする



3 ［新規登録］をクリックする

「おまかせ印刷」の印刷設定一覧が表示されます。

4 アイコン（1）を選び、登録したい名称を入力（2）する



5 上書きしたい設定を選び、［OK］をクリックする

「ユーザー設定」以外の設定内容も書き換えることができます。

設定した印刷設定が、「おまかせ印刷」に登録されます。

おまかせ印刷の設定内容をお買い上げ時の設定に戻すときは

おまかせ印刷の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、［すべてのおまかせを工場出荷値に戻す］をクリックします。

FaceFilter Studio で写真を印刷する

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion, Inc のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整することができます。

FaceFilter Studio
Brother Edition
REALLUSION

FaceFilter Studio を使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されている FaceFilter Studio をインストールする必要があります。

- FaceFilter Studio のインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- ここでは、FaceFilter Studio の基本的な操作を説明します。操作の詳細については、FaceFilter Studio のヘルプをご覧ください。ヘルプは、メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio Help］を選んで開いてください。

FaceFilter Studio を起動する

1 **本製品の電源を入れる**

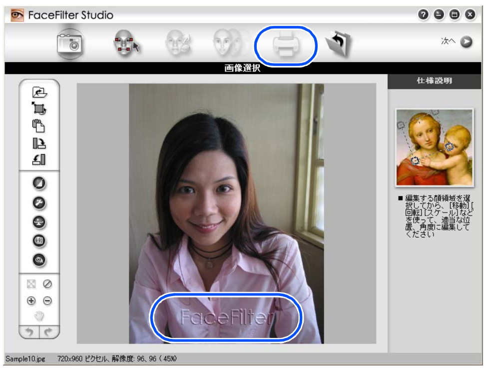
2 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio］を選ぶ**

本製品の電源が入った状態で初めて FaceFilter Studio を起動すると、次の画面が表示され、本製品が自動的に検出されます。

3 **［継続］をクリックする**

FaceFilter Studio がすべての機能が使える状態で起動します。

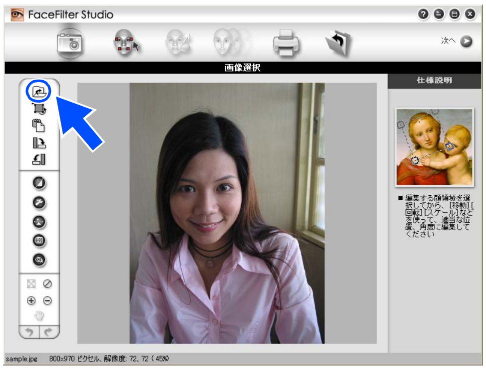
- 本製品の電源が切れた状態で FaceFilter Studio を起動すると、FaceFilter Studio が機能を制限された状態で起動します（機能制限版）。画面上部にあるメニューの印刷アイコンは薄く表示され、印刷機能は使用できません。また、写真は「FaceFilter」のすかし文字入りで表示・保存されます。



- FaceFilter Studio のすべての機能を利用するには、本製品の電源を入れてから、FaceFilter Studio を起動してください。

写真を印刷する

1 ［開く］をクリックして、印刷するデータを選ぶ



2 メニューバーの［印刷］をクリックする

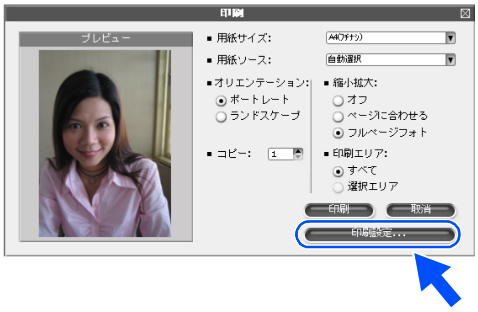
3 左の［印刷］をクリックする

印刷ダイアログボックスが表示されます。

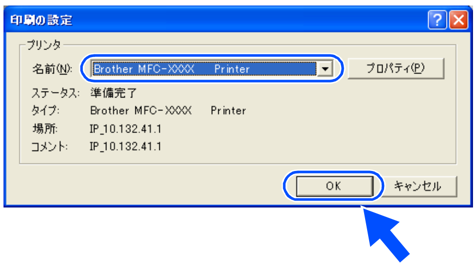
4 用紙サイズ、用紙の向き、部数などを設定する

写真をふちなし印刷するには、「拡大／縮小」の「フルページフォト」、および「用紙サイズ」の「(フチナシ)」を選択してください。

5 ［印刷設定］をクリックする



6 本製品を選択し、［OK］をクリックする



ブラザー写真光沢紙を使用するには、［プロパティ］をクリックし、プリンタドライバのダイアログボックスで、「用紙種類」と「印刷品質」を設定してください。

7 ［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする

写真が印刷されます。

明るさを自動調整する（スマートポートレート）

スマートポートレートは、顔がはっきり見えるよう、写真の明るさを自動調整する機能です。

1 **［開く］をクリックして、写真を選ぶ**

2 **スマートポートレートアイコンをクリックする**

明るさが自動的に調整されます。

3 **スライダーをドラッグして、明るさを調節する**

4 **［OK］をクリックする**

明るさが確定します。

赤目を修正する

フラッシュ撮影時の赤目を修正します。

1 **［開く］をクリックして、写真を選ぶ**

2 **赤目修正アイコンをクリックする**

赤目が自動的に修正されます。

> 「自動赤目探知」を使用すると、写真内のすべての赤目が自動的に探知され、点線の四角で囲まれます。「赤目限界値」のスライダーをドラッグすると、囲まれた領域の色を調節できます。

3 **［OK］をクリックする**

赤目が修正されます。

表情リストを印刷する

FaceFilter Studio では、表情テンプレートの利用または手動で、写真の人物の表情をさまざまに変化させることができます。「表情の選択」の操作では、選択した表情の一覧をプレビュー表示したり印刷したりもできます。

FaceFilter Studio をアンインストールする

1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［Uninstall FaceFilter Studio］を選ぶ**

画面の指示に従って、アンインストールします。

Windows®

第 2 章 スキャナ

このユーザーズガイド～パソコン活用編～は MFC-930CDN/930CDWN/670CD/670CDW/6890CN をタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。
また、Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- Presto! PageManager は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、HTML 形式、PDF 形式で保存できるので、Microsoft® Word や Adobe® Acrobat® で編集できます。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。「WIA（Windows® Imaging Acquisition）」は Windows® でデジタルカメラやスキャナなどから USB などを通して画像を取り込むためのものです。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信するパソコンでスキャンボタンの登録が必要です。スキャンボタンの登録が完了すると、本製品のスキャンボタンを押したときに選択項目として登録したパソコンの名前が表示されます。詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「ネットワークスキャン機能を使う」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション		詳細	ページ
スキャンデータを保存したい	スキャン TO ファイル		スキャンしたデータをパソコン上のハードディスクに保存します。	35 ページ
	スキャン TO メディア		スキャンしたデータを本製品に差し込んだメモリーカードや USB メモリーに保存します。	37 ページ
	スキャン TO FTP（＊ 1）		スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	41 ページ
スキャンデータを編集したい	スキャン TO イメージ		スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	32 ページ
	TWAIN/WIA ドライバ対応のアプリケーション		解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	44 ページ
	スキャン TO OCR		スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word 等で編集できます。	34 ページ
スキャンデータを送りたい	スキャン TO E メール	スキャン TO E メール添付	スキャンしたデータをパソコンから新規メールとして送信します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	31 ページ
		スキャン TO E メール送信（＊ 2）	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。（本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、パソコン上の操作は必要ありません。）	39 ページ

＊ 1 MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ
＊ 2 MFC-6490CN/6890CN のみ

本製品からスキャンする（パソコンに送る場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を押してスキャンしたデータを、パソコンに送ってさまざまな形で利用します。

スキャンした画像を E メールで送る

［スキャン TO E メール添付］

スキャンした画像を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面を起動します。

（MFC-6490CM/6890CN のみ）本製品でスキャンした原稿をパソコンのメールソフトに添付するのではなく、本製品上で直接宛先を指定して送信することもできます。⇒ 39 ページ「スキャンした原稿を E メールで直接送る（MFC-6490CN/6890CN）」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼で、【E メール：E メール添付】を選び、OK を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　E メール」を選びます。

USB のみで接続している場合は、手順 6 へ進んでください。

4 （MFC-6490CN のみ）【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、▲/▼で【PC】を選び、OK を押す

5 ▲/▼で保存先のパソコンを選び、OK を押す

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲/▼で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※修正するには クリア/バック を押してください。
>
> ※モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

6 スタート モノクロ または スタート カラー を押す

原稿がスキャンされます。

スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先の E メールアドレスを入力します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【E メール：E メール添付】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 6 へ進んでください。

4 （MFC-6890CN のみ）【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、【PC】を押す

5 保存先のパソコンを選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) OK を押す
>
> ※修正するには クリア を押してください。

6 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

原稿がスキャンされます。

スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先の E メールアドレスを入力します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る

[スキャン TO イメージ]

原稿をスキャンして、ファイルとしてパソコンに保存します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼で、【イメージ：PC 画像表示】を選び、OK を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　イメージ」を選びます。

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 ▲/▼で保存先のパソコンを選び、OK を押す

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲/▼で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

5 スタート モノクロ または スタート カラー を押す

パソコンの設定がカラーの場合はカラーで、モノクロの場合はモノクロでスキャンされます。カラー／モノクロの設定は、Control Center で変更できます。
⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」

> 原稿がスキャンされます。
>
> ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

ControlCenter からスキャンするときの設定を変更する

スキャン を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter から変更できます。
⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 【イメージ：PC 画像表示】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、[OK] を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
> (2) [OK] を押す
> ※ 修正するには [クリア] を押してください。

5 [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す

パソコンの設定がカラーの場合はカラーで、モノクロの場合はモノクロでスキャンされます。カラー／モノクロの設定は、Control Center で変更できます。

⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」

> 原稿がスキャンされます。
> ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

ControlCenter からスキャンするときの設定を変更する

[スキャン] を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter から変更できます。

⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

[スキャン TO OCR]

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 [▲]/[▼] で、【OCR：テキストデータ変換】を選び、[OK] を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　OCR」を選びます。

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 [▲]/[▼] で保存先のパソコンを選び、[OK] を押す

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) [▲]/[▼] で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) [▶] を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、[OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア/バック] を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、[OK] を押してください。

5 [スタート モノクロ] または [カラー スタート] を押す

原稿がスキャンされます。
ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 【OCR：テキストデータ変換】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、[OK] を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) [OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア] を押してください。

5 [モノクロ スタート] または [カラー スタート] を押す

原稿がスキャンされます。
ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

スキャンした画像を指定したフォルダに保存する

[スキャン TO ファイル]

原稿をスキャンしてパソコンの指定したフォルダに保存します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 [▲]/[▼] で、【ファイル：フォルダ保存】を選び、[OK] を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　ファイル」を選びます。

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 [▲]/[▼] で保存先のパソコンを選び、[OK] を押す

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) [▲]/[▼] で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) [▶] を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、[OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア/バック] を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、[OK] を押してください。

5 [スタート モノクロ] または [カラー スタート] を押す

原稿がスキャンされます。

ControlCenter で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

> 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
>
> - 保存先フォルダ
>   マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ Control Center 3 ¥ Scan
> - ファイル形式
>   JPG
> - ファイル名
>   CCFyyyymmdd_xxxxx
>   yyyy：西暦
>   mm：月
>   dd：日
>   xxxxx：通し番号

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャンを押す

3 【ファイル：フォルダ保存】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先のパソコンを選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、
▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
> (2) OK を押す
> ※ 修正するには クリア を押してください。

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

原稿がスキャンされます。
ControlCenter で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

> 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
> - 保存先フォルダ
>   マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ Control Center 3 ¥ Scan
> - ファイル形式
>   JPG
> - ファイル名
>   CCFyyyymmdd_xxxxx
>   yyyy：西暦
>   mm：月
>   dd：日
>   xxxxx：通し番号

本製品からスキャンする（パソコンに送らない場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を使ってスキャンする方法を説明します。

スキャンした原稿をメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存する

［スキャン TO メディア］

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（＊ .tif）または PDF ファイル形式（＊ .pdf）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

液晶ディスプレイモデルの場合（DCP-165C を除く）

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**
2. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**
3. **スキャンを押す**
4. **▲/▼で、【メディア：メディア保存】を選び、OKを押す**
5. **▲/▼で、【スキャン画質】を選ぶ**
6. **◀/▶で、画質を選び、OKを押す**

   画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。
7. **▲/▼で、【ファイル形式】を選ぶ**
8. **◀/▶で、ファイル形式を選び OKを押す**

   カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。
   DCP-385C、DCP-535CN の場合、手順 12 へ
9. **（MFC-6490CN をお使いの場合）**

   ▲/▼で、【ガラス面読取サイズ】を選び、◀/▶で、サイズを選んで OKを押す

   【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

   > ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。
10. **▲/▼で、【ファイル名】を選ぶ**
11. **ダイヤルボタンで保存するファイルの名前を入力し、OKを押す**

    設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。

    変更する場合は、クリア/バックを押してファイル名を消去してから新しいファイル名を入力してください。ファイル名は、最大 6 文字まで入力できます。
12. **スタート モノクロ または カラー スタート を押す**

    スキャンが開始されます。

タッチパネルモデルの場合

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**
2. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**
3. **スキャンを押す**
4. **【メディア：メディア保存】を押す**
5. **【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ**

   画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。
6. **【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ**

   カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

7 （MFC-6890CN をお使いの場合）【ガラス面読取サイズ】を押し、サイズを選ぶ

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

8 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す

設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。

変更する場合は、⌫ を押してファイル名を消去してから新しいファイル名を入力してください。ファイル名は、最大 6 文字まで入力できます。

9 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。すべての原稿がスキャンされたら終了です。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか？／はい ／いいえ 】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 12 へ

読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押す

11 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 10、11 を繰り返します。

12 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す

スキャンを終了します。

DCP-165C の場合

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 原稿台ガラスに原稿をセットする

3 スキャン を押す

4 + - で、【スキャン　To　メディア】を選び、OK を押す

5 + - で、画質を選び、OK を押す

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

6 + - で、ファイル形式を選び、OK を押す

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

7 スタート モノクロ または スタート カラー を押す

スキャンが開始されます。

スキャンした原稿を E メールで直接送る（MFC-6490CN/6890CN）

［スキャン TO E メール送信］

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿は E メールの添付ファイルとして、モノクロは TIFF または PDF 形式、カラーは JPEG または PDF 形式で送信されます。

準備：本製品とメールサーバーの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバー名（受信・送信）などの設定のことです。詳しくは「画面で見るマニュアル」を参照してください。

スキャンした原稿を E メールで送る（MFC-6490CN の場合）

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **［スキャン］を押す**

3. **▲/▼で、【E メール：E メール添付】を選び、［OK］を押す**

4. **【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、▲/▼で、【E メールで送る】を選び、［OK］を押す**

   スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 8 へ進みます。

5. **▲/▼で、【スキャン画質】を選ぶ**

6. **◀/▶で、画質を選び、［OK］を押す**

   画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

7. **▲/▼で、【ファイル形式】を選ぶ**

8. **◀/▶で、ファイル形式を選び、［OK］を押す**

   カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

9. **▲/▼で、【ガラス面読取サイズ】を選ぶ**

   > ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

10. **◀/▶で、サイズを選び、［OK］を押す**

    【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

11. **▲/▼で、メールマークを選び、送信先の E メールアドレスを入力する**

    電話帳からすでに登録してある E メールアドレスを選ぶこともできます。

12. **［モノクロ スタート］または［カラー スタート］を押す**

> 原稿がスキャンされます。
> スキャンが終了すると、本製品から設定した E メールアドレスへメールが送信されます。

スキャンした原稿を E メールで送る（MFC-6890CN の場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 （スキャン）を押す

3 【E メール：E メール添付】を押す

4 【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、【E メールで送る】を押す

5 【手動入力】または【電話帳から検索】を押す

【手動入力】を選んだ場合は、画面に表示されているキーボードで送信先の E メールアドレスを入力し、（OK）を押します。

【電話帳から検索】を選んだ場合は、すでに登録されている E メールアドレスを選択し、【ファクス送信】を押します。

スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 9 へ進みます。

6 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

7 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

8 【ガラス面読取サイズ】を押し、サイズを選ぶ

> ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

9 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

原稿がスキャンされます。
スキャンが終了すると、本製品から設定した E メールアドレスへメールが送信されます。

スキャンした原稿を FTP サーバーに送る（MFC-5890CN/6490CN/6890CN）

［スキャン TO FTP］

この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置された FTP サーバー上に保存する機能です。

スキャン TO FTP を使用するには、送信先の情報を操作パネルから登録しておく必要があります。設定方法は、「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「スキャン TO FTP の設定」をご覧ください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-5890CN/6490CN の場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 （スキャン）を押す

3 ▲/▼で、【FTP：FTP サーバに保存】を選び、（OK）を押す

4 ▲/▼で、送信したい FTP サーバーを選び、（OK）を押す

> FTP サーバーの登録内容に未設定項目があった場合は、画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、必要な項目を入力してください。
>
> FTP プロファイル設定時に、【コピー画質】や【ファイル形式】を【―】に設定した FTP サーバーを選んだ場合は、それぞれの設定を選択する画面が表示されます。▲/▼で設定を選び、（OK）を押します。

5 （スタート モノクロ）または（カラー スタート）を押す

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-6890CN の場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 （スキャン）を押す

3 【FTP：FTP サーバに保存】を押す

4 送信したい FTP サーバーを押す

> FTP サーバーの登録内容に未設定項目があった場合は、画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、必要な項目を入力してください。
>
> FTP プロファイル設定時に、【スキャン画質】や【ファイル形式】を【―】に設定した FTP サーバーを選んだ場合は、それぞれの設定を選択する画面が表示されます。設定を選んで（OK）を押します。

5 （スタート モノクロ）または（カラー スタート）を押す

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

スキャンした原稿を手動で FTP サーバーに送る（MFC-5890CN/6490CN の場合）

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**
2. **スキャン を押す**
3. **▲/▼で、【FTP：FTP サーバに保存】を選び、OK を押す**

   あらかじめ登録された FTP プロファイルがない場合は、手順 5 へ進みます。
4. **▲/▼で、【<手動設定>】を選び、OK を押す**
5. **ダイヤルボタンで、FTP サーバーのドメイン名を入力し、OK を押す**

   ドメイン名（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
6. **ダイヤルボタンで、送信先のフォルダ名を入力し、OK を押す**

   例：brother/abc
7. **ダイヤルボタンで、ユーザー名を入力し、OK を押す**
8. **ダイヤルボタンで、パスワードを入力し、OK を押す**

   スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 14 へ進みます。
9. **▲/▼で、【スキャン画質】を選ぶ**
10. **◀/▶で、画質を選び、OK を押す**

    画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。
11. **▲/▼で、【ファイル形式】を選ぶ**
12. **◀/▶で、ファイル形式を選び、OK を押す**

    カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。
13. **（MFC-6490CN をお使いの場合）**

    ▲/▼で、【ガラス面読取サイズ】を選び、◀/▶で、サイズを選んで OK を押す

    【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

    > ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。
14. **スタート モノクロ または スタート カラー を押す**

    FTP サーバーへの接続が始まります。
    接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

> タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、はじめから手順をやり直してください。
> FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の画面にエラーメッセージが表示されます。この場合も、はじめからやり直してください。

スキャンした原稿を手動で FTP サーバーに送る（MFC-6890CN の場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 （スキャン）を押す

3 【FTP：FTP サーバに保存】を押す

あらかじめ登録された FTP プロファイルがない場合は、手順 5 へ進みます。

4 【<手動設定>】を押す

5 【名前】または【IP アドレス】を押す

6 画面に表示されているキーボードで、FTP サーバーのドメイン名を入力し、OK を押す

【名前】を選んだ場合は、ドメイン名（例：ftp.example.com）、【IP アドレス】を選んだ場合は、IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。

7 画面に表示されているキーボードで、送信先のフォルダ名を入力し、OK を押す

例：brother/abc

8 画面に表示されているキーボードで、ユーザー名を入力し、OK を押す

9 画面に表示されているキーボードで、パスワードを入力し、OK を押す

スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 13 へ進みます。

10 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

11 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

12 【ガラス面読取サイズ】を押し、サイズを選ぶ

> ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

13 （モノクロ スタート）または（カラー スタート）を押す

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

> タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、はじめから手順をやり直してください。
> FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の画面にエラーメッセージが表示されます。この場合も、はじめからやり直してください。

アプリケーションから直接スキャンする（TWAIN）

本製品のドライバは TWAIN 対応です。ドライバにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

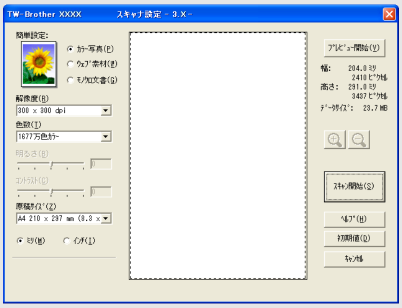
注意

■ あらかじめ、「Presto! PageManager」を起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名「TW-Brother xxx-xxxx」を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオフにしてください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 初期画面の をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。



- いったん画像を確認（プレスキャン）するとき ⇒手順 3 へ
- そのままスキャンするとき ⇒手順 5 へ

3 ［プレビュー開始］をクリックする

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合、プレスキャンのため原稿が一度排出されます。スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スキャン開始］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

4 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

5 解像度や明るさなどの項目を設定する

TWAIN ダイアログボックスの設定について

⇒ 45 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

6 ［スキャン開始］をクリックする

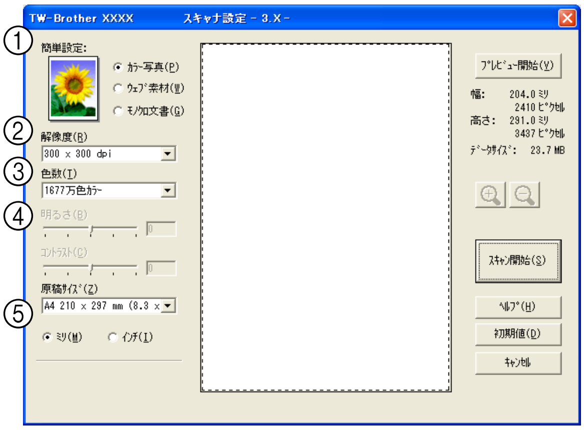
原稿がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

7 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

TWAIN ダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。



① 簡単設定（イメージタイプ）

スキャンする原稿の種類や用途に応じて設定を選びます。選んだ設定に応じて、他の項目が最適に設定されます。

設定	内容
カラー写真	写真などのカラー原稿をスキャンするときに選びます。
ウェブ素材	スキャンした画像データをホームページに使用するときに選びます。
モノクロ文書	白黒の原稿をスキャンするときに選びます。

② 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒 / グレー /256 階調グレー	256 色カラー	1677 万色カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスク空き容量とスキャンにかかる時間が増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

③ 色数

取り込む色数を設定します。

設定	内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
256 色カラー	カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
1677 万色カラー	カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

④ 明るさ／コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

⑤ 原稿サイズ

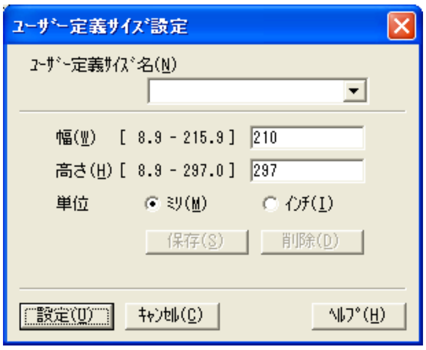
以下のいずれかのサイズを設定します。

設定	サイズ
A3（＊ 1）	297 × 420mm
JIS B4（＊ 1）	257 × 364mm
レジャー（＊ 1）	279.4 × 431.8mm
A4	210 × 297mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル（＊ 2）	215.9 × 355.6mm
A5	148 × 210mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
ユーザー定義サイズ（＊ 3）	

＊ 1　MFC-6490CN/6890CN のみ

＊ 2　ADF 搭載モデルのみ対応しています。

＊ 3「ユーザー定義サイズ」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。ADF 搭載モデルでは 215 × 355.6mm まで、MFC-6490CN/6890CN では 297 × 431.8mm まで 調整できます。



ユーザー定義サイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンで、スキャン範囲の点線をドラッグします。

名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm ）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

WIA を使ってスキャンする場合（Windows® XP/Windows Vista®）

本製品のドライバは WIA 対応です。Windows® XP/Windows Vista® をお使いの場合、ドライバにより、TWAIN または WIA 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

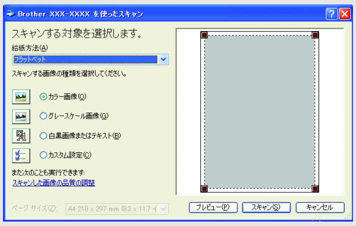
注意

- あらかじめ、「Presto! PageManager」を起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（WIA-Brother xxx-xxxx）を選んでおきます。また、［ツール］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオフにしてください。

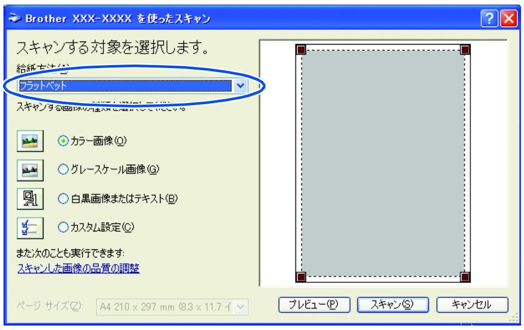
1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 初期画面の をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。



3 「給紙方法」で「フラットベット」を選ぶ



ADF 搭載モデルでない場合、この操作は必要ありません。

- いったん画像を確認する（プレスキャン）するとき ⇒手順 4 へ
- そのままスキャンするとき ⇒手順 6 へ

4 ［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

6 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 49 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

7 ［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

8 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

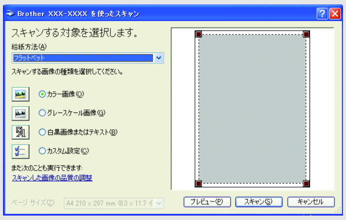
ADF（自動原稿送り装置）から原稿をスキャンする（ADF 搭載モデルのみ）

複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルでは、ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

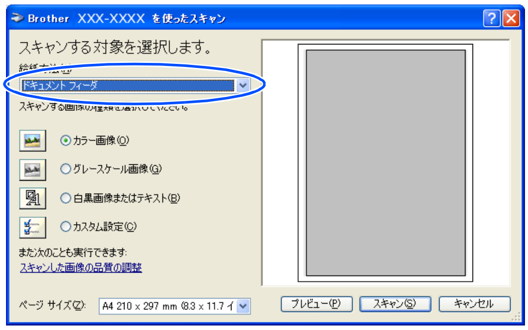
1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

2 初期画面の をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。



3 「給紙方法」で「ドキュメントフィーダ」を選ぶ



4 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 49 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

5 ［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

6 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

WIA ダイアログボックスの設定について

WIA ダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

① 給紙方法

原稿のセット方法を「ドキュメントフィーダ」か「フラットベッド」から選びます。「ドキュメントフィーダ」を選んだ場合は、ページサイズを指定します。画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類に応じて設定します。

設定	内容
カラー画像	カラーのとき選びます。
グレースケール画像	写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるときに選びます。（モノクロ 256 階調でスキャンします。）
白黒画像またはテキスト	テキストや線画の場合に選びます。（モノクロ 2 階調でスキャンします。）
カスタム設定	スキャンする項目を自由に設定できます。

③ スキャンした画像の品質の調整

「スキャンした画像の品質の調整」をクリックすると、「詳細プロパティ」ウインドウが表示され、スキャンする画像の詳細設定を調整できます。

(A)　明るさ／コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

(B)　解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、600、1200dpi から選べます。

2400 ／ 4800 ／ 9600 ／ 19200dpi の解像度でスキャンするときは

2400 ／ 4800 ／ 9600 ／ 19200dpi の解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。

(1)　**［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［スキャナ設定］－［スキャナユーティリティ］を選ぶ**

◆「スキャナユーティリティ」が起動します。

アプリケーションによっては、1200dpi 以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

Windows® フォト ギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使用する場合

Windows Vista® をお使いの場合、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAX とスキャン」で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャナとして、本製品を選ぶ

A)「Windows® フォトギャラリー」の場合

(1)　[ファイル] - [カメラまたはスキャナからの読み込み] を選ぶ

(2)　接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選ぶ

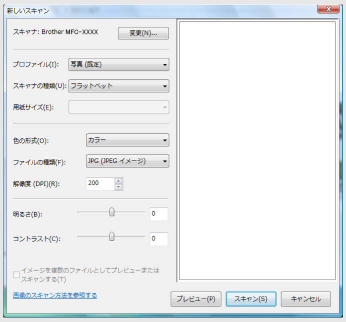
B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

(1)　[ファイル] - [新規作成] - [スキャン] を選ぶ

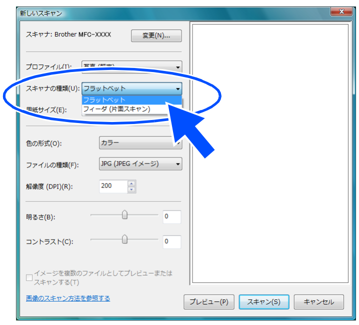
(2)　接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選ぶ

3 [読み込み] をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。



4 「スキャナの種類」で「フラットベット」を選ぶ

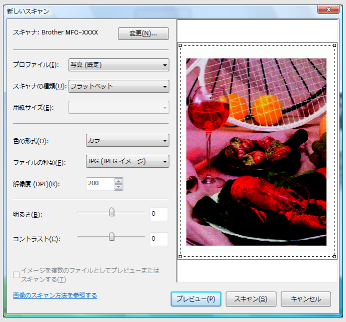


ADF 搭載モデルでない場合、この操作は必要ありません。

- いったん画像を確認する（プレスキャン）するとき ⇒手順 5 へ
- そのままスキャンするとき ⇒手順 7 へ

5 [プレビュー] をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。



6 点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

7 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 49 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

8 [スキャン] をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

9 画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）から原稿をスキャンする（ADF 搭載モデルのみ）

複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルでは、ADF を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

2 スキャナとして、本製品を選ぶ

A)「Windows® フォトギャラリー」の場合

(1) ［ファイル］-［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ

(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選ぶ

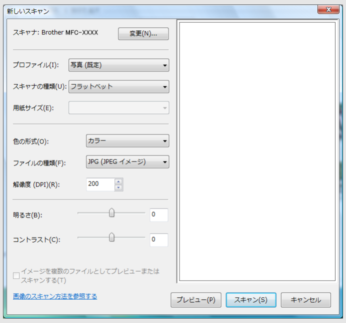
B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

(1) ［ファイル］-［新規作成］-［スキャン］を選ぶ

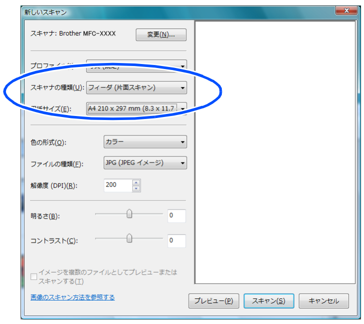
(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選ぶ

3 ［読み込み］をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。



4 「スキャナの種類」で「フィーダ」を選ぶ



5 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 49 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

6 ［スキャン］をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

7 画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

原稿の文字を修正できるようにスキャンする

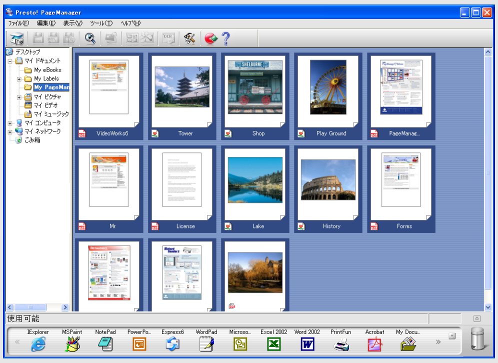
文字の入った原稿をスキャンして、テキストデータに変換します。変換されたテキストデータはパソコン上で文字を編集できるだけではなく、保存するデータ容量も小さくなります。ここでは Presto! PageManager から操作する方法を説明します。

- Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- スキャンする原稿はできるだけ汚れなどの少ないきれいなものを使用してください。正しく文字が認識される確率が高くなります。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Presto! PageManager xxx］-［Presto! PageManager xxx］を選ぶ

Presto! PageManager が起動します。



3 ［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

4 をクリックする

原稿がスキャンされます。

5 をクリックする

スキャンした画像から文字認識を行います。

スキャン済みのデータを使用するときは

Presto! PageManager のデスクトップ表示エリアにあるサムネール（画像データ）をクリックして選びます。

Windows®

第 3 章 PC-FAX（MFC モデルのみ）

このユーザーズガイド～パソコン活用編～は MFC-930CDN/930CDWN/670CD/670CDW/6890CN をタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

PC-FAX を使う前に

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に設定できます。（⇒ 58 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」）また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

注意

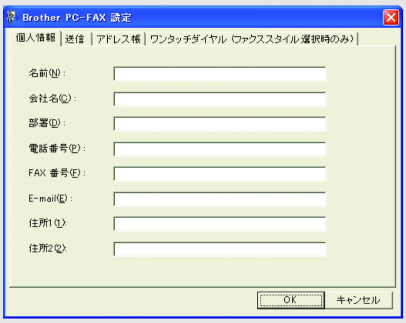
- 型番の先頭に「DCP」がついている機種をお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
- Windows Vista® をお使いの場合、Internet Explorer® 7 からの送信はできません。
- Windows® 2000/XP をお使いの場合は、Administrator 権限でログオンしてください。

個人情報を登録する

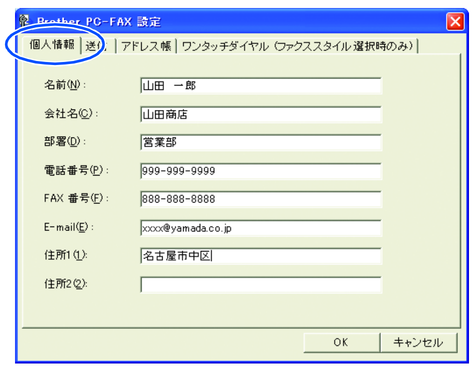
ファクスのヘッダーと送付書に挿入される個人情報を設定します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。



2 「個人情報」タブをクリックし、個人情報を入力する



3 ［OK］をクリックする

個人情報が保存されます。

送信の設定をする

ファクス送信に必要な設定をします。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 「送信」タブをクリックし、送信に関する設定をする

① ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号がある場合に入力します。この番号は、PBX やビジネスホンへ接続した環境で必要になる場合があります。本製品を単独で電話回線に接続する場合、入力は必要ありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合に、チェックします。

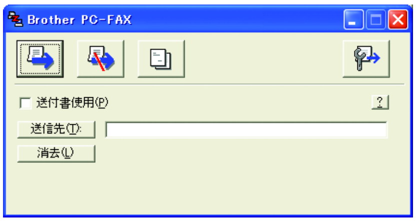
③ ネットワーク PC-FAX

ネットワーク環境で PC-FAX を使用する場合にチェックします。
インターネットファクスを使用する場合もチェックしてください。（MFC-6490CN/6890CN のみ）

④ 送信操作画面

「シンプルスタイル」か「ファクススタイル」のどちらかを選びます。

- シンプルスタイル



- ファクススタイル

3 ［OK］をクリックする

送信設定が保存されます。

アドレス帳を設定する

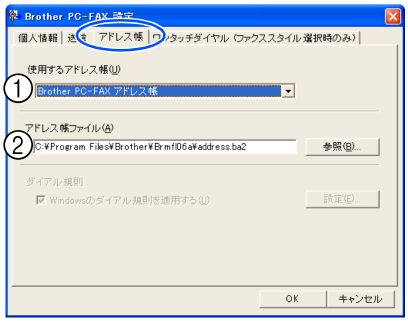
相手先のファクス番号を PC-FAX アドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

> 「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。（58 ページ）

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 ［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする



① 使用するアドレス帳

送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。

通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Window メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳を利用する場合は、「Windows メールアドレス帳」、「Outlook アドレス帳」、または「Outlook Express アドレス帳」を選びます。

② アドレス帳ファイル

ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてアドレス帳ファイルを選びます。

> Microsoft® Outlook 2000/2002/2003/2007 に対応しています。
>
> Outlook のアドレス帳を使用するには、Outlook が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

3 ［OK］をクリックする

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

パソコンからファクスを送る

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定（54 ページ）で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

注意

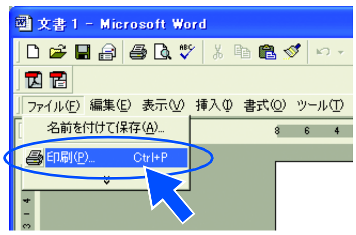
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）
- Windows Vista® をお使いの場合、Internet Explorer® 7 からの送信はできません。

ファクススタイルでファクスを送る

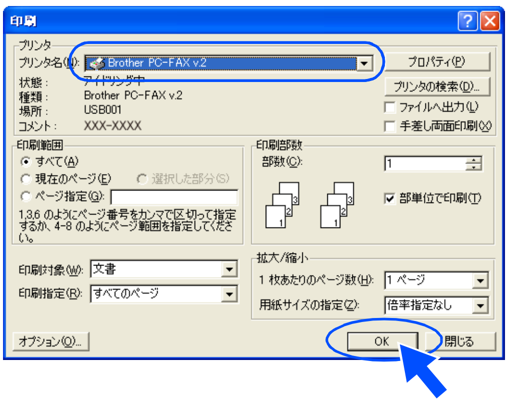
送信の設定（54 ページ）で送信操作画面を「ファクススタイル」に設定しているときは以下の手順で送信します。

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX v.2」を選び、［OK］をクリックする



ファクス送信画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力する

ファクス番号は以下の方法で入力できます。

- ダイヤルパッドをクリックする
- ワンタッチダイヤルボタンをクリックする
- ［アドレス帳］をクリックし、アドレス帳から選ぶ
- ［再ダイヤル］をクリックし、最近送った送付先から選ぶ

- 「ワンタッチダイヤルボタン」や「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。
  ⇒ 58 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。
- ［再ダイヤル］をクリックすると、最近送った相手先が、新しい順に 5 件表示されます。
- 送付書を付ける場合は、送付書使用ボタンをクリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。
  送付書を編集・作成する手順について
  ⇒ 64 ページ「送付書を作成する」
- Windows® メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。
  ⇒ 55 ページ「アドレス帳を設定する」

5 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは

(1) ［中止］をクリックする
◆ 送信が中止されます。

シンプルスタイルでファクスを送る

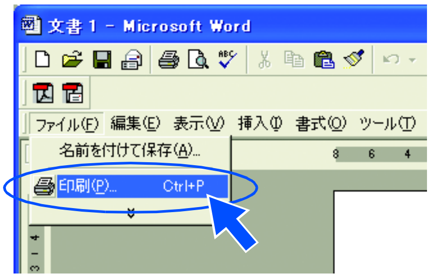
送信の設定（⇒ 54 ページ「送信の設定をする」）で送信操作画面を「シンプルスタイル」に設定しているときは以下の手順で送信します。

注意

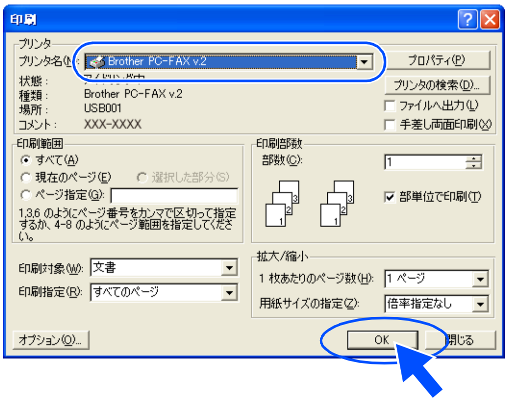
■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

1　パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2　アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



3　「プリンタ名」で「Brother PC-FAX v.2」を選び、［OK］をクリックする

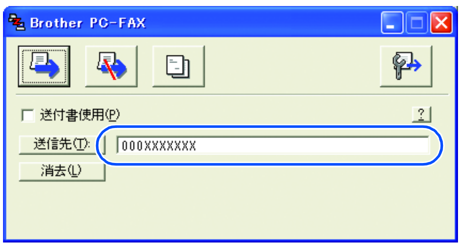


ファクス送信画面が表示されます。

4　［送信先］にファクス番号を入力する

ファクス番号は以下の方法で入力できます。

- キーボードから番号を入力する
- ［送信先］をクリックし、アドレス帳から選ぶ



「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。

⇒ 58 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」

ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。

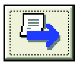
送付書を付ける場合は、「送付書使用」を ON にします。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

送付書を編集・作成する手順について

⇒ 64 ページ「送付書を作成する」

Windows® メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。

⇒ 55 ページ「アドレス帳を設定する」

5　 をクリックする

ファクスが送信されます。

PC-FAX アドレス帳を利用する

PC-FAX を使うときは、PC-FAX アドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PC-FAX アドレス帳データは、CSV 形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

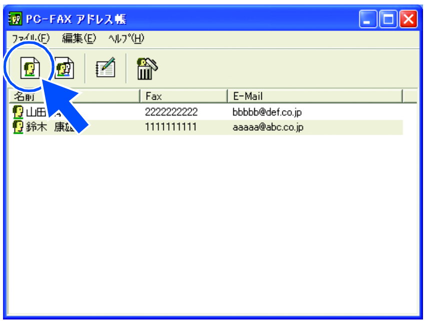
PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に送信先を登録します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

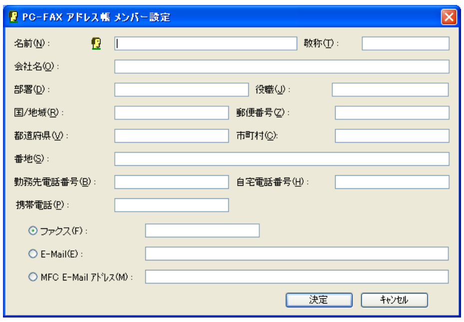
2 **をクリックする**



相手先を登録する画面が表示されます。

3 相手先の情報を入力する

「名前」は必ず入力します。



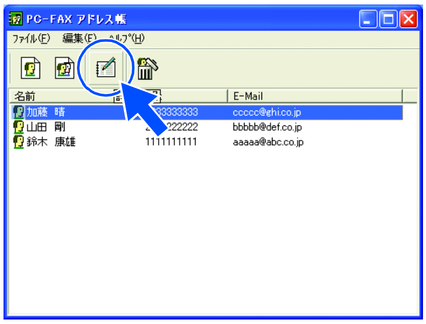
インターネットファクス対応モデル（MFC-6490CN/6890CN）で、ネットワーク PC-FAX を使用する状態に設定している場合は、ファクス番号、E メール、MFC E メールアドレスのうち、どれを登録するか選択することができます。
⇒ 54 ページ「送信の設定をする」

4 ［決定］をクリックする

相手先の情報がPC-FAXアドレス帳に保存されます。

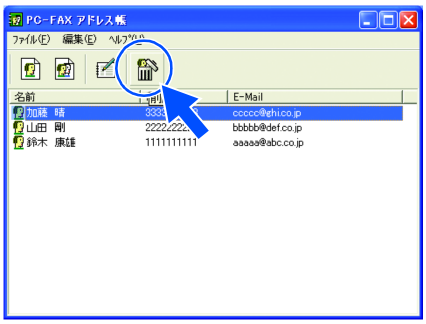
PC-FAX アドレス帳の登録情報を修正する

修正したい相手先をクリックし、 をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。



PC-FAX アドレス帳の登録情報を削除する

(1) 削除したい相手先をクリックし、 をクリックする



◆ 削除を確認するメッセージが表示されます。

(2) ［OK］をクリックする

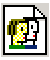
◆ 相手先が削除されます。

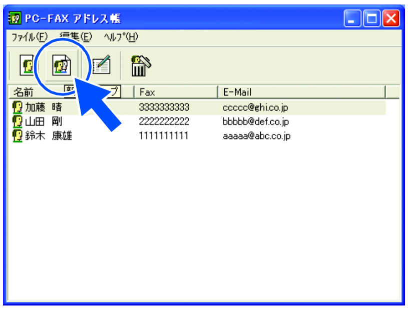
グループダイヤルに相手先を登録する

同じ内容のファクスを複数の相手先に何度も送信するときは、相手先を「グループ」として登録しておくと便利です。送信先として「グループ」を指定することで、一度の操作でグループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

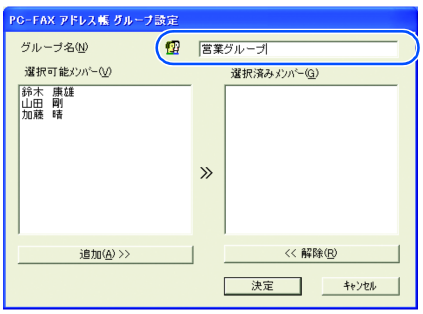
PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2  をクリックする



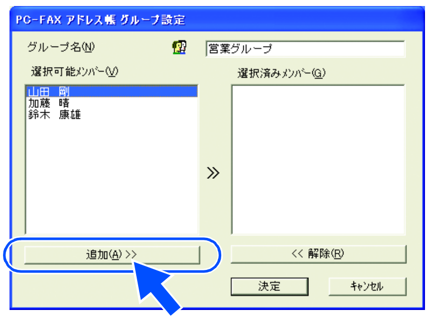
グループを登録する画面が表示されます。

3 グループ名を入力する



4 「選択可能メンバー」に表示されている相手先から、グループとして設定したい相手先を選び、［追加］をクリックする

グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。



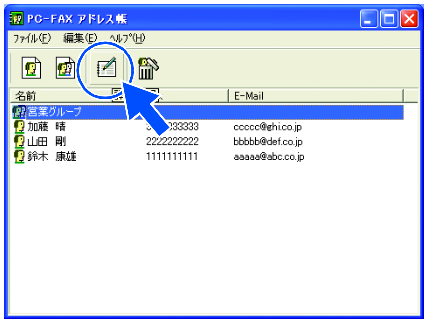
選んだ相手先がグループのメンバーとして「選択済みメンバー」に表示されます。

5 ［決定］をクリックする

グループの設定がPC-FAXアドレス帳に登録されます。

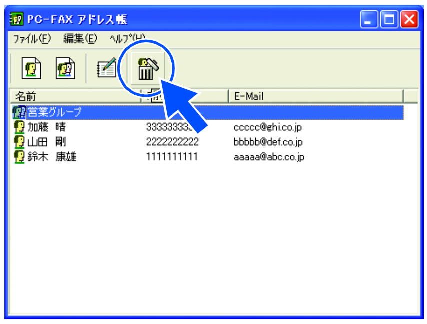
グループの登録情報を修正する

情報を修正したいグループをクリックし、 をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。



グループの登録情報を削除する

(1) 削除したいグループをクリックし、 をクリックする



◆ 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

(2) ［OK］をクリックする

◆ グループの設定が削除されます。（グループに登録されている個々の相手先の情報は削除されません。）

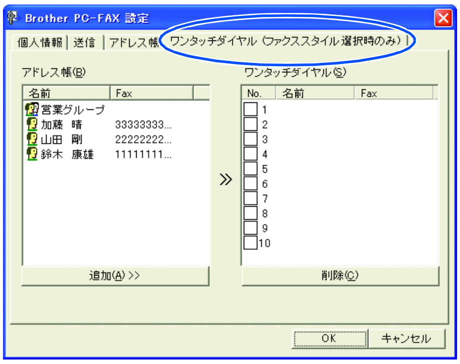
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に登録した相手先やグループは、「ワンタッチダイヤル」として 10 件まで登録できます。よく使う相手先などを登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に指定できます。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

PC-FAX を設定する画面が表示されます。

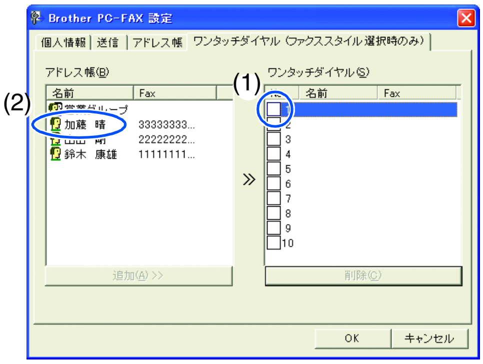
2 ［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする



ワンタッチダイヤルを登録する画面が表示されます。

3 「ワンタッチダイヤル」の登録したいダイヤル番号をクリックする

ワンタッチダイヤルの番号をクリックし (1)、アドレス帳から登録する名前をクリックして (2) 選びます。



4 ［追加］をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

5 ［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

ワンタッチダイヤルの設定を削除する

(1) 「ワンタッチダイヤル」に登録されている相手先をクリックする

(2) ［削除］をクリックする

アドレス帳をエクスポートする

PC-FAX で設定したアドレス帳は、CSV 形式のファイル、vCard 形式のファイル、またはリモートセットアップで使用できるファイルとしてエクスポートすることができます。

「vCard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「vCard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV 形式のファイルでエクスポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

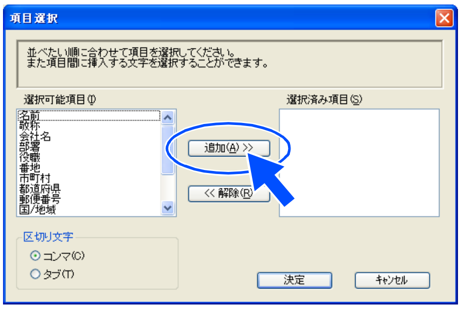
PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 ［ファイル］メニューから、［エクスポート］-［テキストファイル］を選ぶ

項目を選択する画面が表示されます。

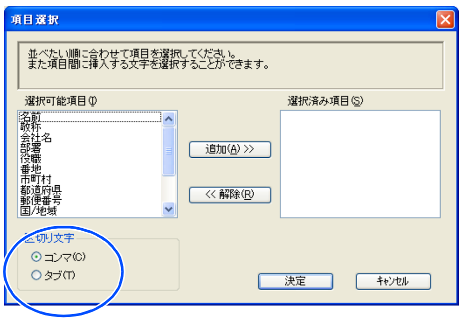
3 エクスポートしたい項目を選び、［追加］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。



4 「区切り文字」を選ぶ

エクスポートされた項目の間が、「タブ」または「コンマ」のどちらで区切られるかを選びます。



5 ［決定］をクリックする

6 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする

PC-FAX アドレス帳のデータが CSV 形式で保存されます。

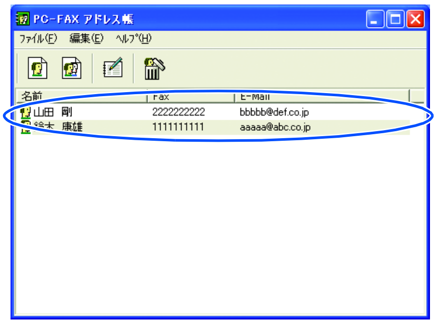
vCard（vcf 形式）またはリモートセットアップのファイルとしてエクスポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 エクスポートしたい相手先をクリックする

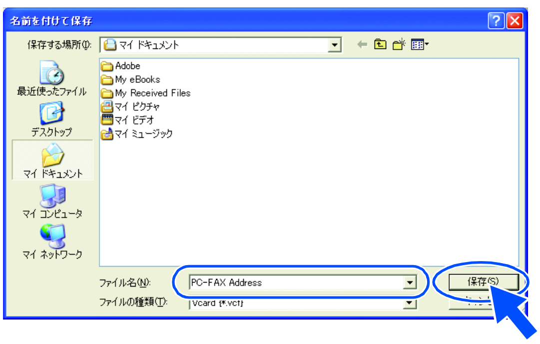
リモートセットアップファイルとしてエクスポートする場合は、すべての相手先がエクスポートされるので、この操作は不要です。



3 メニューを選ぶ

- vCard 形式でエクスポートする場合
［ファイル］－［エクスポート］－［Vcard］を選びます。
- リモートセットアップファイルとしてエクスポートする場合
［ファイル］－［エクスポート］－［リモートセットアップダイアルデータ］を選びます。

4 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする



- vCard 形式でエクスポートする場合
エクスポートしたい相手先について、手順 2 から 4 を繰り返します。

PC-FAX アドレス帳のデータが vcf 形式またはリモートセットアップファイルとして保存されます。

アドレス帳をインポートする

PC-FAX で設定するアドレス帳は、CSV 形式のファイル、vCard 形式のファイル、またはリモートセットアップのデータをインポートすることができます。

CSV 形式のファイルをインポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

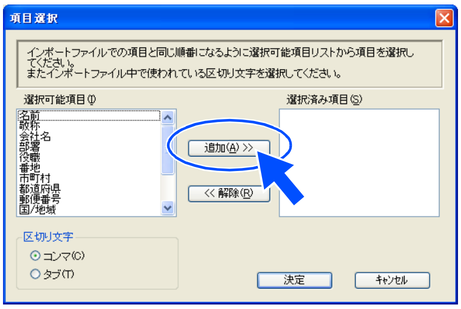
PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 ［ファイル］メニューから、［インポート］-［テキストファイル］を選ぶ

項目を選択する画面が表示されます。

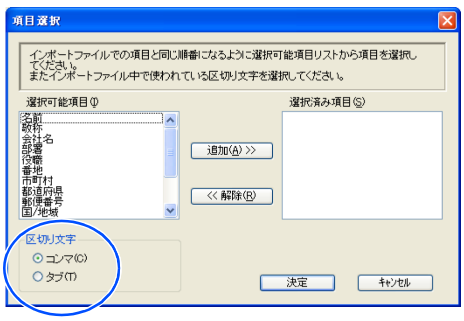
3 インポートしたい項目を選び、［追加］をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。



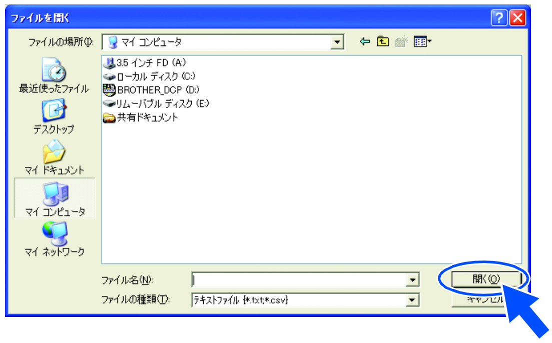
4 「区切り文字」を選ぶ

インポートしたいファイルで使用されている区切り文字を、「タブ」または「コンマ」から選びます。



5 ［決定］をクリックする

6 ファイルを選び、［開く］をクリックする



選んだ CSV 形式のデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

vCard（vcf 形式）またはリモートセットアップ形式のファイルをインポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 ［ファイル］メニューから、［インポート］-［Vcard］または［リモートセットアップダイアルデータ］を選ぶ

3 ファイルを選び、［開く］をクリックする

選んだデータがPC-FAXアドレス帳に追加されます。

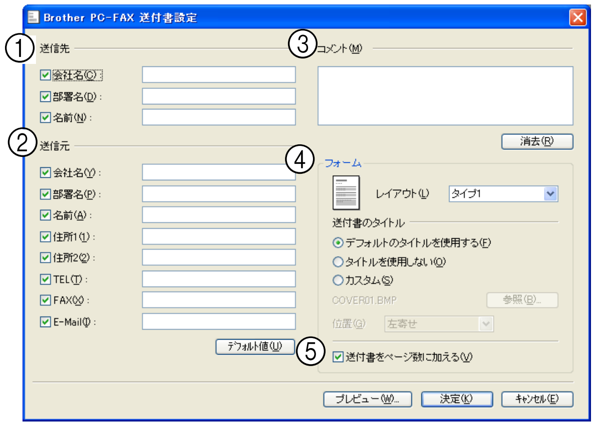
送付書を作成する

PC-FAX では、ファクスを送信するときに「送付書」を添付できます。

1 ファクス送信画面で、［送付書マーク］をクリックする

送付書を設定する画面が表示されます。

2 送付書の情報を入力する



① **送信先**

送信先の情報を入力します。相手先がグループのときは、送付書には印刷されません。アドレス帳から送信先を選んだ場合は、自動的に引用されます。

② **送信元**

送信元の情報を入力します。「個人情報」（54 ページ）が設定されているときは自動的に引用されます。

③ **コメント**

送付書に追加するコメントを入力します。

④ **フォーム**

送付書のスタイルを選びます。

⑤ **送付書をページ数に加える**

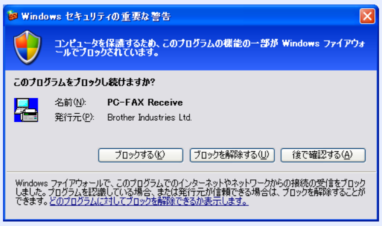
チェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

パソコンでファクスを受信する

受信したファクスメッセージを画像データとしてパソコンに保存します。

注意

- ファクスを受信したとき、パソコンの電源が入っていなかったり、パソコンとつながっていなかったときは、本製品に受信データを記憶させておくことができます。
- PC-FAX 受信は、モノクロのみ対応しています。
（カラーファクスを受信すると、データはパソコンに転送されず本製品で印刷されます。ただし、1 色以上のカラーインクの残りが少なくなっていたり、なくなっている場合、または【モノクロ / カラー選択】で【モノクロ】を選択している場合（MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ）は、モノクロでパソコンに転送されます。）
- （MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ）A4、A3 など、原稿サイズが混在する原稿を受信すると、本製品は別々のファイルとして認識します。A3、B4 など、A4 より大きいサイズの原稿を受信すると、データは A4 サイズに縮小されてパソコンに転送されます。
- ネットワーク環境で Windows® XP Service Pack 2 または Windows Vista® をお使いの場合、PC-FAX 受信を起動すると Windows® セキュリティの警告が表示されることがあります。その場合は「ブロックを解除する」を選んでください。



- PC-FAX 受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

本製品を PC-FAX 受信モードにする

液晶ディスプレイモデルの場合

1 本製品のメニューから、【メモリー受信】を選ぶ

(1) メニュー を押し、▲/▼で【ファクス】を選び、OK を押す

(2) ▲/▼で【受信設定】を選び、OK を押す

(3) ▲/▼で【メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ▲/▼で【PC ファクス受信】を選び、OK を押す

3 ▲/▼で受信するパソコンまたは【< USB >】を選び、OK を押す

ネットワーク上のパソコンで受信する場合は、表示されている中から希望のパソコンを選びます。
USB 接続しているパソコンで受信する場合は、【< USB >】を選びます。

注意

- このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。受信するパソコンの名前が表示されない場合は、パソコン上で PC-FAX 受信を起動してください。

本製品が USB で接続している場合、この操作は必要ありません。

4 ▲/▼で本製品で印刷するかしないかを選び、OK を押す

5 停止/終了 を押す

PC-FAX 受信をするパソコンを変更する場合は、手順 3 で【変更する】を選び、OK を押した後、受信先のパソコンを選んでください。

タッチパネルモデルの場合

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】（MFC-930CDN/930CDWN/670CD/670CDW）または【ファクス】（MFC-6890CN）を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 受信するパソコンまたは【< USB >】を選ぶ

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

ネットワーク上のパソコンで受信する場合は、表示されている中から希望のパソコンを選びます。

USB 接続しているパソコンで受信する場合は、【< USB >】を選びます。

注意

■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。受信するパソコンの名前が表示されない場合は、パソコン上で PC-FAX 受信を起動してください。

> 本製品が USB で接続している場合、この操作は必要ありません。

7 本製品で印刷するかしないかを選ぶ

【本体でも印刷する／本体では印刷しない】のいずれかを選びます。

> 「みるだけ受信」を【する】に設定している場合は、本体では印刷できません。「みるだけ受信」については、ユーザーズガイドを参照してください。
> ⇒ユーザーズガイド「ファックスを自動的にプリントする」

8 停止/終了 を押す

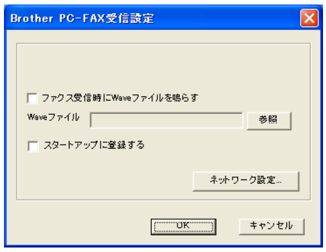
> PC-FAX 受信をするパソコンを変更する場合は、手順 6 で【変更する】を選んだ後、受信先のパソコンを選んでください。

PC-FAX 受信を起動する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 受信］-［PC-FAX 受信を起動］を選ぶ

タスクトレイに PC-FAX のアイコンが表示されます。

> 受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC-FAX アイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。



設定できる内容は以下のとおりです。

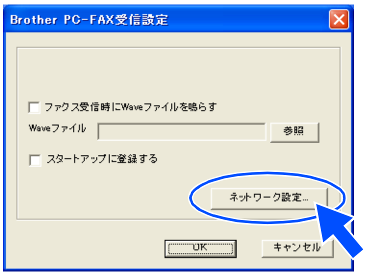
- ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす
  着信音を鳴らすときはチェックボックスを ON にします。着信音にする Wave ファイルも指定します。
- スタートアップに登録する
  パソコンを起動したときに自動的に PC-FAX 受信も起動するときはチェックボックスを ON にします。
- ネットワーク設定（USB 接続の場合は表示されません）
  ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IP アドレスやノード名などの設定が行えます。
  ⇒ 67 ページ「PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する」

PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する

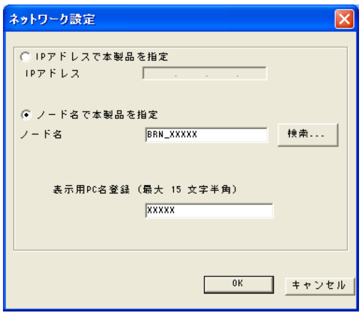
インストール時に設定された本製品を変更するときは、以下の手順に従ってください。

1 タスクトレイの PC-FAX アイコン を右クリックし、「受信設定」を選ぶ

2 ［ネットワーク設定］をクリックする

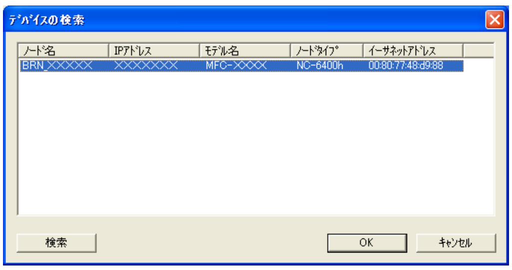


3 本製品の IP アドレスまたはノード名を指定する



IP アドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で指定してください。

- IP アドレスで本製品を指定
  「IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力してください。
- ノード名で本製品を指定
  「IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力するか、［検索］をクリックして、一覧から本製品を選択してください。



- 表示用 PC 名登録
  本製品の画面に表示されるパソコンの名前を設定できます。「表示用 PC 名登録」に入力してください。

受信したときは

ファクスの受信を開始すると、タスクトレイの PC-FAX アイコンが と に点滅します。ファクス受信が終了すると、アイコンが に変わります。

1 をダブルクリックする

「Presto! PageManager」が起動します。
受信したデータが保存されている「Faxes」フォルダが自動的に表示されます。

2 ファイル名をダブルクリックして内容を確認する

> 受信したファクスを一度確認すると、アイコンが に戻ります。
>
> 未読のファクスには、受信した日時のファイル名が付けられています。
> 例）Fax 5-20-2008 16:40:21.tif

Windows®

第 4 章インターネットファクス（MFC-6490CN/6890CN）

インターネットファクスを使う前に

インターネットファクス（I-FAX）は、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。
PC-FAX とは次のような違いがあります。

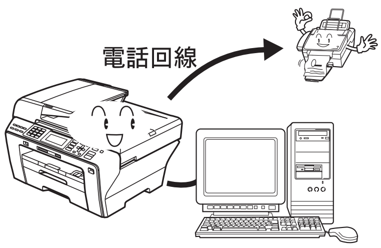
注意

■ インターネットファクス機能は、MFC-6490CN/6890CN のみ対応しています。

PC-FAX とインターネットファクスの違い

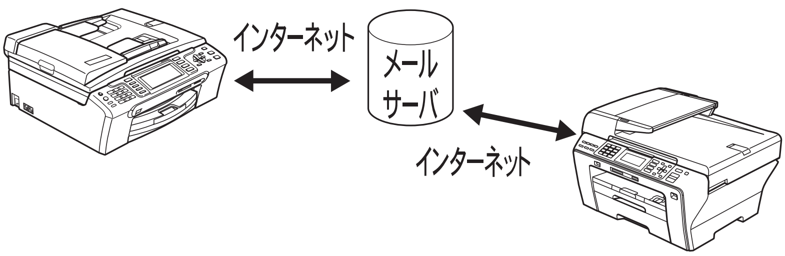
PC-FAX とは

通常のファクスは、2 台のファクス機が紙の原稿を送ったり受けたりします。原稿データのやり取りには、電話回線を使用するので、通信料金が発生します。
PC-FAX は、本製品のような複合機にパソコンを接続し、パソコンの画面からファクスをやり取りできるようにしたものです。送信時・受信時とも原稿を印刷する必要がないため、用紙やインクが節約できます。データのやり取りには、通常のファクス同様、電話回線を使用するので、通信料金が発生します。



インターネットファクスとは

インターネットファクスは、データのやり取りを、電話回線ではなくインターネットを利用して行います。電話回線が不要になり、通信費がゼロになります（インターネット利用料金は別途必要です）。送受信の操作は本製品の操作パネルで行えるため、パソコンは必要ではありませんが、接続したパソコンでも可能です。
本製品のインターネットファクスでは、ファクスメッセージは E メール（MIME 形式）の添付ファイルとして送信されます。添付ファイルの形式は TIFF-F 形式です。受信にパソコンを利用する場合は、TIFF-F を閲覧できるビューワーをご用意ください。Windows® に標準で搭載されている Microsoft® Imaging などが利用できます。



注意

■ **インターネットファクス送受信は、一般的な電話を使用したファクス通信とは下記の点で異なります。**

- 受信者の場所や LAN の構造、ネットワークの混み具合により、エラーメールが返される時に通常より時間がかかる事があります（通常は 20 ～ 30 秒）。
- 重要機密などのやり取りには、インターネットファクスではなく一般電話回線を使用したファクス通信をお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME 形式に対応していない場合、インターネットファクス文書が送られてきても受信できません。その場合、メールサーバーからのメッセージ（不達など）の返信がないことがあります。
- 送信原稿のサイズが大きすぎる場合、通信が正常に終了しないことがあります。
- 受信したメールのフォントやフォントサイズを変更することはできません。

Windows® XP/Winodws Vista® で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、インターネットファクスが使用できないときは、ポート 52926 と 137 を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは「画面で見るマニュアル」を参照してください。

TIFF-F 形式について

ファクス間でやり取りされる標準的な画像形式（TIFF）です。画像処理ソフトなどで使用されている TIFF ファイルとは、圧縮形式、ページ情報を持っている（複数の画像が 1 つのファイルになっている）などの点が異なります。したがって、複数枚のファクスを受信しても、1 つのファイルに変換できます。

インターネットファクス（I-FAX）機能で送受信できるのは、A4 サイズ、モノクロ TIFF-F 形式のファイルのみです。

インターネットファクスを送る

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルボタンにインターネットファクス送付先のアドレスが登録されている場合は、通常のファクス送信の手順で送信できます。送信方法は、本製品の操作パネルで行う方法と、接続したパソコンの画面で行う方法があります。ここでは、接続したパソコンの画面で行う方法を説明します。本製品の操作パネルを使う方法は、ユーザーズガイドを参照してください。
あらかじめ送信の設定で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

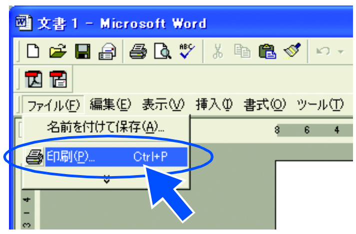
注意

- ■ インターネットファクス（I-FAX）を利用するには、あらかじめ本製品のネットワークおよびメールサーバーの設定が必要です。詳しくは、「画面で見るマニュアル」を参照してください。
- ■ 送信できる原稿のサイズは、A4 です。A3 や B4 の場合は、自動的に A4 に縮小されて送信されます。

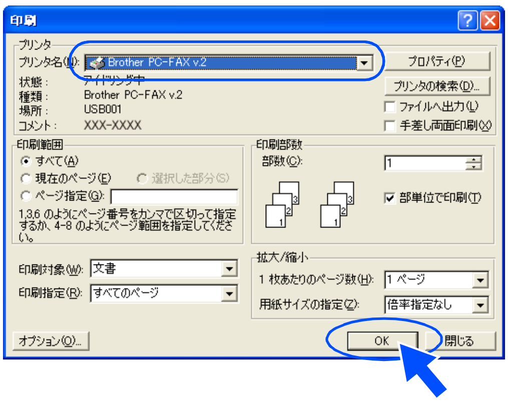
ファクススタイルでインターネットファクスを送る

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX v.2」を選び、［OK］をクリックする



ファクス送信画面が表示されます。

4 以下のいずれかの方法で相手先の E メールアドレスを入力する

- ワンタッチダイヤルボタンをクリックする
- ［アドレス帳］をクリックし、アドレス帳から選ぶ
- Windows® メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。
⇒ 55 ページ「アドレス帳を設定する」

5 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

- ファクススタイル画面を使用してインターネットファクスを送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで、「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。
- 「ワンタッチダイヤルボタン」や「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳で E メールアドレスを登録しておく必要があります。
⇒ 58 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- ［再ダイヤル］をクリックすると、最近送った相手先が、新しい順に 5 件表示されます。
- 送付書を付ける場合は、送付書使用ボタンをクリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。
送付書を編集・作成する手順について
⇒ 64 ページ「送付書を作成する」

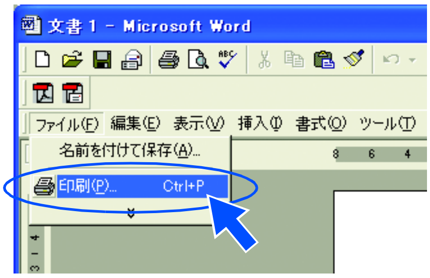
シンプルスタイルでインターネットファクスを送る

注意

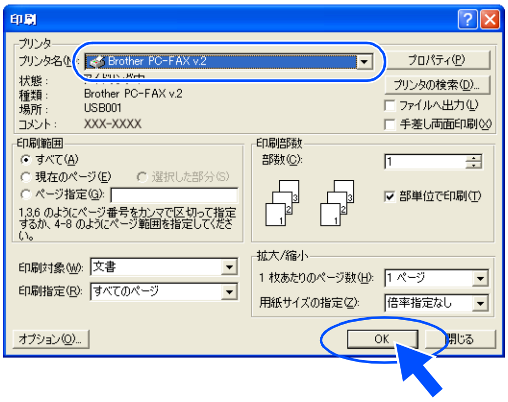
■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

1 **パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する**

2 **アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ**



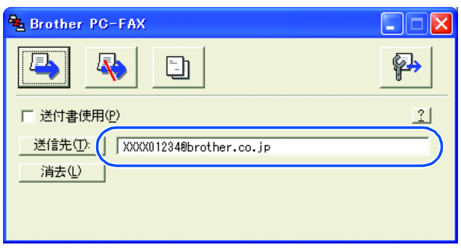
3 **「プリンタ名」で「Brother PC-FAX v.2」を選び、［OK］をクリックする**



ファクス送信画面が表示されます。

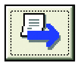
4 **以下のいずれかの方法で、［送信先］に相手先の E メールアドレスを入力する**

- ［送信先］をクリックし、アドレス帳から選ぶ
- Windows® メールや Outlook、Outlook Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。
⇒ 55 ページ「アドレス帳を設定する」



5 **送付書とコメントを付けて送信する場合は、［送付書使用］をチェックする**

⇒ 64 ページ「送付書を作成する」

6  **をクリックする**

ファクスが送信されます。

- シンプルスタイル画面を使用してインターネットファクスを送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで、「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- 「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳で E メールアドレスを登録しておく必要があります。
⇒ 58 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- E メールアドレスを間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。

受信確認について

本製品からインターネットファクスを送信する場合

送信時に受信確認要求（MDN：Mail Disposition Notification）の情報をあわせて送信すると、受信側のインターネットファクスやメールソフトが受信確認機能に対応している、またはその機能が有効になっている場合、所定の受信確認レポートを自動的に返信します。
これにより正しくインターネットファクスが届けられたかを知ることができます。

この機能を使用するには

● **受信確認を要求する**

本製品のインターネットファクス設定で、【メール送信設定】の【受信確認要求】を【オン】に設定してください。
受信側がMDNに対応している場合に確認レポートが送付されてきます。【オフ】の場合は受信確認要求を行いません。

● **受信確認要求に応じる**

本製品のインターネットファクス設定で、【メール受信設定】の【受信確認】を【オン】（要求が無くてもレポートを送信）または MDN（受信確認要求が受信メールに含まれていた場合のみレポートを返信）に設定してください。
【オフ】の場合は確認要求に応じません。

詳しい設定方法については「画面で見るマニュアル」を参照してください。

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを受信するには 2 つの方法があります。

- 自動で定期的に確認する
- 手動で確認する

自動で定期的に確認する

本製品を定期的に POP3 サーバーへアクセスさせます。操作パネルの LAN メニューを使用してポーリング設定を行った場合、その間隔でメールの確認を行います。設定については「画面で見るマニュアル」を参照してください。

手動で確認する

手動で本製品を POP3 サーバーにアクセスさせ、メールを確認します。

1 本製品の シフト を押しながら、スタート（モノクロ）または スタート（カラー） を押す

メールの受信が開始されます。

本製品の画面に受信中のメッセージが表示され、受信が完了すると受信したメールの数が表示されます。

- メール確認の結果、POP3 サーバーにメールが存在しない場合は【メールはありませんでした】と表示されます。
- データを受信し、印刷開始の時点で記録紙トレイに紙が無い場合、受信されたデータは本製品内のメモリに保存されます。このデータは記録紙を補充することで自動的に印刷されます。

注意

- ■ 受信するメールの本文が半角英数の場合のみ、正しく印刷することができます。(日本語には対応していません。)
- ■ 受信されたメールがテキスト形式でない場合や、添付ファイルが TIFF-F 形式でない場合、受信されたメールのファイルサイズが大きすぎる場合は、エラーメッセージが印刷されます。

  ネットワークメニューで【エラーメール削除】を【オン】に設定している場合は、これらのメールはサーバーより削除されます。

パソコンでインターネットファクスを受信する

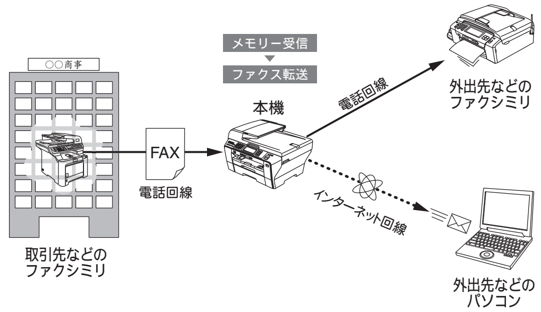
インターネットファクスで送られてきた原稿をパソコンで受信した場合も、メールの本文に、その文書がインターネットファクス文書であることが記載されています。

インターネットファクス文書（添付ファイル）を読むには、パソコンに TIFF-F ビューワーがインストールされている必要があります。Windows® に標準で搭載されている Microsoft® Imaging などをお使いください。

ファクスを自動転送する

下記の 2 種類の方法で、本製品で受信したファクス文書を自動で転送することができます。（どちらの場合もモノクロで受信した場合に、モノクロで転送されます。カラーで受信した場合は、転送されず、本製品で印刷されます。）

- 他のファクシミリへ転送（ファクス転送）（電話回線）
- 他の E メールアドレスへ転送（ファクス to E メール送信）（インターネット回線）



他の E メールアドレスへ転送する場合は、受信したファクス文書を画像データ（TIFF-F 形式）にして、添付ファイルとして転送します。転送には、メールサーバーへの接続設定、ネットワーク設定やメールアカウントの付与がされていることなどが必要です。「画面で見るマニュアル」-「ネットワーク設定ガイド」-「ネットワークの設定」を参照してください。

転送の設定方法について詳しくは、「ユーザーズガイド」-「第 2 章　ファクス」-「ファクスを別のファクシミリに自動転送する」または「ファクスを E メールアドレスに自動転送する」を参照してください。

リレー配信機能（中継）を使うときは

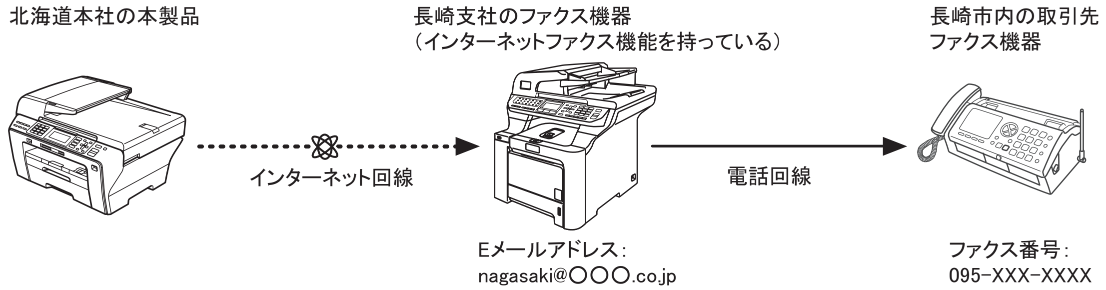
インターネットファクス（インターネット回線）で受信した文書を、通常の電話回線を使用して他のファクス機器に再送信することをリレー配信機能と呼びます。最終送信先がファクス機器の場合、長距離間の通信をインターネット回線で行い、近距離を電話回線で行うことにより、通信費を節約することができます。
本製品のリレー配信には下記の 2 種類があります。

- 本製品から文書をインターネットファクス（インターネット回線）で他の機器に送り、そこから電話回線で他のファクス機器に送信させる場合
⇒ 74 ページ「本製品から送り、他の機器に中継させる」
- 本製品がインターネットファクス（インターネット回線）で受信した文書を他のファクス機器に電話回線で送信する場合
⇒ 77 ページ「インターネットファクスで受信した文書を本製品から他のファクス機器に送信する」

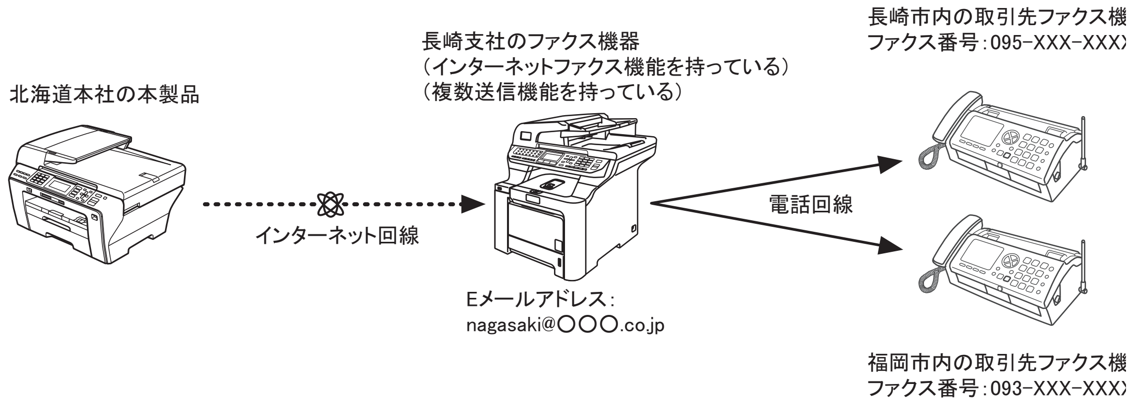
最終送信先は最大 48 台まで複数設定することができます。

本製品から送り、他の機器に中継させる

例えば、北海道本社の本製品から、長崎支社にあるインターネットファクス機能を持つファクス機器を経由し、長崎市内にある取引先のファクス機器にファクス送信する場合のリレー配信方法を説明します。



複数の送信先にファクス送信させることができます。その場合は、長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が、本製品から発信した指示に従い、複数の宛先に送信できる機能を持っていることが必要です。最大複数送信数は、ファクス機器の取扱説明書でご確認ください。



注意

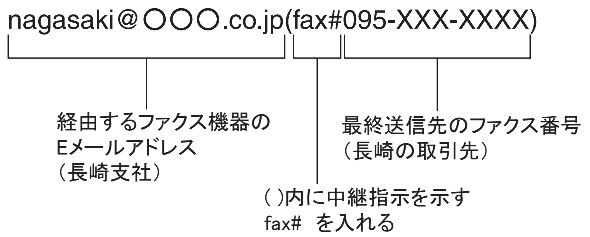
■ 経由する長崎支社のファクス機器がインターネットファクス機能を持っている必要があります。複数個所に送信させる場合は、さらに複数同時送信機能を持っている必要があります。

宛先入力の形式を確認する

あらかじめ、経由する長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が、どのような使用環境にあるのかを確認してください。POP 受信サーバが構築されている場合と構築されていない場合で、本製品の送信宛先入力の形式が異なります。

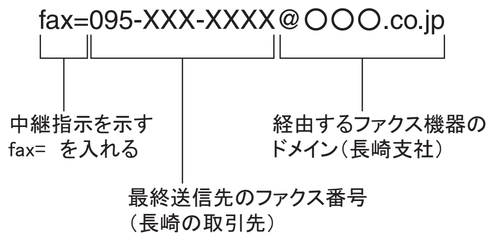
● POP 受信サーバーが構築されているとき

比較的、大規模なオフィスなどで、POP 受信サーバーが構築されている環境の機器に中継させる場合は、本製品の E メールアドレス入力画面で下記のように入力し、送信します。



● POP 受信サーバーが構築されていないとき

比較的、小規模なオフィスなどで、POP 受信サーバーが構築されていない環境の機器に中継させる場合は、本製品の E メールアドレス入力画面で下記のように入力し、送信します。



本製品から送信する（MFC-6490CN の場合）

1 原稿をセットする

2 ファクス を押し、▲/▼ で【同報送信】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【番号追加】を選び OK を押す

4 シフト を押しながら 1 を押して、E メールアドレス入力画面に切り替える

5 シフト を押しながら 3 を押して、小文字入力に切り替える

6 ダイヤルボタンで E メールアドレスを入力し、OK を押す

例）POP 受信サーバーが構築されているとき

nagasaki@ ○○○ .co.jp（fax#095-XXX-XXXX）

1 台のみに送信する場合は、手順 8 へ進みます。

7 複数のリレー配信先を入力するには、手順 6 を繰り返す

例）POP 受信サーバーが構築されているとき

nagasaki@ ○○○ .co.jp（fax#093-XXX-XXXX）

8 すべての配信先を入力したら ▲/▼ で【確定】を選び、OK を押す

9 スタート モノクロ を押す

送信が開始されます。

入力する E メールアドレスの形式は、長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が使用されている環境により異なります。
⇒ 75 ページ「宛先入力の形式を確認する」

頻繁にリレー配信機能を使用する場合には、決まった E メールアドレスの形式で電話帳に登録しておくこともできます。
登録してある場合は、手順 3 で【電話帳】を選び、電話帳から送信先を選んで OK を押します。

本製品から送信する（MFC-6890CN の場合）

1 原稿をセットする

2 ファクス を押す

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【同報送信】を押す

4 【番号追加】を押す

5 を押して、E メールアドレス入力画面に切り替える

6 画面に表示されているテンキーでEメールアドレスを入力し、OK を押す

例）POP 受信サーバーが構築されているとき
nagasaki@ ○○○ .co.jp（fax#095-XXX-XXXX)
1 台のみに送信する場合は、手順 8 へ進みます。

7 複数のリレー配信先を入力するには、手順 4 ～ 6 を繰り返して、E メールアドレスを入力する

例）POP 受信サーバーが構築されているとき
nagasaki@ ○○○ .co.jp（fax#093-XXX-XXXX)

8 すべての送信先を入力したら OK を押す

9 スタート モノクロ を押す

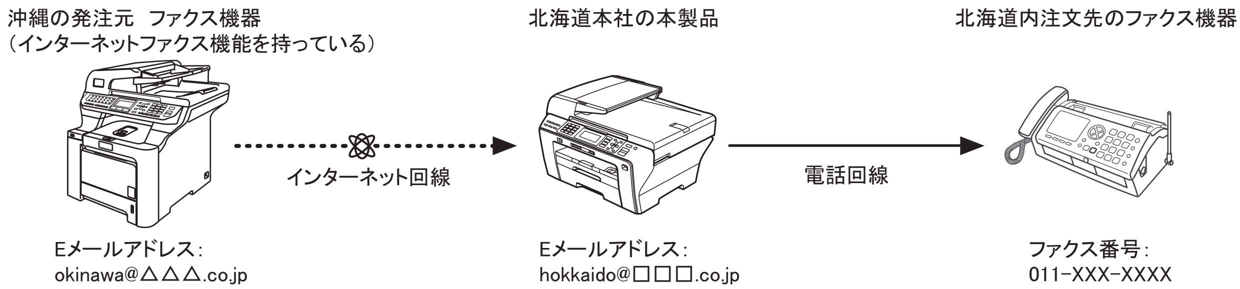
送信が開始されます。

入力する E メールアドレスの形式は、長崎支社のインターネットファクス機能を持つファクス機器が使用されている環境により異なります。
⇒ 75 ページ「宛先入力の形式を確認する」

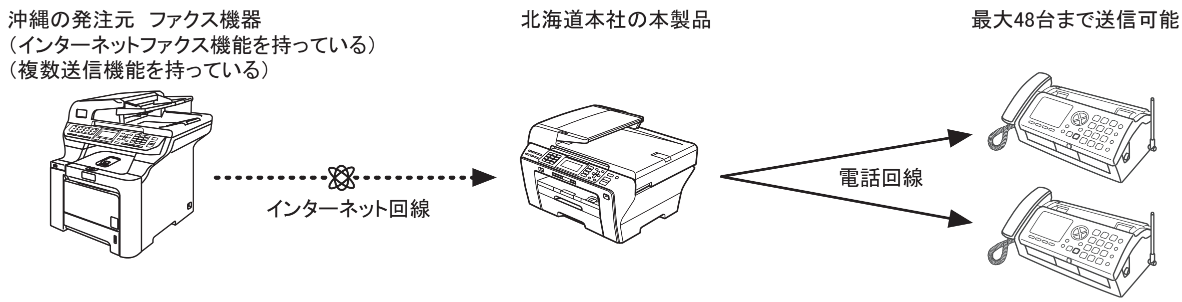
頻繁にリレー配信機能を使用する場合には、決まった E メールアドレスの形式で電話帳に登録しておくこともできます。
登録してある場合は、手順 4 で【電話帳】を押し、電話帳から送信先を選んで OK を押します。

インターネットファクスで受信した文書を本製品から他のファクス機器に送信する

例えば、沖縄の発注元から送信されたインターネットファクス文書を北海道本社の本製品で受信し、北海道内にある注文先のファクス機器にファクス送信する場合のリレー配信方法を説明します。



本製品から最大 48 台の送信先にファクス送信することができます。その場合は、発信元のファクス機器に複数の宛先を指定して送信できる機能（同報送信機能）がある必要があります。
複数宛先入力の方法について詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。



パソコンから送信する場合については、「パソコンからリレー配信を行う」（78 ページ）をご覧ください。

注意

■ 本製品を中継点としてリレー配信を行う場合には、あらかじめ、下記の設定を行ってください。

・リレー配信を行う発信元として、沖縄の発注元製品のドメイン名を本製品に登録してください。この場合のドメイン名とは「△△△ .co.jp」です。ドメイン名が登録されていないメールを受信しても本製品はリレー配信を行いません。（ドメイン名は 5 つまで登録できます。）

・ネットワークメニューで【リレー許可】を【オン】にしてください。【オフ】になっていると本製品はリレー配信を行いません。
許可ドメイン、リレー許可の設定方法について詳しくは、「ネットワークガイド」－「ネットワークの設定」－「リレー設定」をご覧ください。

宛先入力の形式を確認する

本製品を中継点としてリレー配信を行う場合には、あらかじめ、本製品の使用環境を沖縄の発注元に知らせておく必要があります。本製品の使用環境が POP 受信サーバが構築されている場合と構築されていない場合で、宛先入力の形式が異なります。

● POP 受信サーバーが構築されているとき

沖縄の発注元は、本製品に対して下記のような E メールアドレス形式で送信します。

hokkaido@□□□.co.jp(fax#011-XXX-XXXX)

- hokkaido@□□□.co.jp：経由するファクス機器の Eメールアドレス（北海道本社の本製品）
- fax#：( )内に中継指示を示す fax# を入れる
- 011-XXX-XXXX：最終送信先のファクス番号（北海道市内の注文先）

● POP 受信サーバーが構築されていないとき

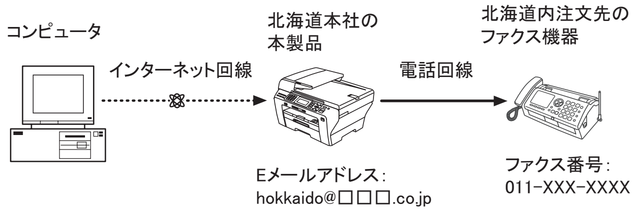
沖縄の発注元は、本製品に対して下記のような E メールアドレス形式で送信します。

fax=011-XXX-XXXX@□□□.co.jp

- fax=：中継指示を示す fax= を入れる
- 011-XXX-XXXX：最終送信先のファクス番号（北海道市内の注文先）
- □□□.co.jp：経由するファクス機器のドメイン（北海道本社の本製品）

パソコンからリレー配信を行う

パソコンから北海道本社にある本製品に E メールを送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより異なります。



また、ソフトウエアやそのバージョンによっては、配信先のファクス番号を含んだ E メールアドレスの送信 / 同報に対応していない場合があります。

- Outlook Express
- Netscape Communicator 4.5
- Eudora Ver 4.x
- Outlook 97/98/2000/2002/2003

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバー作成時のアドレス欄に下記のように入力してください。

例）POP 受信サーバーが構築されているとき

hokkaido@ □□□ .co.jp(fax#011-XXX-XXXX)

メールソフトによっては上記のとおり入力して［ENTER］キーを押すと「fax#011-XXX-XXXX」と表示されることがありますが、正しく送信できます。

リレー配信機能はネットワーク PC-FAX からも使用できます。（Windows® のみ）

> メールソフトに入力する E メールアドレスの形式は、北海道本社の本製品の使用環境により異なります。
> ⇒ 78 ページ「宛先入力の形式を確認する」
>
> 添付文書をリレー配信する場合、ITU-T 勧告による I-FAX フォーマット「T.37」規格に準拠したファイルを添付してください。

Windows®

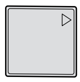
第 5 章 フォトメディアキャプチャ

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

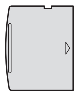
使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー

本製品では、下記のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用できます。

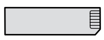
コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 8GB）
（DCP-165C は対応していません）



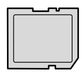
xD-Picture CardTM
（最大 512MB）
xD-Picture CardTM TypeM ／ TypeM+ ／ TypeH
（最大 2GB）



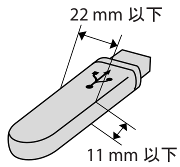
メモリースティック TM （最大 128MB）
メモリースティック PROTM （最大 8GB）



SD メモリーカード
（最大 2GB）
SDHC メモリーカード
（最大 8GB）



USB フラッシュメモリー
（最大 8GB）



※ メモリースティック デュオ TM、メモリースティック PRO デュオ TM、メモリースティック マイクロ TM(M2TM) も使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ miniSD カード /microSD カードも使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ 著作権保護機能には対応していません。

注意

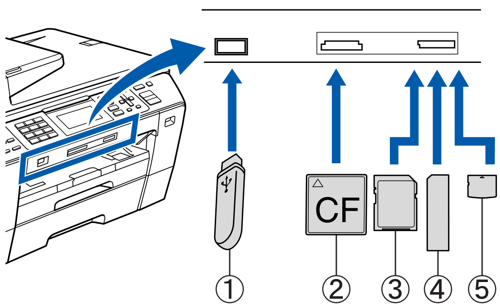
■ スマートメディア、マイクロドライブ、マルチメディアカード TM には対応していません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスする（USB接続のみ）

USB フラッシュメモリー差し込み口にセットした USB フラッシュメモリーや、カードスロットにセットしたメモリーカードなどのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

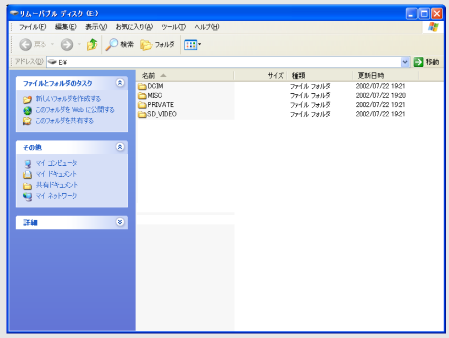


①USB フラッシュメモリー
②コンパクトフラッシュ®
③SD メモリーカード、SDHC メモリーカード
④メモリースティック TM、メモリースティック PRO TM
⑤xD-Picture Card TM、xD-Picture Card TM TypeM ／ TypeM+ ／ TypeH

が点灯します。

2 ［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダが表示されます。



3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

また、パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへの書き込みも行えます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、ネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- ■ この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ■ ネットワーク経由で他のパソコンがメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- ■ メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存された写真を画面に表示しているとき、および保存されたデータを印刷しているときは、アクセスできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

> デジカメプリント が点灯します。

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［ControlCenter］を選ぶ

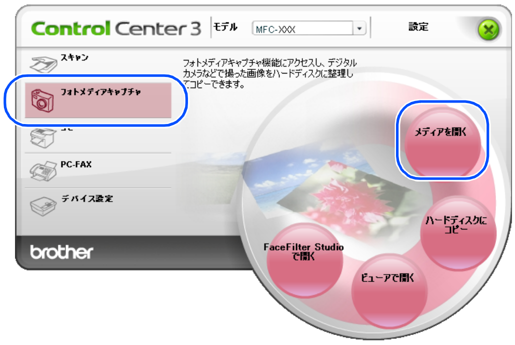
> タスクトレイに が表示されます。

3 タスクトレイの を右クリックして、［開く］を選ぶ

> ControlCenter3 のウィンドウが表示されます。

4 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「メディアを開く」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

> メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容がリスト表示されます。

> Web ブラウザを起動し、アドレス欄に「ftp://(本製品の IP アドレス)」を入力してもアクセスできます。

5 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

また、パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みも行えます。

> ネットワーク経由でメモリーカードや USB フラッシュメモリー内のファイルを扱う場合は、ファイル名を半角英数字にしてください。漢字・ひらがな・カタカナなどのファイル名は文字化けします。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、以下の手順で取り出します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照している Windows® のエクスプローラなどをすべて閉じる

2 ［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックする

3 ［取り出し］を選ぶ

本製品の デジカメプリント が点滅することがあります。（点滅しなくても異常ではありません。）

4 本製品の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く

注意

- ■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるとき（デジカメプリント 点滅中）は、電源コードや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。
- ■ 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、パソコンをすぐに再起動した後、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。パソコンを再起動する前に他のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。

Windows®

第 6 章 リモートセットアップ（MFC モデルのみ）

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、パソコンから簡単に行うことができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX 受信をご利用の間はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX 受信を終了させてから操作してください。

本章では、MFC-6490CN の画面を使用して説明しています。モデルによって表示される画面は異なります。

本製品の設定をパソコンから変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変更するときは、以下の手順で操作します。

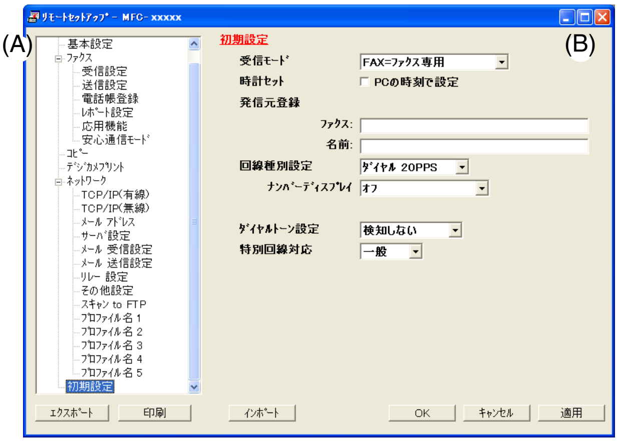
1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［リモートセットアップ］を選ぶ

注意

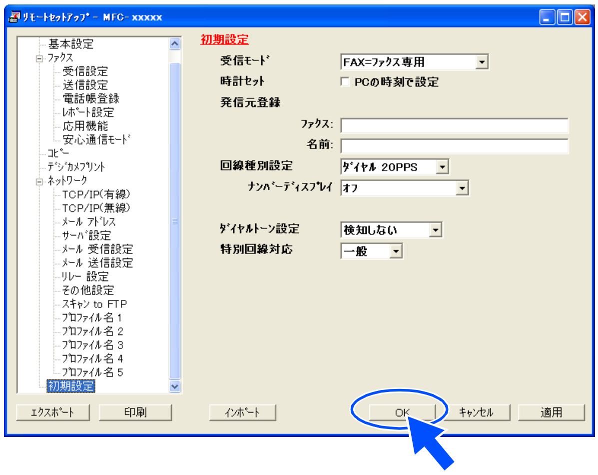
- MFC-5890CN/6490CN/6890CN をお使いの場合は、リモートセットアップを起動するときにパスワードの入力が必要です。お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。



3 設定し終わったら、［OK］をクリックする



設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

リモートセットアップは、ControlCenter3 からも実行できます。

ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ画面の［検索］をクリックして、表示される機器の一覧から使用する機器を選び、再度設定してください。

その他の操作について

リモートセットアップでは、設定内容をファイルとして保存したり、印刷することができます。

① **エクスポート**

現在の設定内容をファイルに保存します。

② **印刷**

「電話帳登録」画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

③ **インポート**

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックしてください。

⑤ **キャンセル**

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

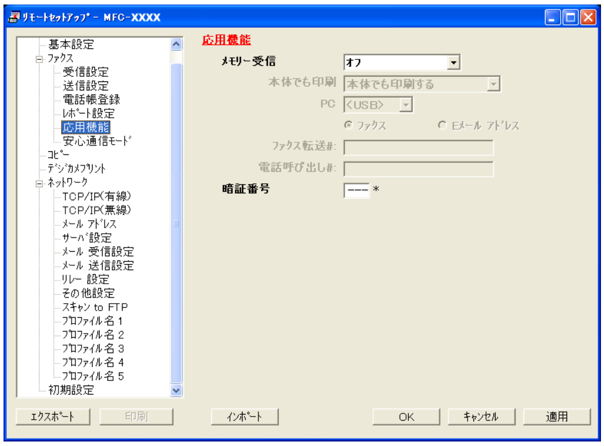
⑥ **適用**

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

ファクスを E メールアドレスに自動転送する（ファクス to E メール送信）（MFC-6490CN/6890CN）

リモートセットアップを使って、ファクスを E メールアドレスに自動転送設定する場合、以下の手順で操作します。

1 左側から「応用機能」を選ぶ



応用機能の設定画面が表示されます。

2 「メモリー受信」を「ファクス転送」に設定する

3 「本体でも印刷」で本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 「本体でも印刷する」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「本体では印刷しない」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

4 「E メールアドレス」を選ぶ

「ファクス転送 #：」に E メールアドレスを入力します。

5 [OK] をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

本製品の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。

> 本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。
>
> 電話帳登録画面の左端の表示は、#01 ～ #06 はワンタッチダイヤル、＊01 ～＊00 は短縮ダイヤルを示しています。

電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号に登録します。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」に相手先の名前を入力する

3 「ヨミガナ」に相手先名称の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

4 「種別」をダブルクリックして表示されたポップアップメニューから［ファクス / 電話］を選ぶ

5 「ファクス / 電話 /MAIL」に電話またはファクス番号を入力する

電話・ファクス番号は、1 つの短縮番号に 2 つまで登録できます。

6 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

7 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 「種別」をダブルクリックして表示されたポップアップメニューからグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。

3 「相手先名称」にグループ名を入力する

4 「ヨミガナ」にグループ名の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

5 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

6 ［適用］をクリックする

グループダイヤルが登録されます。

Windows®

第 7 章 便利な使い方（ControlCenter3）

ControlCenter3 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PC-FAX、フォトメディアキャプチャなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter3 の画面

ControlCenter3 には、「Modern」と「Classic」の 2 種類のスキンが用意されています。どちらも使用できる機能は同じです。

Modern 画面

Classic 画面

(1) スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付することができます。 ⇒ 91 ページ「スキャン」
(2) カスタム	スキャン時によく使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。 ⇒ 93 ページ「カスタム」
(3) フォトメディアキャプチャ	本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをパソコンから確認できます。 ⇒ 95 ページ「フォトメディアキャプチャ」
(4) コピー	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 ⇒ 99 ページ「コピー」
(5) PC-FAX	スキャンしたデータを本製品を使用してファクスとして送信します。受信したファクスを確認することもできます。 ⇒ 101 ページ「PC-FAX」 ※ DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
(6) デバイス設定	本製品のインク残量の確認や、電話帳の登録などが行えます。 ⇒ 103 ページ「デバイス設定」

Modern 画面を使用するには、お使いのパソコンに Adobe® Flash® Player8.0 以上がインストールされている必要があります。

ControlCenter3 を起動する

インストール直後は、パソコンを起動したときに、ControlCenter3 も起動する設定になっています。

（タスクトレイに が表示されています。）

タスクトレイに が表示されていないときは、以下の手順で ControlCenter3 を起動してください。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［ControlCenter3］を選ぶ

タスクトレイに が表示されます。

2 ControlCenter3 の画面を表示させるときは、タスクトレイの を右クリックして、［開く］を選ぶ

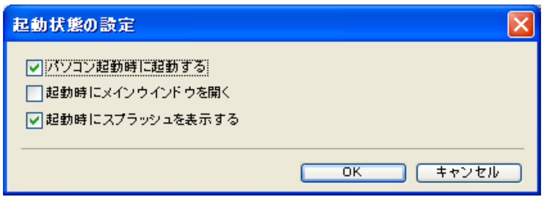
ControlCenter3 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter3 も同時に起動させることができます。

(1) タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選ぶ

◆「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。



(2) 起動時の動作を選ぶ

- パソコン起動時に起動する
  パソコン起動時にControlCenter3が自動的に起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  ControlCenter3起動時にControlCenter3のメインウィンドウが自動的に起動します。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) ［OK］をクリックする

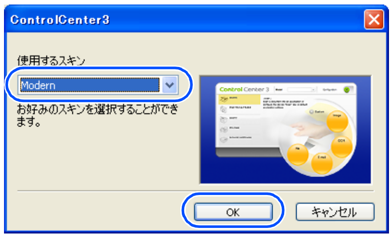
ControlCenter3 のスキンを変更する

「Modern」と「Classic」のどちらかのスキンを選択できます。

1 ［設定］をクリックして、［ControlCenter の設定］-［使用するスキンの選択］を選ぶ

スキンの選択ダイアログボックスが表示されます。

2 「Modern」または「Classic」を選び、［OK］をクリックする



ControlCenter3 のスキンが変更されます。

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

スキャンを実行する

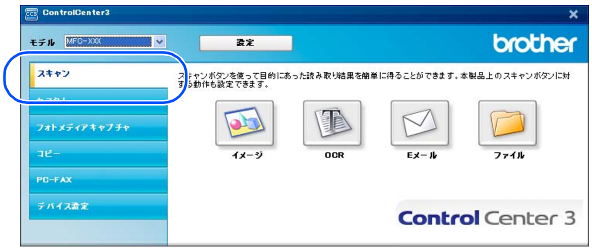
ControlCenter3 からスキャンを実行します。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「スキャン」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合



3 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。

- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「E メール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されています。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

> 「ファイル」を選択した場合、保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
> - 保存先フォルダ
>   マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ Control Center 3 ¥ Scan
> - ファイル形式
>   JPG
> - ファイル名（Windows® 2000/XP の場合）
>   CCFyyyymmdd_xxxxx
>   CCF : 好みの文字列に変更できます。
>   （⇒ 92 ページ「スキャンファイルの設定」）
>   yyyy：西暦
>   mm：月
>   dd：日
>   xxxxx：通し番号

スキャンの設定を変更する

ボタンをクリックしたときに起動するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。
本製品のスキャンボタンからスキャンした場合の設定も、ここで変更できます。

1 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定] を選ぶ

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

2 「ControlCenter の設定」タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

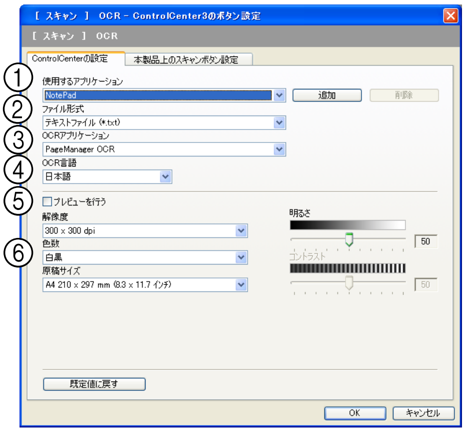
⇒ 92 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 92 ページ「スキャンファイルの設定」

> 本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本製品上のスキャンボタン設定」タブをクリックして、設定を変更します。

3 [OK] をクリックする

設定が変更されます。

スキャンイメージ /OCR/E メールの設定



① **使用するアプリケーション**

スキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

② **ファイル形式**

データのファイル形式を選択します。

PDF、JPEG を選択した場合は、データの圧縮率を 5 段階で設定できます。

TIFF、TIFF マルチページを選択した場合は、圧縮または非圧縮のいずれかを選択できます。

③ **OCR アプリケーション（「OCR」のみ）**

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

④ **OCR 言語（「OCR」のみ）**

変換する言語を選択します。

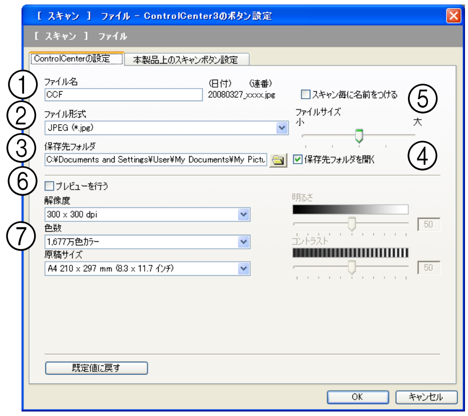
⑤ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3 からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑥ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

スキャンファイルの設定



① **ファイル名**

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② **ファイル形式**

データのファイル形式を選択します。

PDF、JPEG を選択した場合は、データの圧縮率を 5 段階で設定できます。

TIFF を選択した場合は、圧縮または非圧縮のいずれかを選択できます。

③ **保存先フォルダ**

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

④ **保存先フォルダを開く**

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑤ **スキャン毎に名前をつける**

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3 からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑦ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

カスタム

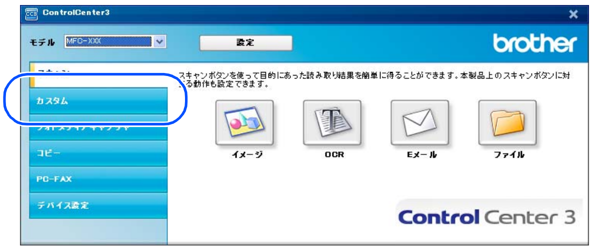
よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

1 ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

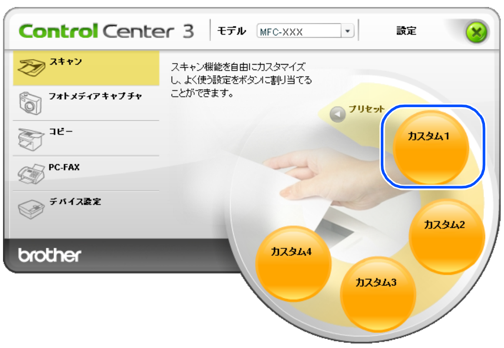
- Modern の場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

- Classic の場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

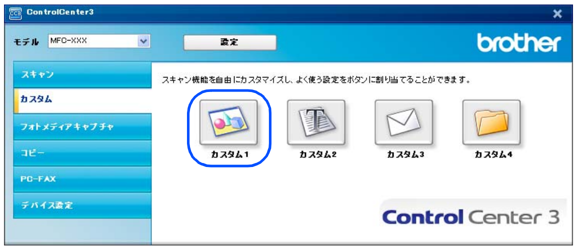


2 「カスタム 1」ボタンを右クリックして［ControlCenter のボタン設定］を選ぶ

- Modern の場合



- Classic の場合

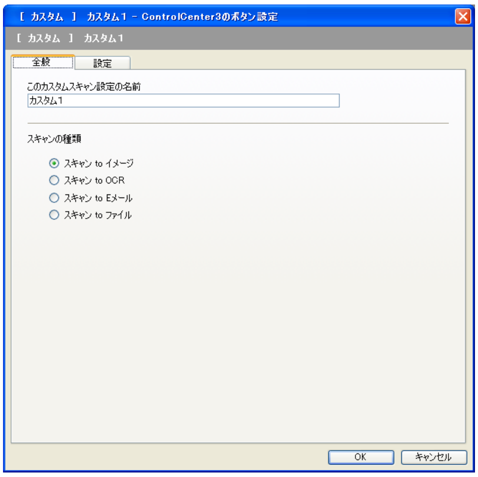


ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

「このカスタムスキャン設定の名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、「スキャン to イメージ」「スキャン to OCR」「スキャン to E メール」「スキャン to ファイル」から選びます。



4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 92 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 92 ページ「スキャンファイルの設定」

5 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

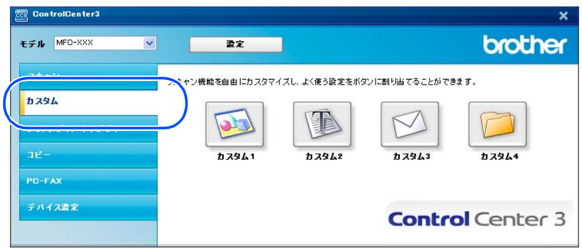
カスタムスキャンを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

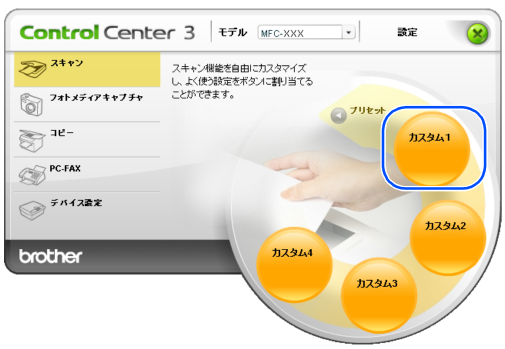
- Modern の場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

- Classic の場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

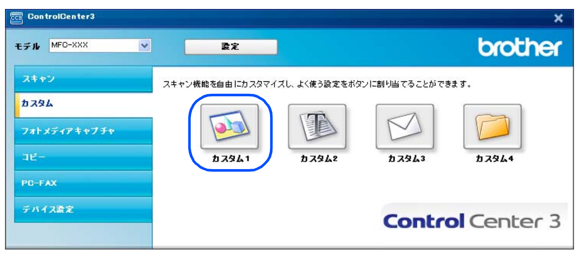


3 実行するスキャンのボタンをクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



設定に従ってスキャンが実行されます。

フォトメディアキャプチャ

本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを確認したり、パソコンへコピーすることができます。

注意

■ ネットワーク接続の場合、フォルダ・ファイル名として使用できるのは、日本語・英数字・記号のみです。これら以外の文字を使用すると、フォルダやファイル名が文字化けしたり、アクセスできないことがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

エクスプローラでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容を表示します。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにどのようなデータが保存されているか確認できます。

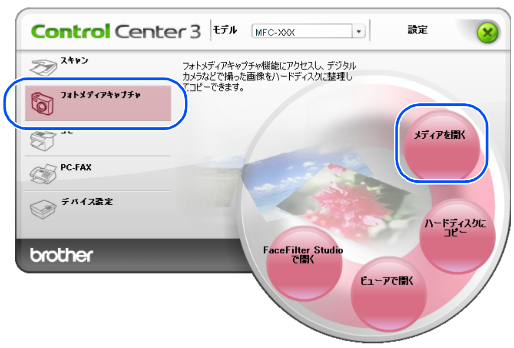
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 81 ページ 1

デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「メディアを開く」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダが表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータをパソコンにコピーする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを、パソコンの指定したフォルダにコピーします。

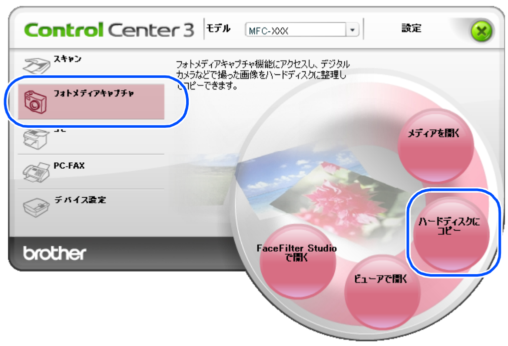
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 81 ページ 1

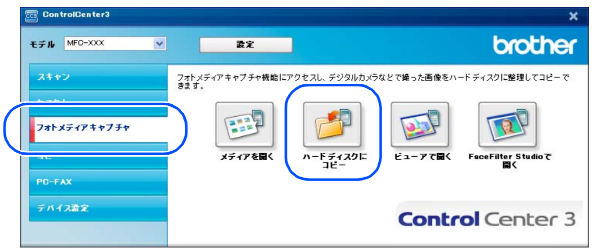
デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「ハードディスクにコピー」をクリックする

- Modern の場合



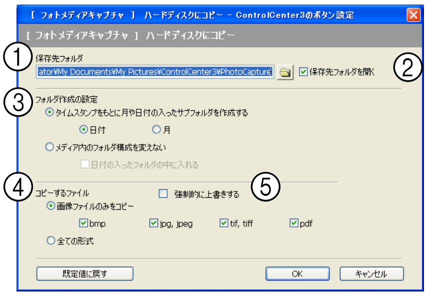
- Classic の場合



メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、設定されたフォルダにコピーされます。

「ハードディスクにコピー」の設定を変更する

「ハードディスクにコピー」ボタンを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① 保存先フォルダ

コピー先のフォルダを指定します。
初期設定では、「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」に設定されています。

② 保存先フォルダを開く

チェックすると、コピーした後に保存先のフォルダを表示します。

③ フォルダ作成の設定

コピーするときにフォルダを作成するかしないかを選択します。

- ファイルのタイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する
  保存先フォルダの中に日付または月のフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。
- メディア内のフォルダ構成を変えない
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダ構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

④ コピーするファイル

コピーするファイルの種類を選択します。

⑤ 強制的に上書きする

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーのデータをビューアで開く

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを指定したフォルダにコピーし、Presto! PageManager で開きます。

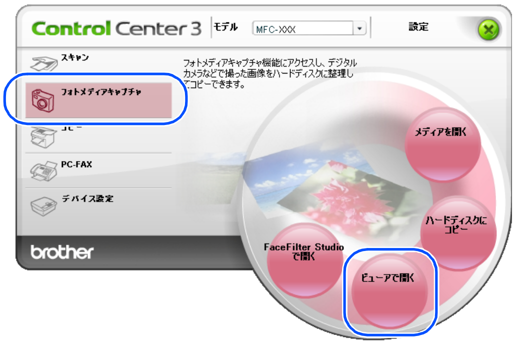
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 81 ページ 1

デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「ビューアで開く」をクリックする

- Modern の場合



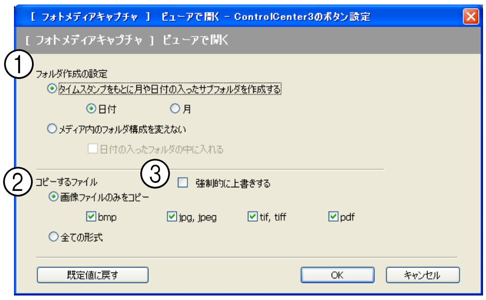
- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」にコピーされます。

コピーが終わると、Presto! PageManager が起動し、データが表示されます。

「ビューアで開く」の設定を変更する

「ビューアで開く」ボタンを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定] を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① フォルダ作成の設定

コピーするときにフォルダを作成するかしないかを選択します。

- ファイルのタイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する
  保存先フォルダの中に日付または月のフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。
- メディア内のフォルダ構成を変えない
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダ構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

② コピーするファイル

コピーするファイルの種類を選択します。

③ 強制的に上書きする

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを FaceFilter Studio で開く

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを指定したフォルダにコピーし、FaceFilter Studio で開きます。

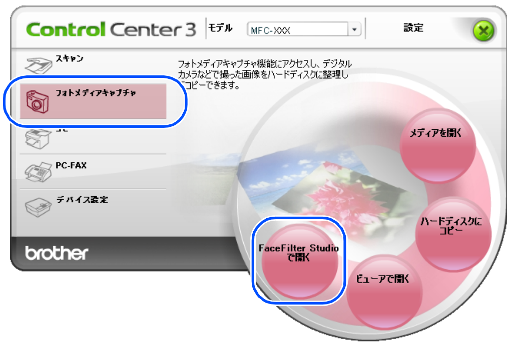
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 81 ページ 1

デジカメプリント が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「FaceFilter Studio で開く」をクリックする

- Modern の場合



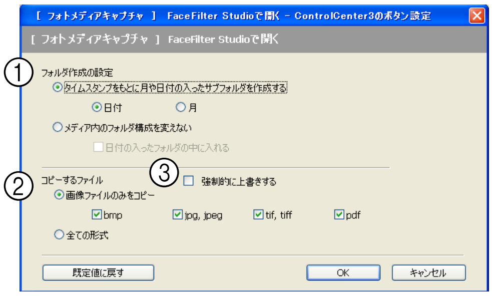
- Classic の場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」にコピーされます。

コピーが終わると、FaceFilter Studio が起動し、データが表示されます。

「FaceFilter Studio」の設定を変更する

「FaceFilter Studio で開く」ボタンを右クリックして、［ControlCenter3 のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① フォルダ作成の設定

コピーするときにフォルダを作成するかしないかを選択します。

- ファイルのタイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する
  保存先フォルダの中に日付または月のフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。
- メディア内のフォルダ構成を変えない
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダ構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

② コピーするファイル

コピーするファイルの種類を選択します。

③ 強制的に上書きする

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

1 ControlCenter3 の「コピー」をクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

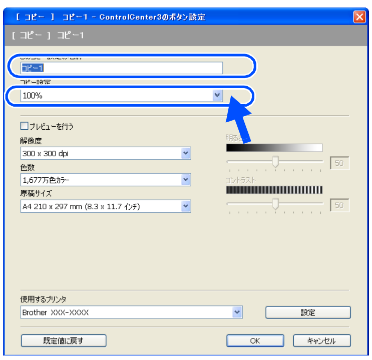
2 「コピー 1」「コピー 2」「コピー 3」「コピー 4」のいずれかのボタンを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定] を選ぶ

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

「このコピー設定の名前」に、登録するコピー設定の名前を入力します。

「コピー設定」で、「100％」または「用紙サイズに合わせる」を選びます。

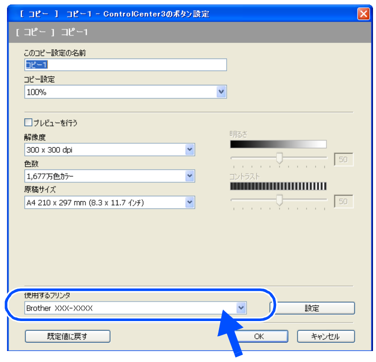


4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、色数、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

コピーの前にイメージを確認したり、コピーする範囲を指定したいときは、[プレビューを行う] をチェックします。

5 「使用するプリンタ」で本製品を選択する



6 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「コピー」をクリックして、実行するコピーのボタンをクリックする

- Modern の場合

- Classic の場合

設定に従ってコピーが実行されます。

PC-FAX

スキャンしたデータを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、パソコンで内容を確認することもできます。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合、この機能は使用できません。

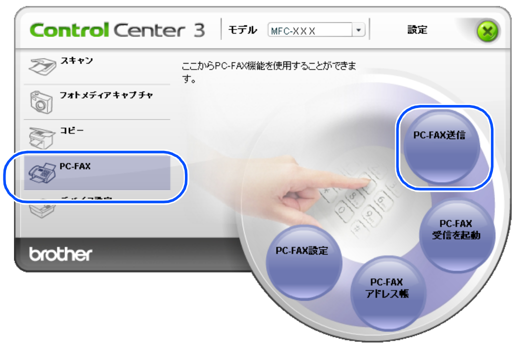
ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

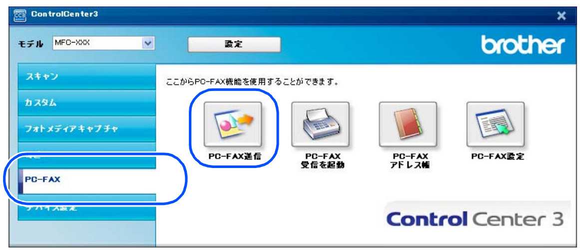
1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「PC-FAX」-「PC-FAX 送信」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

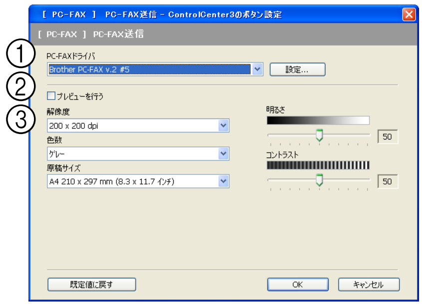


原稿がスキャンされ、PC-FAX 送信画面が表示されます。ファクス番号を入力して、送信を実行してください。

⇒ 56 ページ「パソコンからファクスを送る」

「PC-FAX 送信」の設定を変更する

「PC-FAX 送信」ボタンを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① PC-FAX ドライバ

送信する PC-FAX ドライバを設定します。通常は、「Brother PC-FAX v.X」が選択されています。

② プレビューを行う

チェックすると、ファクスを送信する前に、内容を確認したり、ファクスとして送信する範囲を指定したりできます。

③ 解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト

必要に応じて設定します。

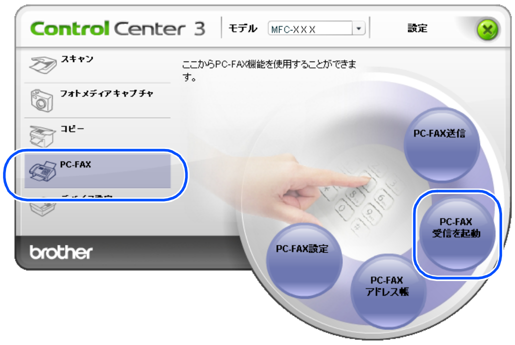
パソコンでファクスを受信する

PC-FAX 受信を起動を受信すると、ボタンが以下のように変更されます。

Modern 画面	Classic 画面

1 ControlCenter3 の「PC-FAX」-「PC-FAX 受信を起動」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

2 「受信した PC-FAX を見る」をクリックする

「Presto! PageManager」が起動し、受信したファクスデータが保存されているフォルダを表示します。

3 Presto! PageManager 上でファイル名をダブルクリックして内容を確認する

PC-FAX 受信を終了すると、ボタンが元に戻ります。

注意

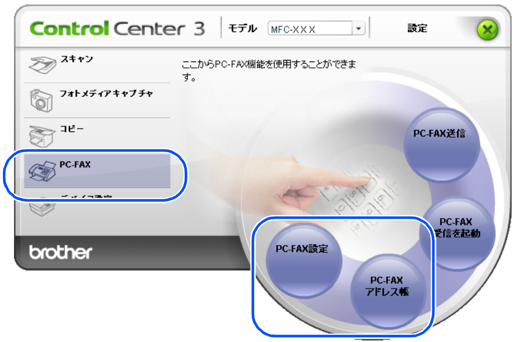
■ ファクスをパソコンで受信するには、本製品での設定も必要です。⇒ 65 ページ「本製品を PC-FAX 受信モードにする」

PC-FAX の設定を行う

ControlCenter3 から PC-FAX に関する設定が行えます。

1 ControlCenter3 の「PC-FAX」-「PC-FAX アドレス帳」または「PC-FAX 設定」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

- 「PC-FAX アドレス帳」をクリックした場合
  PC-FAX アドレス帳が起動します。アドレス帳に相手先を登録したり、登録内容を変更できます。
  ⇒ 58 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- 「PC-FAX 設定」をクリックした場合
  PC-FAX を送信するときの設定画面が表示されます。
  ⇒ 54 ページ「PC-FAX を使う前に」

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

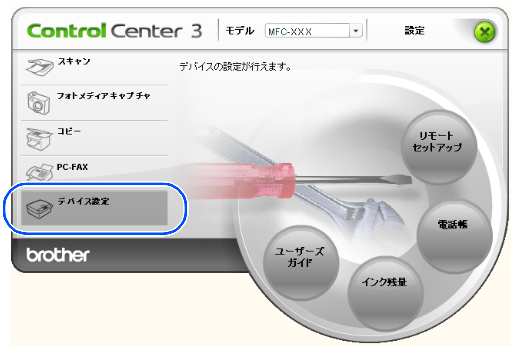
注意

■ DCP モデルをお使いの場合は、「インク残量」と「ユーザーズガイド」ボタンのみ表示されます。

本製品の設定を確認・変更する

1 **ControlCenter3 の「デバイス設定」から、「リモートセットアップ」「電話帳」「インク残量」「ユーザーズガイド」のいずれかをクリックする**

- Modern の場合



- Classic の場合

- 「リモートセットアップ」をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。パソコン上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 85 ページ「本製品の設定をパソコンから変更する」
- 「電話帳」をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳設定画面が表示されます。パソコン上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 87 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- 「インク残量」をクリックした場合
  ステータスモニタが表示されます。
  ⇒ 12 ページ「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」
- 「ユーザーズガイド」をクリックした場合
  「画面で見るマニュアル」が表示されます。

Macintosh

第 1 章 プリンタ

プリンタとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をプリンタとして使うには、付属の CD-ROM の中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。
Macintosh との接続や、ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

記録紙について

本製品をプリンタとして使う場合の記録紙については、ユーザーズガイドをご覧ください。
⇒ユーザーズガイド「記録紙のセット」

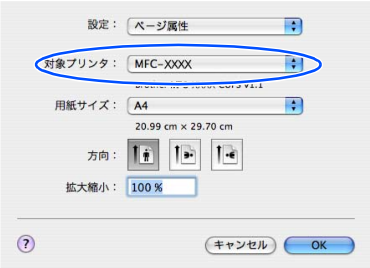
印刷する

本製品をプリンタとして使うときは、あらかじめ「システム環境設定」の「プリントとファクス」または「プリンタ設定ユーティリティ」、または「プリントセンター」で「デフォルトにする」と設定し、印刷します。

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選ぶ

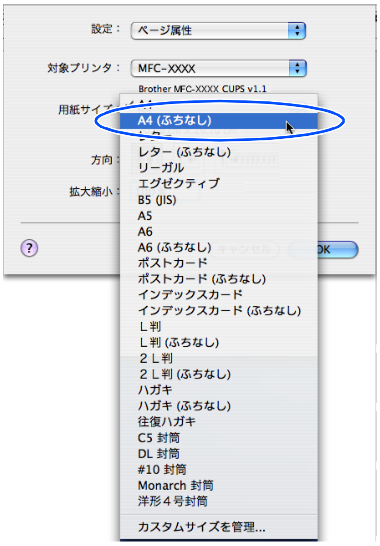


3 各項目を設定し、［OK］をクリックする

以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

ふちなし印刷を行う場合は、用紙サイズの中から（ふちなし）を選びます。



設定した内容が有効になります。

Mac OS 10.5 の標準 Web ブラウザなどでは、[ファイル] − [プリント] を選択して表示される画面で用紙サイズを設定できます。

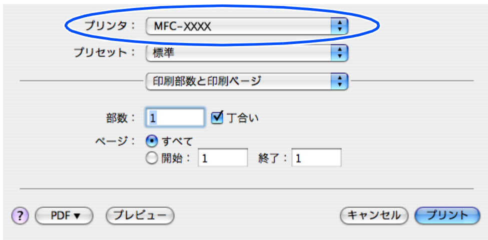
4 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

印刷設定画面が表示されます。

5 「プリンタ」に本製品のモデル名が表示されていることを確認する

その他、以下の項目も設定できます。

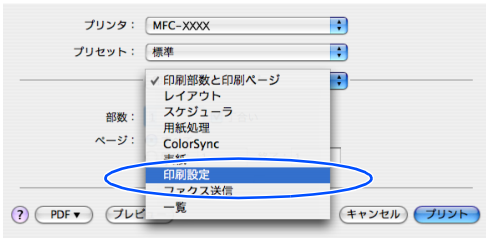
- 部数
- ページ



6 印刷設定画面を表示する

(A)　Mac OS 10.2.x から 10.4.x の場合

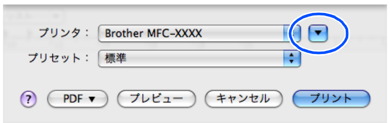
ポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ



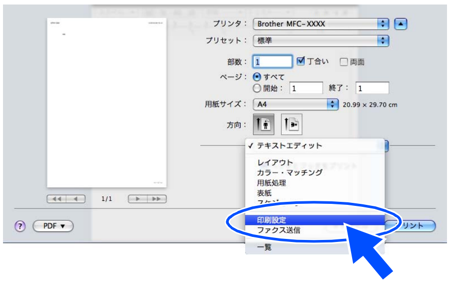
印刷設定画面が表示されます。

(B) Mac OS 10.5 の場合

「プリンタ」の▼ボタンをクリックする



表示されたポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ

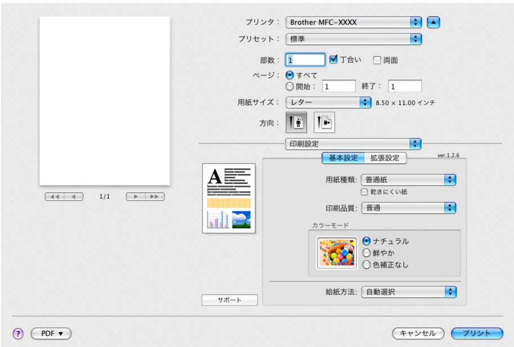


印刷設定画面が表示されます。

7 必要に応じて、各項目を設定する

設定内容の詳細について

⇒ 108 ページ「印刷の設定を変更する」



8 ［プリント］をクリックする

ファイルが印刷されます。

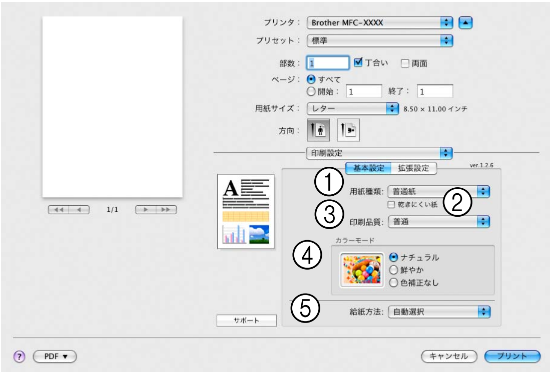
ファクスを送信中に印刷する

ファクスを送信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

印刷の設定を変更する

プリセットに選んだ設定を登録するときは、別名保存で［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［プリセット］から［標準］をクリックします。

「基本設定」タブの設定



① 用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー BP71 写真光沢紙
ブラザー BP61 写真光沢紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面（通信面）

② 乾きにくい紙

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

③ 印刷品質

印刷する文書に必要な（最適な）印刷解像度を選びます。選べる解像度は、①で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	解像度（dpi）	内容	印刷速度
最高速	600 × 150（カラー） 450 × 150（モノクロ）＊1	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く（「普通」の 2 ～ 3 倍の速度）、インクの消費量も少なくなります。	速い
高速	600 × 300	印刷速度を優先するとき ※「普通」の約 2 倍早く印刷できます。	↑
普通	600 × 600	通常の印刷のとき（品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
きれい	1200 × 1200 ＊2	「普通」より高画質で印刷するとき	↓
写真	1200 × 2400	写真のような精密なイメージを印刷するとき	
写真（最高画質）	1200 × 6000	最高画質で印刷するとき（高解像度で印刷するので、印刷にかかる時間は長くなります。）	遅い

＊1　MFC-5890CN/6490CN/6890CN の場合は、450 × 300。
＊2　光沢紙の場合は、600 × 1200。

> 印刷速度は印刷品質（解像度）と関係があり、品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は以下のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙	最高速 / 高速 / **普通** / きれい
インクジェット紙	きれい / **写真**
ブラザー BP71 写真光沢紙 / ブラザー BP61 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**普通** / きれい
写真用はがき 宛名面	最高速 / 高速 / 普通 / **きれい**

④ **カラーモード**

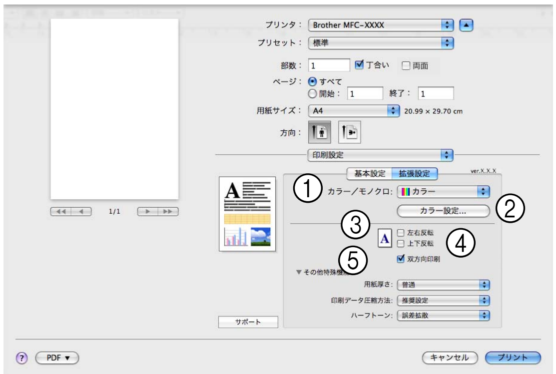
「ナチュラル」を選ぶと自然な色合いに、「鮮やか」を選ぶとよりはっきりした色合いになります。

⑤ **給紙方法**

プリント時に使用する記録紙トレイを設定します。

> ［サポート］をクリックすると、以下の画面が表示されます。
>
>
>
>
> (A) Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）
> クリックすると、よくある質問（Q&A）、最新のドライバやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。
>
> (B) ブラザー純正消耗品のご案内
> クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

「拡張機能」タブの設定



① **カラー／モノクロ**

カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選びます。

② **［カラー設定］**

クリックすると、以下の画面が表示されます。

［画質強調］をチェックすると、下記の各設定を変更できます。

- 明るさ
  画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト（濃淡）
  画像のコントラスト（濃淡）を調整します。
- 赤・緑・青
  画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
  例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

③ **左右反転**

チェックすると、左右に反転して印刷します。

④ **上下反転**

チェックすると、上下に反転して印刷します。

⑤ **双方向印刷**

チェックすると、プリントヘッドが両方向から印刷を行うため、印刷速度が速くなります。チェックを外すと、印刷速度は遅くなりますが、印刷品質は向上します。

その他の設定

● 自動両面印刷（MFC-6890CN のみ）

自動で両面印刷をするには、下記の手順で行います。

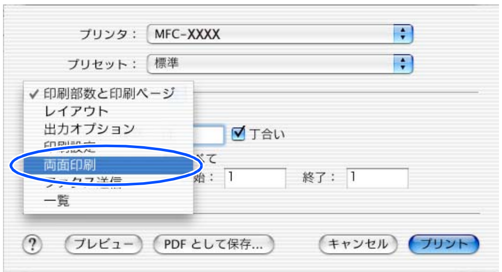
> 両面印刷は下記の内容で設定してください。
> - 用紙種類：普通紙
> - 用紙サイズ：A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5、A5、A6、ハガキ
> - ふちなし印刷：ハガキ
> - レイアウト：1 ページ / 枚、2 ページ / 枚、4 ページ / 枚、9 ページ / 枚、16 ページ / 枚
> - 給紙方法：自動選択、トレイ 1

注意

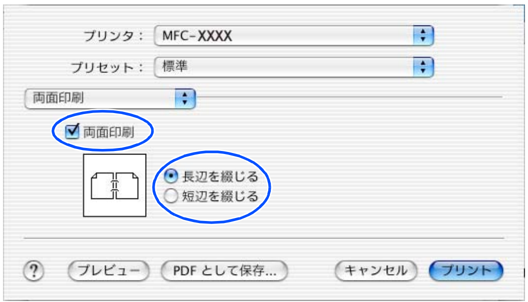
- ■ 薄い紙を使用するとしわが寄ることがあります。
- ■ 記録紙がカールしていないことを確認してから記録紙トレイにセットしてください。紙づまりなどの原因となり、うまく両面印刷できないことがあります。

(A)　Mac OS 10.2.x の場合

ポップアップメニューから［両面］を選ぶ

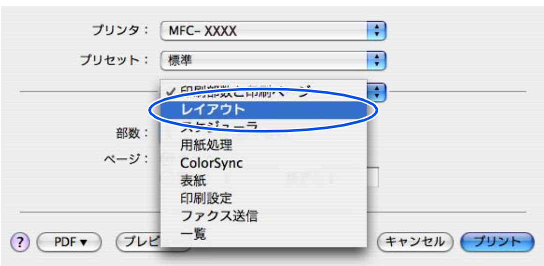


［両面］のチェックボックスにチェックを入れ、「長辺綴じ」か「短辺綴じ」かを選ぶ



(B)　Mac OS 10.3.x から 10.4.x の場合

ポップアップメニューから［レイアウト］を選ぶ

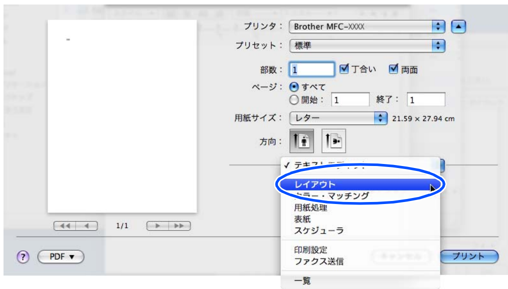


［両面：］で、［長辺綴じ］か［短辺綴じ］かを選ぶ

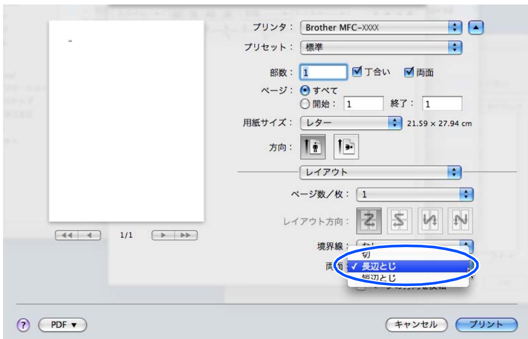
(C)　Mac OS 10.5.x の場合

［両面］のチェックボックスをチェックする

ポップアップメニューから［レイアウト］を選ぶ



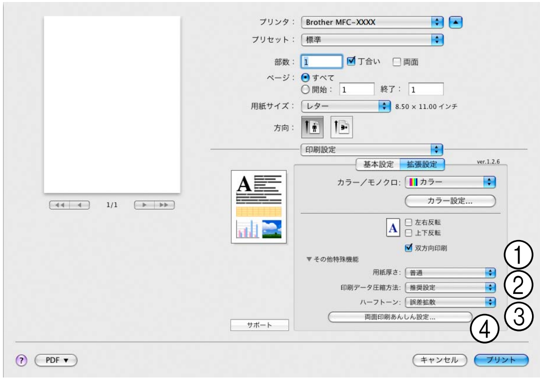
［両面：］で、［長辺綴じ］か［短辺綴じ］かを選ぶ



> 紙づまりや汚れが目立つような場合は、あんしん設定をお試しください。
> ⇒ 111 ページ「両面印刷あんしん設定（MFC-6890CN のみ）」

● その他特殊機能

「その他特殊機能」をクリックすると、以下の項目が表示されます。



① 用紙厚さ

用紙の厚さを選びます。用紙サイズによって、初期値が異なります。

② 印刷データ圧縮方法

画質や速度を優先したい場合に設定します。通常は、「推奨設定」にしてください。

③ ハーフトーン

ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。

④ 両面印刷あんしん設定（MFC-6890CN のみ）

（Mac OS 10.3.x-10.5.x）

両面印刷時に紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときに設定します。

設定	内容
オフ	通常通り印刷します。
あんしん 1	片方向印刷（一方向からの印刷）にして印刷速度を落とします。印刷時間が長くなります。
あんしん 2	あいだに乾燥時間をとるのに加え、インク量を抑えて印刷を行います。印刷時間が長くなり、印刷濃度が薄くなります。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。画面に「データが残っています」または「データガノコッテイマス」と表示されている場合、残っているデータを消します。

1 停止/終了 を押す

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド「印刷テストを行う」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

1 停止/終了 を押す

印刷がキャンセルされます。

Macintosh

第２章 スキャナ

このユーザーズガイド～パソコン活用編～は MFC-930CDN/930CDWN/670CD/670CDW/6890CN をタッチパネルモデル、それ以外を液晶ディスプレイモデルと記載しています。

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。
また、スキャナを便利に使いこなすために Presto! PageManager の使用をお勧めします。Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからスキャンするには、スキャンしたデータを受信する Macintosh でスキャンボタンの登録が必要です。スキャンボタンの登録が完了すると、本製品のスキャンボタンを押したときに選択項目として登録した Macintosh の名前が表示されます。
  ⇒ 114 ページ「ネットワークスキャン機能を使用する前に」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション		詳細	ページ
スキャンデータを保存したい	スキャン TO ファイル		スキャンしたデータを Macintosh 上のハードディスクに保存します。	119ページ
	スキャン TO メディア		スキャンしたデータを本製品に差し込んだメモリーカードや USB メモリーに保存します。	121ページ
	スキャン TO FTP（＊ 1）		スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	125ページ
スキャンデータを編集したい	スキャン TO イメージ		スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	116ページ
	TWAIN ドライバ対応のアプリケーション		解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	128ページ
	スキャン TO OCR		スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Word 等で編集できます。	118ページ
スキャンデータを送りたい	スキャン TO E メール	スキャン TO E メール添付	スキャンしたデータを Macintosh から新規メールとして送信します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	115ページ
		スキャン TO E メール送信（＊ 2）	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。（本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、Macintosh 上の操作は必要ありません。）	123ページ

＊ 1 MFC-5890CN/6490CN/6890CN のみ
＊ 2 MFC-6490CN/6890CN のみ

ネットワークスキャン機能を使用する前に

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを受信する Macintosh でスキャンボタンの登録が必要です。
ネットワーク上の他の製品を設定する場合にも、以下の手順で設定を行います。

注意

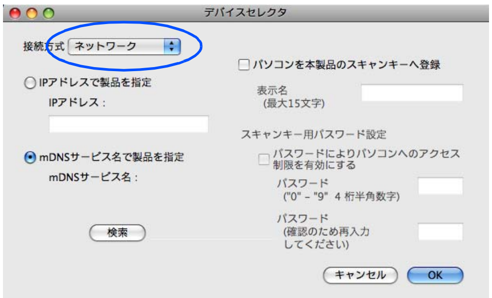
- ネットワークに対応していないモデルをお使いの場合は、ネットワークスキャン機能は使用できません。
- あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
  ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」-「TCP/IP の設定」
  すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

1 [Macintosh HD] - [ライブラリ] - [Printers] - [Brother] - [Utilities] - [DeviceSelector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックする

「デバイスセレクタ」画面が開きます。

デバイスセレクタは ControlCenter からも起動できます。

2 [ネットワーク] を選ぶ



3 [パソコンを本製品のスキャンキーへ登録] をチェックして、[表示名] に Macintosh の名前を入力する

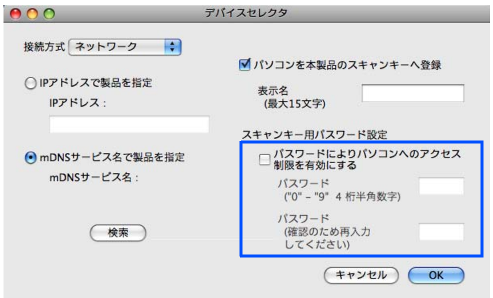
4 必要に応じて、項目を設定する

- 本製品が設定されていない場合または異なる製品を設定したい場合、[検索] をクリックして該当する製品名 (mDNS サービス名) を選択します。
- 製品の IP アドレスを手動で入力して設定することもできます。

5 [OK] をクリックする

スキャンボタンからスキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。[パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする] をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。



本製品からスキャンする（Macintosh に送る場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を押してスキャンしたデータを、Macintosh に送ってさまざまな形で利用します。
本製品をネットワークに接続してお使いの場合は、まずスキャンボタンの登録を行ってください。
⇒ 114 ページ「ネットワークスキャン機能を使用する前に」

スキャンした画像を E メールで送る

［スキャン TO E メール添付］

スキャンした画像を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面を起動します。

（MFC-6490CM/6890CN のみ）本製品でスキャンした原稿をパソコンのメールソフトに添付するのではなく、本製品上で直接宛先を指定して送信することもできます。⇒ 123 ページ「スキャンした原稿を E メールで直接送る（MFC-6490CN/6890CN のみ）」

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼で、【E メール：E メール添付】を選び、OK を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　E メール」を選びます。
USB のみで接続している場合は、手順 6 へ進んでください。

4 (MFC-6490CN のみ)【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、▲/▼で【PC】を選び、OK を押す

5 ▲/▼で保存先の Macintosh を選び、OK を押す

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲/▼で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、OK を押してください。

6 スタート モノクロ または スタート カラー を押す

原稿がスキャンされます。
スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先の E メールアドレスを入力します。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【E メール：E メール添付】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 6 へ進んでください。

4 (MFC-6890CN のみ)【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、【PC】を押す

5 保存先の Macintosh を選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、
▼/▲ を押して画面をスクロールさせます。
表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア を押してください。

6 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

原稿がスキャンされます。
スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先の E メールアドレスを入力します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る

[スキャン TO イメージ]

原稿をスキャンして、ファイルとして Macintosh に保存します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 [▲]/[▼] で、【イメージ：PC 画像表示】を選び、[OK] を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　イメージ」を選びます。

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 [▲]/[▼] で保存先の Macintosh を選び、[OK] を押す

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) [▲]/[▼] で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) [▶] を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、[OK] を押す
>
> ※修正するには [クリア/バック] を押してください。
>
> ※モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、[OK] を押してください。

5 [スタート モノクロ] または [スタート カラー] を押す

Macintosh の設定がカラーの場合はカラーで、モノクロの場合はモノクロでスキャンされます。カラー／モノクロの設定は、Control Center で変更できます。⇒ 146 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿がスキャンされます。
ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

ControlCenter からスキャンするときの設定を変更する

[スキャン] を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter から変更できます。
⇒ 146 ページ「スキャンの設定を変更する」

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【イメージ：PC 画像表示】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、OK を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
> (2) OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア を押してください。

5 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

Macintosh の設定がカラーの場合はカラーで、モノクロの場合はモノクロでスキャンされます。カラー／モノクロの設定は、Control Center で変更できます。⇒ 146 ページ「スキャンの設定を変更する」

> 原稿がスキャンされます。
> ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

ControlCenter からスキャンするときの設定を変更する

スキャン を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter から変更できます。
⇒ 146 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

[スキャン TO OCR]

文字の入った原稿をスキャンして、Macintosh で編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 [▲]/[▼] で、【OCR：テキストデータ変換】を選び、[OK] を押す

DCP-165C の場合は､｢スキャン　OCR｣を選びます。
USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 [▲]/[▼] で保存先の Macintosh を選び、[OK] を押す

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) [▲]/[▼] で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) [▶] を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、[OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア/バック] を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、[OK] を押してください。

5 [スタート モノクロ] または [カラー スタート] を押す

原稿がスキャンされます。
ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 【OCR：テキストデータ変換】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、[OK] を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、
▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) [OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア] を押してください。

5 [モノクロ スタート] または [カラー スタート] を押す

原稿がスキャンされます。
ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

スキャンした画像を指定したフォルダに保存する

[スキャン TO ファイル]

原稿をスキャンして Macintosh の指定したフォルダに保存します。

液晶ディスプレイモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 [▲]/[▼] で、【ファイル：フォルダ保存】を選び、[OK] を押す

DCP-165C の場合は、「スキャン　ファイル」を選びます。

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 [▲]/[▼] で保存先の Macintosh を選び、[OK] を押す

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) [▲]/[▼] で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) [▶] を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、[OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア/バック] を押してください。
>
> ※ モデル名に「MFC」と付いているモデルでは、テンキーを使って数字を直接入力し、[OK] を押してください。

5 [スタート モノクロ] または [カラー スタート] を押す

原稿がスキャンされます。

ControlCenter で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

> 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
>
> - 保存先フォルダ
>   ユーザ / ユーザ名 / ピクチャ
> - ファイル形式
>   JPG
> - ファイル名
>   CCFyyyymmdd_xxxxx
>   yyyy：西暦
>   mm：月
>   dd：日
>   xxxxx：通し番号

タッチパネルモデルの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 【ファイル：フォルダ保存】を押す

USB のみで接続している場合は、手順 5 へ進んでください。

4 保存先の Macintosh を選び、[OK] を押す

目的の選択肢が表示されていない場合は、

▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

表示されている中から希望の Macintosh または【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、その Macintosh が【< USB >】と表示されます。）

> Macintosh にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) 画面に表示されているテンキーを使って数字を直接入力する
>
> (2) [OK] を押す
>
> ※ 修正するには [クリア] を押してください。

5 [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す

原稿がスキャンされます。

ControlCenter で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

> 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
>
> - 保存先フォルダ
>   ユーザ / ユーザ名 / ピクチャ
> - ファイル形式
>   JPG
> - ファイル名
>   CCFyyyymmdd_xxxxx
>   yyyy：西暦
>   mm：月
>   dd：日
>   xxxxx：通し番号

本製品からスキャンする（Macintosh に送らない場合）

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を使ってスキャンする方法を説明します。
本製品をネットワークに接続してお使いの場合は、まずスキャンボタンの登録を行ってください。
⇒ 114 ページ「ネットワークスキャン機能を使用する前に」

スキャンした原稿をメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存する

［スキャン TO メディア］

本製品でスキャンした画像を、Macintosh を使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（＊ .tif）または PDF ファイル形式（＊ .pdf）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

液晶ディスプレイモデルの場合（DCP-165C を除く）

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**
2. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**
3. **スキャンを押す**
4. **▲/▼で、【メディア：メディア保存】を選び、OKを押す**
5. **▲/▼で、【スキャン画質】を選ぶ**
6. **◀/▶で、画質を選び、OKを押す**

   画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。
7. **▲/▼で、【ファイル形式】を選ぶ**
8. **◀/▶で、ファイル形式を選び、OKを押す**

   カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

   DCP-385C、DCP-535CN の場合、手順 12 へ
9. **（MFC-6490CN をお使いの場合）**

   ▲/▼で、【ガラス面読取サイズ】を選び、◀/▶で、サイズを選んでOKを押す

   【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

   > ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。
10. **▲/▼で、【ファイル名】を選ぶ**
11. **ダイヤルボタンで保存するファイルの名前を入力し、OKを押す**

    設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。

    変更する場合は、クリア/バックを押してファイル名を消去してから新しいファイル名を入力してください。ファイル名は、最大 6 文字まで入力できます。
12. **スタート モノクロ または スタート カラー を押す**

    スキャンが開始されます。

タッチパネルモデルの場合

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**
2. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**
3. **スキャンを押す**
4. **【メディア：メディア保存】を押す**
5. **【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ**

   画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。
6. **【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ**

   カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

7 （MFC-6890CN をお使いの場合）
【ガラス面読取サイズ】を押し、サイズを選ぶ

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

> ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

8 **【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す**

設定されている現在の日付がファイル名として表示されています。

変更する場合は、⌫ を押してファイル名を消去してから新しいファイル名を入力してください。ファイル名は、最大 6 文字まで入力できます。

9 **モノクロスタート または カラースタート を押す**

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。すべての原稿がスキャンされたら終了です。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか？／はい ／いいえ 】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 12 へ

読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 **【はい】を押す**

11 **原稿台ガラスに次の原稿をセットして、モノクロスタート または カラースタート を押す**

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 10、11 を繰り返します。

12 **すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す**

スキャンを終了します。

DCP-165C の場合

1 **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

2 **原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **スキャン を押す**

4 **▲▼ で、【スキャン　To　メディア】を選び、OK を押す**

5 **▲▼ で、画質を選び、OK を押す**

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

6 **▲▼ で、ファイル形式を選び、OK を押す**

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

7 **モノクロスタート または カラースタート を押す**

スキャンが開始されます。

スキャンした原稿を E メールで直接送る（MFC-6490CN/6890CN のみ）

［スキャン TO E メール送信］

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿は E メールの添付ファイルとして、モノクロは TIFF または PDF 形式、カラーは JPEG または PDF 形式で送信されます。

準備：本製品とメールサーバーの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバー名（受信・送信）などの設定のことです。詳しくは「画面で見るマニュアル」を参照してください。

スキャンした原稿を E メールで送る（MFC-6490CN の場合）

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **［スキャン］を押す**

3. **▲/▼で、【E メール：E メール添付】を選び、［OK］を押す**

4. **【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、▲/▼で、【E メールで送る】を選び、［OK］を押す**

   スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 11 へ進みます。

5. **▲/▼で、【スキャン画質】を選ぶ**

6. **◀/▶で、画質を選び、［OK］を押す**

   画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

7. **▲/▼で、【ファイル形式】を選ぶ**

8. **◀/▶で、ファイル形式を選び、［OK］を押す**

   カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

9. **▲/▼で、【ガラス面読取サイズ】を選ぶ**

   > ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

10. **◀/▶で、サイズを選び、［OK］を押す**

    【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

11. **▲/▼で、メールマークを選び、送信先の E メールアドレスを入力する**

    電話帳からすでに登録してある E メールアドレスを選ぶこともできます。

12. **［モノクロ スタート］または［カラー スタート］を押す**

    原稿がスキャンされます。
    スキャンが終了すると、本製品から設定した E メールアドレスへメールが送信されます。

スキャンした原稿を E メールで送る（MFC-6890CN の場合）

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **（スキャン）を押す**

3 **【E メール：E メール添付】を押す**

4 **【PC】、【E メールで送る】が表示された場合は、【E メールで送る】を押す**

5 **【手動入力】または【電話帳から検索】を押す**

【手動入力】を選んだ場合は、画面に表示されているキーボードで送信先の E メールアドレスを入力し、（OK）を押します。

【電話帳から検索】を選んだ場合は、すでに登録されている E メールアドレスを選択し、【ファクス送信】を押します。

スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 9 へ進みます。

6 **【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ**

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

7 **【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ**

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

8 **【ガラス面読取サイズ】を押し、サイズを選ぶ**

> ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

9 **（スタート モノクロ）または（スタート カラー）を押す**

原稿がスキャンされます。

スキャンが終了すると、本製品から設定した E メールアドレスへメールが送信されます。

スキャンした原稿をFTPサーバーに送る（MFC-5890CN/6490CN/6890CN）

［スキャン TO FTP］

この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置された FTP サーバー上に保存する機能です。
スキャン TO FTP を使用するには、送信先の情報を操作パネルから登録しておく必要があります。設定方法は、「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「スキャン TO FTP の設定」をご覧ください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-5890CN/6490CN の場合）

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **スキャン を押す**

3 **▲/▼で、【FTP：FTP サーバに保存】を選び、OK を押す**

4 **▲/▼で、送信したい FTP サーバを選び、OK を押す**

> FTP サーバーの登録内容に未設定項目があった場合は、画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、必要な項目を入力してください。
>
> FTP プロファイル設定時に、【コピー画質】や【ファイル形式】を【—】に設定した FTP サーバーを選んだ場合は、それぞれの設定を選択する画面が表示されます。▲/▼で設定を選び、OK を押します。

5 **スタート（モノクロ）または スタート（カラー）を押す**

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-6890CN の場合）

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **スキャン を押す**

3 **【FTP：FTP サーバに保存】を押す**

4 **送信したい FTP サーバーを押す**

> FTP サーバーの登録内容に未設定項目があった場合は、画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、必要な項目を入力してください。
>
> FTP プロファイル設定時に、【スキャン画質】や【ファイル形式】を【—】に設定した FTP サーバーを選んだ場合は、それぞれの設定を選択する画面が表示されます。設定を選んで OK を押します。

5 **スタート（モノクロ）または スタート（カラー）を押す**

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

スキャンした原稿を手動で FTP サーバーに送る（MFC-5890CN/6490CN の場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ▲/▼で、【FTP：FTP サーバに保存】を選び、OK を押す

あらかじめ登録された FTP プロファイルがない場合は、手順 5 へ進みます。

4 ▲/▼で、【手動設定】を選び、OK を押す

5 ダイヤルボタンで、FTP サーバーのドメイン名を入力し、OK を押す

ドメイン名（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。

6 ダイヤルボタンで、送信先のフォルダ名を入力し、OK を押す

例：brother/abc

7 ダイヤルボタンで、ユーザー名を入力し、OK を押す

8 ダイヤルボタンで、パスワードを入力し、OK を押す

スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 14 へ進みます。

9 ▲/▼で、【スキャン画質】を選ぶ

10 ◀/▶で、画質を選び、OK を押す

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

11 ▲/▼で、【ファイル形式】を選ぶ

12 ◀/▶で、ファイル形式を選び、OK を押す

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

13 （MFC-6490CN をお使いの場合）

▲/▼で、【ガラス面読取サイズ】を選び、◀/▶で、サイズを選んで OK を押す

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

> ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

14 スタート（モノクロ）または スタート（カラー） を押す

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

> タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、はじめから手順をやり直してください。
> FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の画面にエラーメッセージが表示されます。この場合も、はじめからやり直してください。

スキャンした原稿を手動で FTP サーバーに送る（MFC-6890CN の場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 [スキャン] を押す

3 【FTP：FTP サーバに保存】を押す

あらかじめ登録された FTP プロファイルがない場合は、手順 5 へ進みます。

4 【手動設定】を押す

5 【名前】または【IP アドレス】を押す

6 画面に表示されているキーボードで、FTP サーバーのドメイン名を入力し、[OK] を押す

【名前】を選んだ場合は、ドメイン名（例：ftp.example.com）、【IP アドレス】を選んだ場合は、IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。

7 画面に表示されているキーボードで、送信先のフォルダ名を入力し、[OK] を押す

例：brother/abc

8 画面に表示されているキーボードで、ユーザー名を入力し、[OK] を押す

9 画面に表示されているキーボードで、パスワードを入力し、[OK] を押す

スキャンの画質や形式を初期設定のまま送る場合は、手順 13 へ進みます。

10 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は、【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ 200 dpi】から選びます。

11 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

カラーの場合は【PDF ／ JPEG】のいずれかを、モノクロの場合は【TIFF ／ PDF】のいずれかを選びます。

12 【ガラス面読取サイズ】を押し、サイズを選ぶ

> ADF に原稿をセットしている場合、この項目は選択できません。

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

13 [スタート モノクロ] または [カラー スタート] を押す

FTP サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

> タイムアウトまたは他のエラーが発生した場合は、はじめから手順をやり直してください。
> FTP サーバーに登録された本製品のユーザ名、パスワードに誤りがある場合、本製品の画面にエラーメッセージが表示されます。この場合も、はじめからやり直してください。

アプリケーションから直接スキャンする

本製品のドライバは TWAIN 対応です。ドライバにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

注意

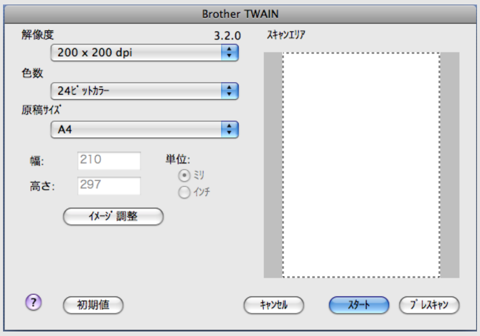
■ あらかじめ、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto! PageManager や Adobe® Photoshop® など）を起動させ、［ファイル］メニューの［対応機器の選択 ...］-［TWAIN］で、「Brother TWAIN」を選んでおきます。

1 Presto! PageManeger を起動する

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 ［ファイル］メニューから［原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む］を選ぶ

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。



4 ［プレスキャン］をクリックする

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合、プレスキャンのため原稿が一度排出されます。スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スタート］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

6 解像度や明るさなどの項目を設定する

⇒ 129 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

7 ［スタート］をクリックする

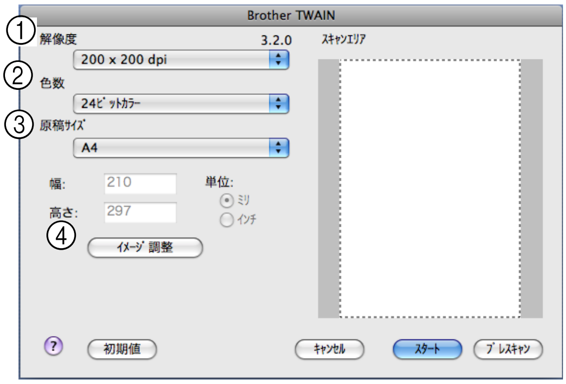
原稿がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

8 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

スキャナウィンドウでは、以下の項目が設定できます。



① 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。
モデルによって表示される解像度は異なります。

解像度	白黒	8 ビットカラー	24 ビットカラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 24 ビットカラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、8 ビットカラーを使用した場合の約 3 倍になります。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

② 色数

取り込む色数を設定します。

モード	設定内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレイ［誤差拡散方式］	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレイ	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
8 ビットカラー	256 色のカラーで取り込みます。カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
24 ビットカラー	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

③ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

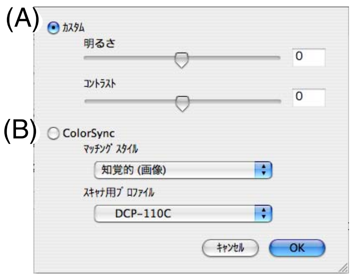
設定	サイズ
A3 (＊ 1)	297 × 420mm
JIS B4 (＊ 1)	257 × 364mm
レジャー (＊ 1)	279.4 × 431.8mm
A4	210 × 297mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル (＊ 2)	215.9 × 355.6mm
A5	148 × 210mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm

設定	サイズ
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
カスタム（＊ 3）	

＊ 1　MFC-6490CN/6890CN のみ
＊ 2　ADF 搭載モデルのみ対応しています。
＊ 3　「カスタム」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。ADF 搭載モデルでは 215 × 355.6mm まで、MFC-6490CN/6890CN では 297 × 431.8mm まで 調整できます。

> カスタムサイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンで、スキャン範囲の点線をドラッグします。
>
> 名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm ）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

④ イメージ調整



(A)　**カスタム**

明るさ、コントラストを調整します。

(B)　ColorSync

- マッチングスタイル
  ColorSync を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

設定	内容
知覚的（画像）	写真のようなイメージのとき選びます。
彩度（グラフィックス）	はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
相対的な色域を維持	色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
絶対的な色域を維持	シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

- スキャナ用プロファイル
  「Brother sRGB Scanner」を選びます。

Macintosh

第 3 章 PC-FAX（MFC モデルのみ）

Macintosh からファクスを送る

Macintosh 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。

注意

- Macintosh では、PC-FAX の受信機能は使用できません。
- DCP モデルをお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

1 Macintosh 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

「プリンタ」に本製品のモデル名が表示されていること を確認します。

印刷設定画面が表示されます。

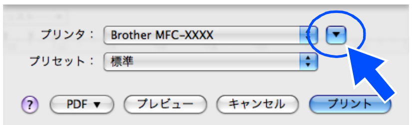
3 ファクス送信画面を表示する

(A)　Mac OS 10.2.x から 10.4.x の場合

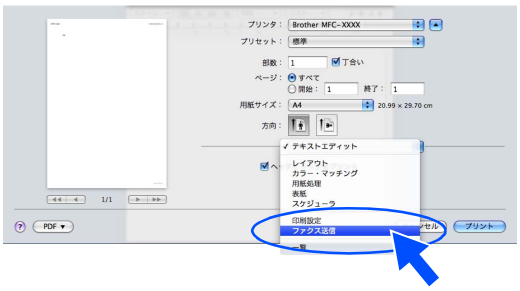
ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

(B)　Mac OS 10.5 の場合

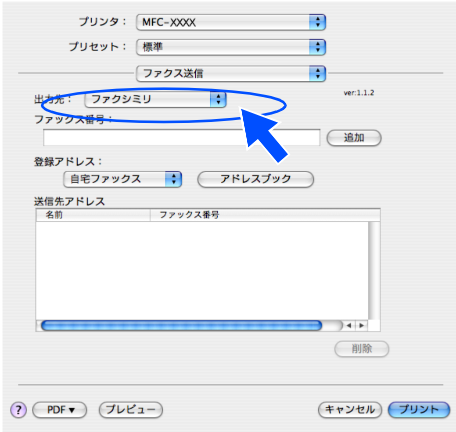
「プリンタ」の▼ボタンをクリックする



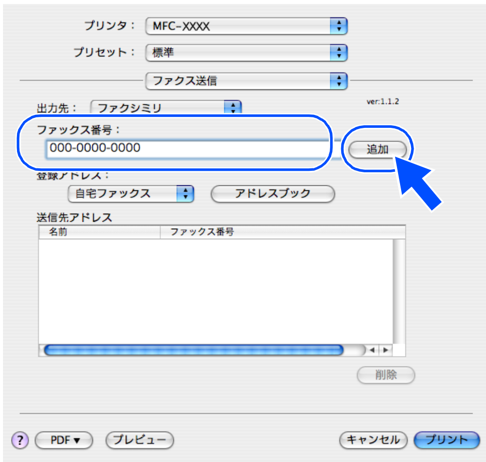
表示されたポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ



4 「出力先」で［ファクシミリ］を選ぶ



5 「ファクス番号」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする



複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

6 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

アドレスブックを利用する

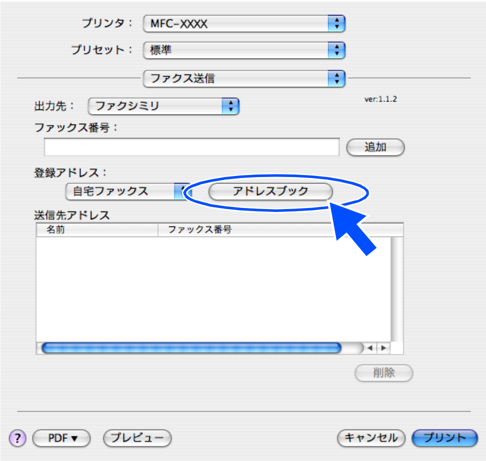
Macintosh の アドレスブックを使用して、ファクスの送信先を簡単に設定できます。

アドレスブックから送信先を設定する

Mac OS 10.2.x から 10.4.x の場合

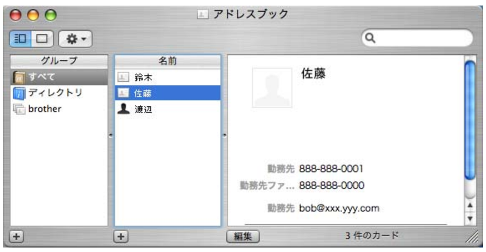
アドレスブックから vCard (vcf 形式) をドラッグして送信先を設定できます。

1 ［アドレスブック］をクリックする

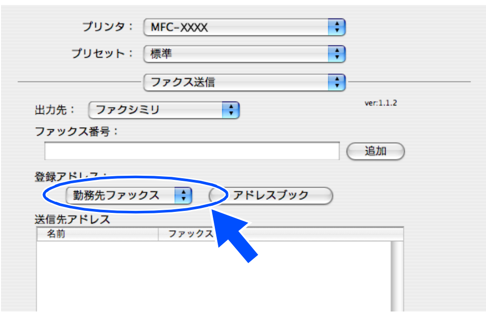


アドレスブックが表示されます。

2 送信先のファクス番号が登録されている vCard（vcf 形式）を選ぶ



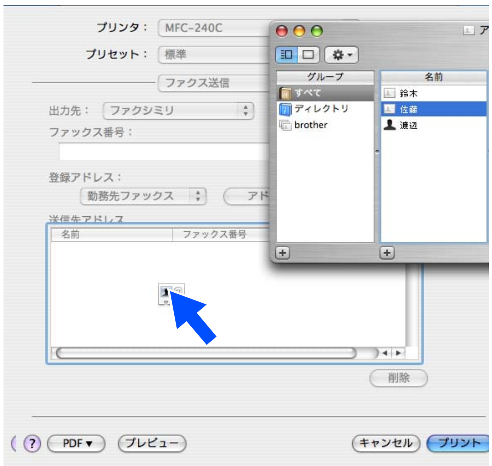
3 「登録アドレス」のポップアップメニューから、送信先の項目を選ぶ



注意

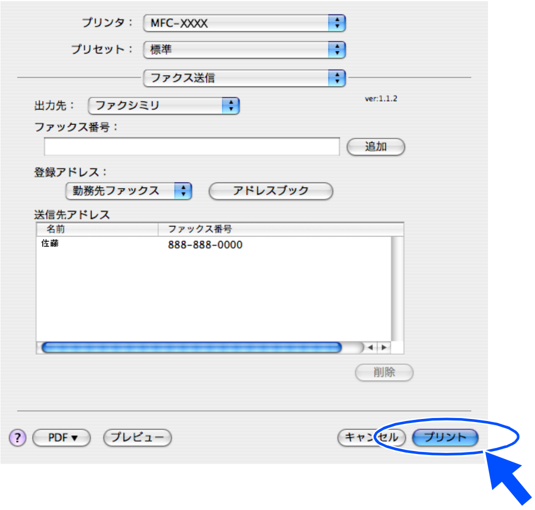
- 送信先アドレスは、［登録アドレス］を選ぶことで自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が決定されます。
  自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録された vCard (vcf 形式) を使用してください。
- vCard (vcf 形式) 内に登録されているファクス番号がひとつの場合は、［登録アドレス］の選択に関係なく送信先として設定されます。

4 送信したいファクス番号の vCard (vcf 形式) をドラッグして、「送信先アドレス」まで移動させる



複数の相手にファクスを送信するときは、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

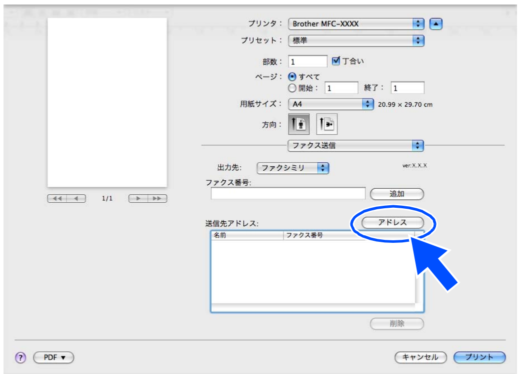
5 ［プリント］をクリックする



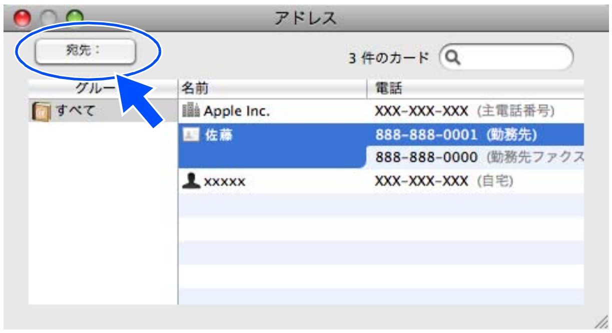
ファクスが送信されます。

Mac OS 10.5 の場合

1 ［アドレス］をクリックする

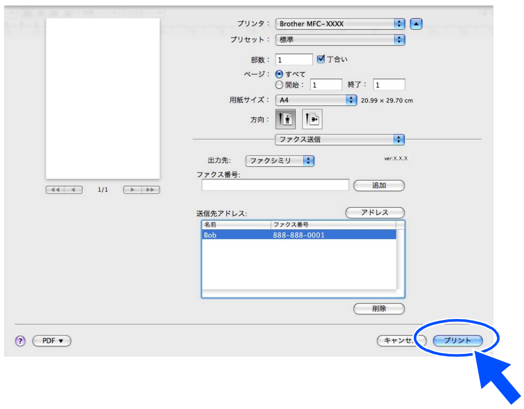


2 送信先を選んで［宛先：］をクリックする



> 複数の相手にファクスを送信するときは、手順 2 を繰り返します。

3 ［プリント］をクリックする



ファクスが送信されます。

Macintosh

第 5 章 フォトメディアキャプチャ

Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）

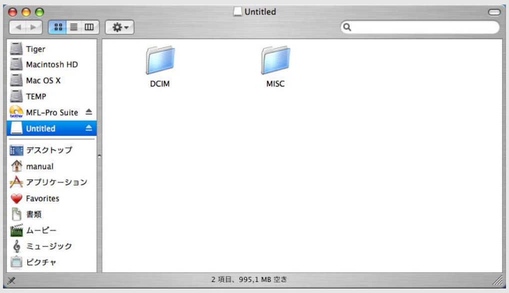
USB フラッシュメモリー差し込み口にセットした USB フラッシュメモリーや、カードスロットにセットしたメモリーカードなどのメディアを、Macintosh 上で「リムーバブルディスク」として使います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

2 デスクトップに表示されたリムーバブルディスクのアイコン（※）をダブルクリックする

※ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにボリューム名が設定されている場合は、その名称が表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダが表示されます。



3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、Macintosh へコピーしたりできます。

また、Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、ネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他の Macintosh がメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存された写真を画面に表示しているとき、および保存されたデータを印刷しているときは、アクセスできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

2 FTP ソフトウェアまたは FTP をサポートしている Web ブラウザを起動する

3 アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力する

例）192.168.0.10 の場合は、「ftp://192.168.0.10」と入力します。

4 ファイルを表示したり、別のドライブにコピーする

ファイルを別のドライブに保存するときは、[Ctrl] キーを押しながらファイルをクリックし、表示されるメニューから「画像をディスクにダウンロード」を選びます。

また、Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

ネットワーク経由でメモリーカードや USB フラッシュメモリー内のファイルを扱う場合は、ファイル名を半角英数字にしてください。漢字・ひらがな・カタカナなどのファイル名は文字化けします。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、以下の手順で取り出します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照しているソフトウェアをすべて終了する

2 [リムーバブルディスク]アイコンをゴミ箱にドラッグする

本製品の デジカメプリント が点滅することがあります。(点滅しなくても異常ではありません。)

3 本製品の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く

注意

- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるとき（デジカメプリント 点滅中）は、電源コードや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。
- 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh をすぐに再起動した後、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。Macintosh を再起動する前に他のメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。
- Macintosh のデスクトップにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、本製品の「フォトメディアキャプチャ」機能は使用できません。デスクトップに表示されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをゴミ箱に移動した後、ご使用ください。
- 誤ってアクセスランプが点灯中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh の「システム終了」を実行できなくなることがあります。その場合は、本製品と接続している USB ケーブルを抜いてから Macintosh の「システム終了」を実行してください。

Macintosh

第 6 章 リモートセットアップ（MFC モデルのみ）

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、Macintosh から簡単に操作ができます。

リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX ご利用中はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX を終了させてから操作してください。

本章では、MFC-6490CN の画面を使用して説明しています。モデルによって表示される画面は異なります。

本製品の設定を Macintosh から変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変更するときは、以下の手順で操作します。

1 「リモートセットアップ」を起動する

[Macintosh HD] ─ [ライブラリ] ─ [Printers] ─ [Brother] ─ [Utilities] から [RemoteSetup] アイコンをダブルクリックします。

現在本製品に設定されている内容がMacintoshにダウンロードされ、リモートセットアップの画面が表示されます。

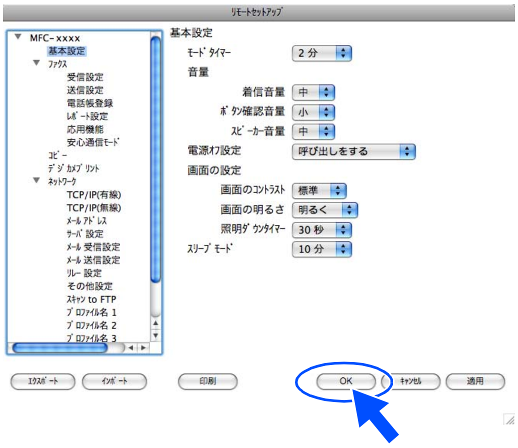
注意

- MFC-5890CN/6490CN/6890CN をお使いの場合は、リモートセットアップを起動するときにパスワードの入力が必要です。お買い上げ時のパスワードは「access」に設定されています。
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。

3 設定し終わったら、［OK］をクリックする

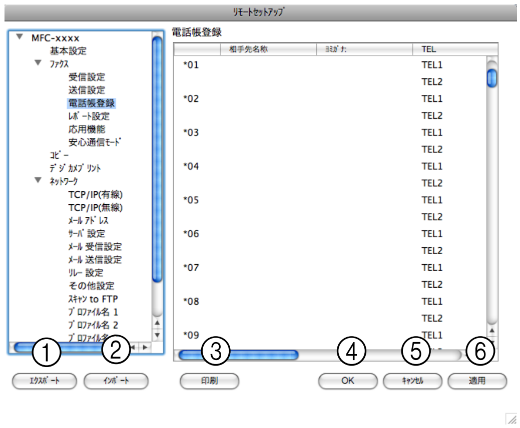


設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

> リモートセットアップは、ControlCenter2 からも実行できます。
>
> ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、［Macintosh HD］‐［ライブラリ］‐［Printers］‐［Brother］‐［Utilities］‐［DeviceSelector］‐［デバイスセレクタ］から、ネットワークの再設定をしてください。

その他の操作について

リモートセットアップの設定では、設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。



① **エクスポート**

現在の設定内容をファイルに保存します。

② **インポート**

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ **印刷**

「電話帳登録（デンワチョウトウロク）」画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ **OK**

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックしてください。

⑤ **キャンセル**

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ **適用**

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

ファクスを E メールアドレスに自動転送する（ファクス to E メール送信）（MFC-6490CN/6890CN）

リモートセットアップを使って、ファクスを E メールアドレスに自動転送設定する場合、以下の手順で操作します。

1 左側から「応用機能」を選ぶ

応用機能の設定画面が表示されます。

2 「メモリー受信」を「ファクス転送」に設定する

3 「本体でも印刷」で本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 「本体でも印刷する」：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「本体では印刷しない」：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

4 「E メールアドレス」を選ぶ

「ファクス転送 #：」に E メールアドレスを入力します。

5 [OK] をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

本製品の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。

> 本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。
>
> 電話帳登録画面の左端の表示は、#01 ～ #06 はワンタッチダイヤル、*01 ～ *00 は短縮ダイヤルを示しています。

電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号に登録します。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」に相手先の名前を入力する

3 「ヨミガナ」に相手先名称の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

4 「種別」のポップアップメニューから［ファクス / 電話］を選ぶ

5 「FAX/ 電話 /MAIL」に電話またはファクス番号を入力する

電話・ファクス番号は、1 つの短縮番号に 2 つまで登録できます。

6 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」をチェックします。

7 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 「種別」のポップアップメニューからグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。

3 「相手先名称」にグループ名を入力する

4 「ヨミガナ」にグループ名の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

5 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」をチェックします。

6 ［適用］をクリックする

グループダイヤルが登録されます。

Macintosh

第 7 章 便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2 の画面

ControlCenter2 では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。

(1) スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付することができます。
(2) カスタム	良く使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。
(3) コピー /PC-FAX	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 スキャンしたデータを本製品を使用してファクスとして送信します。 ※ DCP モデルをお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
(4) デバイス設定	インク残量の確認や、本製品の電話帳の登録などができます。

ControlCenter2 を起動する

1 **［MacintoshHD］-［ライブラリ］-［Printers］-［Brother］-［Utilities］-［ControlCenter］から［ControlCenter］アイコンをダブルクリックする**

メニューバーに が表示されます。

2 **メニューバーの をクリックして、［開く］を選ぶ**

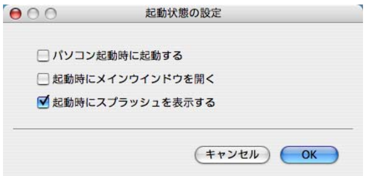
Control Center2 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

Macintosh を起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

(1) **メニューバーの をクリックして、［起動状態の設定］を選ぶ**

◆「起動状態の設定」画面が表示されます。



(2) **起動時の動作を選ぶ**

- パソコン起動時に起動する
  Macintosh 起動時に ControlCenter2 が自動的に起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  ControlCenter2起動時に自動的にウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) **［OK］をクリックする**

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

スキャンを実行する

ControlCenter2 からスキャンを実行します。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「スキャン」をクリックする

3 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。
- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「E メール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されています。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

スキャンの設定を変更する

ボタンをクリックしたときに起動するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。
本製品のスキャンボタンからスキャンした場合の設定も、ここで変更できます。

1 [Ctrl] キーを押しながら「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

スキャンの設定画面が表示されます。

2 「ControlCenter の設定」タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

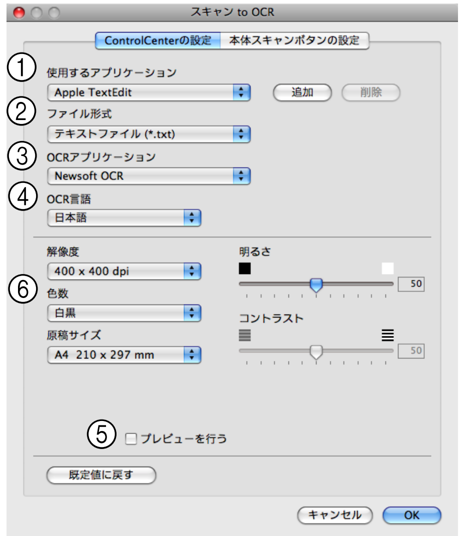
⇒ 147 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 147 ページ「スキャンファイルの設定」

> 本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本体スキャンボタンの設定」タブをクリックして、設定を変更します。

3 [OK] をクリックする

設定が変更されます。

スキャンイメージ /OCR/E メールの設定



① **使用するアプリケーション**

スキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

② **ファイル形式**

データのファイル形式を選択します。

PDF、JPEG を選択した場合は、データの圧縮率を 5 段階で設定できます。

③ **OCR アプリケーション（「OCR」のみ）**

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

④ **OCR 言語（「OCR」のみ）**

変換する言語を選択します。

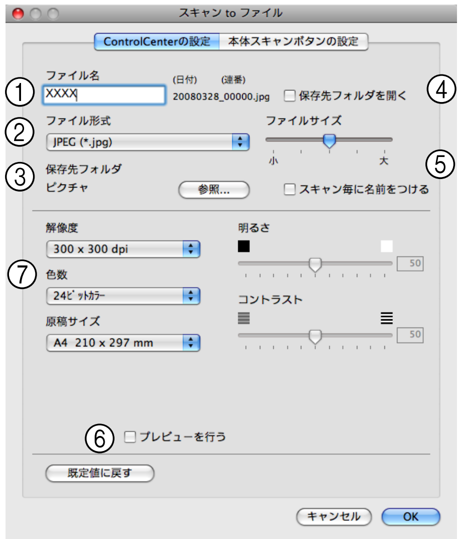
⑤ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

⑥ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

スキャンファイルの設定



① **ファイル名**

ファイル名の先頭の文字を変更できます。

② **ファイル形式**

データのファイル形式を選択します。

PDF、JPEG を選択した場合は、データの圧縮率を 5 段階で設定できます。

③ **保存先フォルダ**

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

④ **保存先フォルダを開く**

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑤ **スキャン毎に名前をつける**

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

⑦ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

1 ControlCenter2 の「カスタム」をクリックする

2 [Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

カスタムスキャンの設定画面が表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

「カスタムの名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 147 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」

⇒ 147 ページ「スキャンファイルの設定」

5 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「カスタム」をクリックする

3 実行するスキャンのボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX

原稿をコピーしたり、Macintosh からファクスを送信します。コピーとファクス送信時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーや PC-FAX の設定を登録する

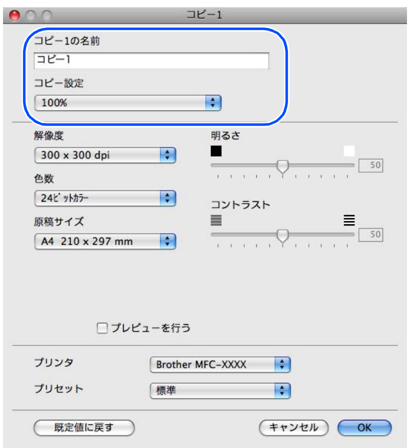
1 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする

2 [Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

コピー設定画面が表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

「コピーの名前」に、登録するコピー設定の名前を入力します。
「コピー設定」で、「100％」または「用紙サイズに合わせる」を選びます。



4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、色数、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

5 「プリンタ」で本製品を選択する

6 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

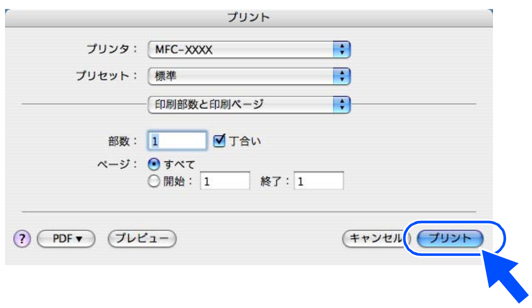
2 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする

3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする

5 [プリント] をクリックする



コピーが実行されます。

ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合、この機能は使用できません。

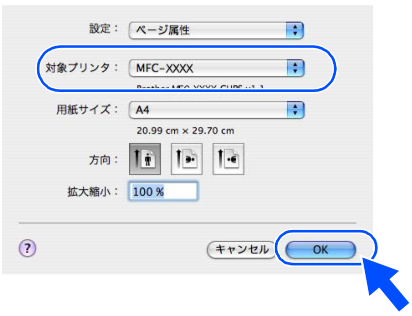
1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする

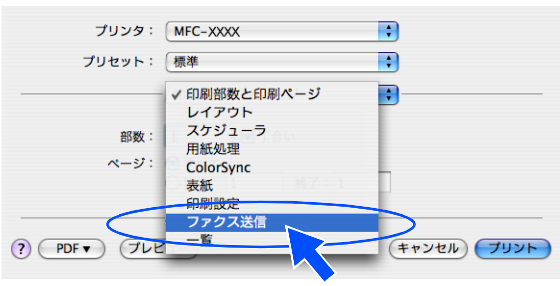
3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

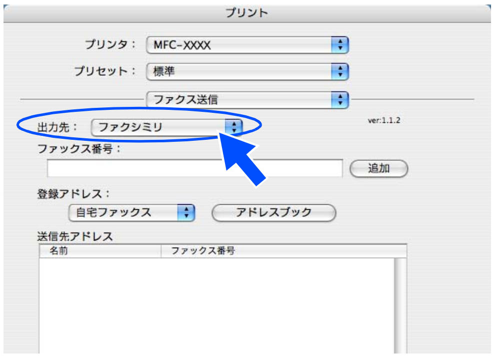
4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする



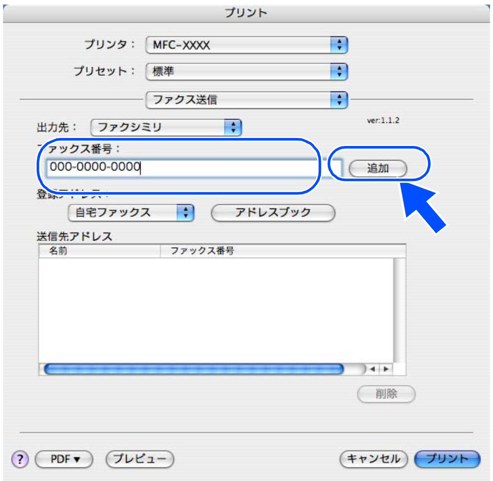
5 ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ



6 「出力先」で［ファクシミリ］を選ぶ



7 「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする



複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号入力」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

8 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

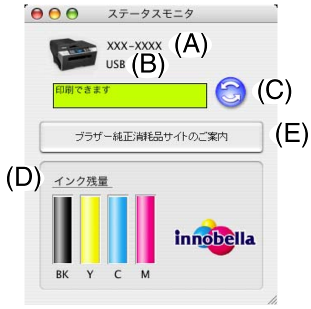
本製品の設定を確認・変更する

1 **ControlCenter2 の「デバイス設定」から、「リモートセットアップ」「電話帳」「インク残量」のいずれかをクリックする**

- 「リモートセットアップ」をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。Macintosh 上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 139 ページ「本製品の設定を Macintosh から変更する」
- 「電話帳」をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳設定画面が表示されます。Macintosh 上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 142 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- 「インク残量」をクリックした場合
  ステータスモニタが表示されます。

DCP モデルをお使いの場合は、「リモートセットアップ」と「電話帳」ボタンは表示されません。

ステータスモニタの画面について



(A) **モデル名**
インク残量を表示している本製品のモデル名が表示されます。

(B) **接続**
USB 接続の場合は「USB」と表示されます。ネットワーク接続の場合はIPアドレスまたはドメイン名が表示されます。

(C) **ステータスボタン**
クリックすると、本製品の現在の状態が画面に表示されます。

(D) **インク残量**
本製品のインク残量が表示されます。

(E) **ブラザー純正消耗品サイトのご案内**
クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

付　録

エラーメッセージが表示されたときは

本製品の画面にエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイドの「エラーメッセージ」をご確認ください。ユーザーズガイドに記載された処置方法を行ってもエラーが解決しないときは、電源コードを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へご連絡ください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイドの「故障かな？と思ったときは」および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の Q & A をご確認ください。それでも異常があるときは、電源コードを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

使用環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

Windows® の場合

本製品とパソコン（Windows®）を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS/CPU/ メモリ

- Windows® 2000 Professional
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB （推奨 256MB ）以上
- Windows® XP
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB （推奨 256MB ）以上
- Windows® XP Professional x64 Edition
  AMD Opteron™ プロセッサ
  AMD Athlon™ 64 プロセッサ
  Intel® EM64T に対応した Intel® Xeon®
  Intel® EM64T に対応した Intel® Pentium®4
  256MB（推奨 512MB）以上
- Windows Vista®
  1GHz 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）のプロセッサ /512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須
※ 本製品のすべての機能を快適にご使用いただくために、以下の環境を推奨します。

- Windows® 2000 Professional または Windows® XP をお使いの場合
  1.0GHz 以上の 32 ビット（x86）プロセッサと 256MB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。
- Windows Vista® をお使いの場合
  1.2GHz 以上の 32 ビット（x86）デュアルコアプロセッサと 1GB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。

ディスク容量

480MB 以上（Windows Vista® 以外）/
1.1GB 以上（Windows Vista®）の空き容量

Web ブラウザ

Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上が必要です。
※ Microsoft® Internet Explorer® 6 以上を推奨します。

インターフェース

- USB 2.0 フルスピード（DCP-165C/385C のみ）＊

＊ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。

- USB 2.0 ハイスピード（DCP-165C/385C 以外）
- 有線ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX 対応）
  （有線ネットワーク対応モデルのみ）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）
  （無線 LAN 対応モデルのみ）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh の場合

本製品と Macintosh を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS/CPU/ メモリ

- Mac OS X 10.2.4 ～ 10.4.3
  PowerPC G3 350MHz 以上（PowerPC G4/G5 含む）
  128MB（推奨 256MB）以上
- Mac OS X 10.4.4 以上
  PowerPC G4/G5、Intel® Core™ processor
  512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須

ディスク容量

480MB 以上の空き容量

インターフェース

- USB 2.0 フルスピード（DCP-165C/385C のみ）＊

＊ USB2.0 ハイスピード対応の Macintosh でもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。

- USB 2.0 ハイスピード（DCP-165C/385C 以外）
- 有線ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX 対応）
  （有線ネットワーク対応モデルのみ）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）
  （無線 LAN 対応モデルのみ）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB1.1 対応の Macintosh とも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新の情報を公開しています。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

索　引

け

こ

し

す

そ

て

ね

ふ

め

よ

り

れ

わ

特許、規制

VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Flash、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Intel、Pentium、Xeon は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD Athlon 64、AMD Opteron は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion, Inc. の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
メモリースティック、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ、M2 はソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD-Picture Card は富士フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。